



国際ロータリー 第2770地区 第8グループ

越谷ロータリークラブ

2026-2027 年度計画書

**CREATE
LASTING
IMPACT**

持続可能な
インパクトを
生み出そう



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI 理事会の意見が一致した。

(ロータリー章典 26.020)

Object of Rotery

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do:

- 1) Is it the TRUTH ?
 - 2) Is it FAIR to all concerned ?
 - 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP ?
 - 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned ?
-

ロータリーの歴史



最初の4人のロータリアン。左から、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ポール P. ハリス

(写真提供：Rotary Images)

世界初の奉仕クラブ、米国イリノイ州のシカゴ・ロータリー・クラブは、1905年2月23日、ポール・ハリスによって結成されました。ハリスは、少年期に過ごした小さな町で感じたのと同じ友愛の精神を、専門職業人の集まるクラブで再現したいと望んだのでした。「ロータリー」という名前は、会員の仕事場を持ちまわりで会合を開いていた初期の慣習に由来しています。

ロータリーの評判はあっという間に広がり、その後10年間に、サンフランシスコとニューヨークをはじめ、カナダのウィニペグにもクラブが結成されました。1921年までに6大陸にロータリー・クラブが結成され、その1年後、この組織は「国際ロータリー」と名づけられました。

ロータリーが発展するにつれ、その使命も、クラブ会員の職業や社交の関心の枠を超えて広がっていきました。ロータリアンは、共同で資金を援助したり、才能を投じるなどして、恵まれない地域社会を助めました。こうした理念に対するロータリーの献身をもっとも良く表しているのが、「超我の奉仕」という標語です。1925年7月までに、ロータリー・クラブの数は2,000に達し、会員数は推定108,000人に上っていました。ロータリーの類まれな評判は、大統領や首相といった高官や、小説家のトーマス・マン、外交家のカルロス P. ロムロ、人道主義者のアルベルト・シュバイツァー博士、作曲家のジャン・シベリウスといった著名人をも惹きつけました。

「四つのテスト」

1932年、ロータリアンのハーバート J. テイラーが「四つのテスト」を作り、その11年後、ロータリーはこれを倫理規範として採用しました。以下の問いに示されたこのテストは100カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ロータリーと第二次世界大戦

第二次世界大戦中、多くのクラブが解散を余儀なくされた一方、ほかのクラブは戦争被害者の救援活動に当たりました。1942 年、戦後期の到来に備えようと、ロータリアンが呼びかけた国際的な教育と文化交流を推進する会議の開催が、ユネスコ創設のきっかけとなりました。

1945 年、国連憲章採択会議の 29 の代表団の中に、49 人のロータリー・クラブ会員がいました。現在もロータリーは、国連の主要会議にオブザーバーを派遣したり、ロータリーの出版物の中で国連を紹介するなど、国連会議に活発に参加しています。元英国首相のウィンストン・チャーチルは、かつて、「自由な世界の隅々でロータリー・クラブが行ってきた善行を知らない者はない」と公に発言しました。

新世紀のはじまり

21 世紀が近づく頃、ロータリーは社会の変わり行くニーズに応え、環境破壊、識字率の向上、飢餓、危機下の子供たちといった緊要な課題に取り組む奉仕活動を懸命に行っていました。1989 年、ロータリーは、世界中のクラブで女性の入会を認めることを票決しました。以来、女性会員は世界中で活躍しています。ベルリンの崩壊とソビエト連邦の解体後、中欧と東欧では、ロータリー・クラブの再結成や、新たなクラブの結成の動きが見られました。ロシアで初のロータリー・クラブが 1990 年に加盟し、その後数年間にロータリーは急成長を遂げました。

ポール・ハリスとその仲間が後の「国際ロータリー」の前身となるクラブを初めて創立してから 1 世紀以上経った今でも、ロータリアンは、自分たちの組織に対する誇りを引き継いでいます。ロータリアンたちは、初のクラブを記念して当初の例会場所だったシカゴのユニティービル 711 号室を 1905 年当時のまま保存しました。その後しばらく、ポール・ハリスの 711 号室は、訪れるロータリアンたちの畏敬の場となりました。1989 年、このビルが破壊されることが決まると、クラブのロータリアンは 711 号室を丁寧に解体し、ドアやラジエーターにいたるまですべての内装を取り外しました。1993 年、国際ロータリー理事会は、シカゴ郊外にあるエバンストンの国際ロータリー世界本部の 16 階に、この 711 号室を復元し、永久に保存することを決定しました。

現在、118 万人強のロータリアンが、200 以上の国と地域にある 37,000 以上のロータリー・クラブに所属しています。

目 次

ロータリーの目的・四つのテスト	1
ロータリーの歴史	2
目 次	4

メッセージ

国際ロータリー会長	6
（一社）RI 第 2770 地区ガバナー	10
（一社）RI 第 8 グループガバナー補佐	18
越谷ロータリークラブ会長	19

規 定

クラブ定款	綴込
クラブ細則	綴込
指名委員会設置準則	22
新会員カウンセラー制度運用準則	22
越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則	23
越谷ロータリークラブ友の会運用準則	23
クラブ慶弔規定	24

クラブ紹介

クラブ概要	25
-------------	----

2026-2027 年度 活動方針

クラブ組織図	26
役員・理事名簿	27
委員会等構成表	28
会員構成表（充填一覧表）	29
委員会等活動方針	32
姉妹クラブ及び友好クラブ一覧	44
提唱クラブ	45
年間プログラム予定表	46
2024-2025 年度決算書	50
2026-2027 年度予算書	52
財産目録	54

名 簿

会員名簿	55
------------	----

名誉会員	76
物故者・移籍者名簿	77
企業会員名簿	78
クラブ関係者名簿	80
米山記念奨学生名簿	81
ロータリー財団奨学生名簿（派遣・来日）	83
青少年交換留学生名簿（派遣）	84
青少年交換留学生名簿（来日）	86
会員年齢別表	88
会員誕生日・結婚記念日一覧表	89

記 録

歴代会長・幹事一覧表	93
米山記念奨学金寄付額一覧表	97
ロータリー財団寄付額一覧表	100
年度別会員所属委員会一覧表	103

地区関係

国際ロータリー関係国内機関一覧	117
（一社）RI 第 2770 地区 収支予算書	118
（一社）RI 第 2770 地区 地区賦課金 納入のお願い	119
国際ロータリー人頭分担金 / ロータリー財団への寄付	120
公式訪問日程表	121
地区内クラブ入会金・年会費・ビジター登録料一覧	122
地区内クラブ創立一覧	123
地区内クラブネット環境一覧	124
姉妹・友好クラブ締結状況	126

その他

ロータリー・ソング	128
2026-2027 年度（一社）国際ロータリー第 2770 地区役員一覧表	別紙
2026-2027 年度（一社）国際ロータリー第 2770 地区例会一覧表	別紙

ご 案 内

ガバナー公式訪問	→ 2026 年 10 月 20 日	（火）
地区大会	→ 2026 年 11 月 14 ～ 15 日	（土・日）
I・M	→ 2027 年 1 月 30 日	（土）
会長エレクトラーニングセミナー	→ 2027 年 3 月 17 ～ 18 日	（水・木）
地区クラブリーダーシップラーニングセミナー	→ 2027 年 4 月 9 日	（金）

※全員で参加しよう ※会長エレクトラーニングセミナーおよび地区クラブリーダーシップラーニングセミナーの開催日は、現時点での予定であり、今後変更となる可能性があります。

2026-27年度 RI会長プロフィール

オラインカ・ハキーム・ババロラ

トランス・アマディ・ロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州



1988年に大学で工学の学位を取得。シェルPLCで要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダン市の組織「ジェリコ・ビジネスマン・クラブ」のメンバーとなっている。

ローターアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20年度副委員長）、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックスUKの評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

2026-27年度 RI会長メッセージ

持続可能なインパクトを生み出そう

私が出会ったロータリー会員は、出身がどこであれ、親切で明るく、すぐに親友になれる人ばかりです。

私たちのもう一つの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。変化はここから始まるのです——奉仕を受ける方々だけでなく、私たち自身の中からも。

私たちのビジョン声明を考えてみてください：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

しかし、私はこう問います。「自分自身の中に持続可能な変化をどう生み出しているのだろうか」

ロータリーが：

- どのように私たちのキャリアを変えているか
- どのように私たちのビジネスを変えているか
- どのように私たちの家族を変えているか

それは最も暗い時代における光にもなります。米国ノースカロライナ州のキャリーキルディア・ロータリークラブ会員、ティア・コッパスさんにとってもそうでした。

2021年、ティアさんの夫は、19カ月に及ぶ闘病の末、癌で亡くなりました。夫の介護とCOVID-19のパンデミックによる隔離生活により、ティアさんは19カ月間、ほとんど誰とも会っていませんでした。

そんな時、ティアさんが所属するロータリークラブの親友が電話をかけてきてこう言いました。「来週木曜日の夕食会に来てください。あなたに会いたいです」

ティアさんはロータリーの夕食会に行きました。しかし、席に着く間もなく、初めて会う新会員が彼女を抱きしめ、こう言ってくれました。「来てくれて本当によかった！」

その瞬間、ティアさんは、自分が一人ではないこと、自分にはコミュニティがあることに気づきました。ロータリーこそ、彼女のコミュニティだったのです。

その後、ティアさんはこの体験が自身に与えたインパクトについて、こうつぶっています。「ロータリーは、あなたが最も必要とする時に、静かに、愛情をもってそばにいてくれるのです。普段は自分が“与える”側にいたとしても、“受ける”側になってもいいんだと教えてくれるのです」「つながりと奉仕、居場所を求めているなら、ロータリーがその答えとなるでしょう」。この言葉に共感できる方も多いと思います。

皆さま、ロータリーは世界を変えるために活動していますが、ロータリーが自分自身をいかに変えたかを伝えることを恐れしないでください。経験から言えることですが、ロータリーは私を深く変えました。

私は十代でローターアクターとして活動を始めました。恵まれた環境で育ち、良い教育を受けましたが、そのような機会を得られない人は大勢いました。

気づきをもたらしたのは、クラブの識字プロジェクトでした。地域社会の人びとに読み書きを教える支援をしました。母国の同世代の人たちが読み書きのスキルを持たずに成長すべきではないと考えました。

このプロジェクトが私を変えました。その変化は、教育へのアクセスを拡大するという責任を伴うものでした。ユニセフの推計によると、教育資金の削減により、今年末までに世界で約600万人の子どもが退学を余儀なくされる可能性があります。この教育危機に対処するには、「寄付」から「奉仕」へと意識を変える必要があります。

南アフリカのナイズナに素晴らしい事例があります。そこでは、ロータリークラブが教育分野で持続可能なインパクトを生み出しています。ナイズナ・ロータリークラブは 2019 年、地域のパートナーと協力し、2025 年までに地域のすべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるようにする方法を模索しました。地域社会からの協力も得て、問題の理解に努め、行動を起こしました。

その結果生まれたプロジェクトは、恵まれない地域の女性たちの力を解き放ち、幼児教育センターの開設と運営を実現させました。今日、このプロジェクトは何千もの子どもと家族を支援しています。今後も何世代にもわたり、教育を提供し続けるでしょう。

このインパクトを世界の他の地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。

そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます。しかし、まずはそのような人びとを受け入れなければなりません。

これは私たちが長年苦勞している課題です。若きローターアクターとしてロータリーに入会しようとした時、私は抵抗に遭いました。

ある日、私はクラブの昼食例会に行きました。以前にも招待を受けて参加したことがありました。

若いローターアクターだった私を見て、そのクラブの会長は「ここで何をしているんだ?」と言いました。

ロータリーに入会するためだと、私は答えました。

彼はこう言いました。「何という厚かましき人だ!ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ」と。

私はこう言い返しました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした」

会場が沈黙に包まれる中、ソジ・フォウォデさんというロータリアンがこう声を上げました。「インカ、私が君を推薦するよ」こうして私はロータリアンになったのです。

しかし、もしソジさんが声を上げてくれなかったら、私が会員になることはなかったでしょう。

当時よりは良くなりましたが、一部のクラブは今も閉ざされたままです。

若い人の意見が尊重されなかったり、考えや背景が異なる人が歓迎されなかったりすることがあります。このような状況では、入会する見込みのある人びとを入会前に失ってしまうことになるのです。

理事会は、2030 年までにロータリアンを 125 万人、ローターアクターを 12 万 5 千人にするという会員増強目標を掲げています。この目標の達成は、私たち全員から始まります。

人びとをどのように迎え入れるかを考えていただきたいと思います。例会や奉仕プロジェクトでの皆さまの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです。

これが、私たちが目標を達成する方法です。皆さまが地区の目標達成を導けば、ロータリー全体の目標を共に達成できます。しかし、地区の目標が何であれ、特に会員増強については、ご自分のベストを超えていただきたいと思います。

従来、最も多くの資金を集め、最も多くの会員を集め、最も大規模なプロジェクトを実施するクラブが称賛されてきました。これは重要なことですが、最も健全な競争は、クラブ間ではなく、過去と現在との間であるべきです。

過去 5 年～7 年を振り返っていただくよう、それぞれの地区とクラブをお願いします。会員増加で最高を記録した年度はいつでしたか?ファンドレイジングで最高を記録した年度はいつでしたか?最も大きなインパクトをもたらしたプロジェクトは何でしたか。

それらの年度がわかったら、その最高記録を超えていただきたいのです。

最高だった年度の入会者が 10 名だったなら、少なくとも 11 名を目指すべきです。数年前に 5 万ドルを募金したなら、次年度は 5 万 5 千ドルを目指してみてください。ほかよりも優れていることを証明するためではなく、自分たちが最高の形になるためです。

こんな格言があります：

「グッド」から「ベター」、そして「ベスト」へ。

歩みを止めてはならない。

「グッド」が「ベター」になり、「ベター」が「ベスト」になるまでは。

この考え方は、クラブや地区、私たち自身にも当てはまります。「変化」と「インパクト」を常に意識するマインドセットが必要です。「変化」と「インパクト」は同じではありません。変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです。

ロータリーの大規模プログラム補助金による「健康な家族のための協力」が数年間実施されているナイジェリアでの事例を紹介します。

プログラム開始から間もない頃、私は試験的都市にある保健センターを訪問しました。自分の目で見たかったのです。主任医師は約 18 カ月前からロータリーと協力していること、協力の開始後間もなく乳児死亡率と妊産婦死亡率が急激に低下したことを話してくれました。

ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。

私は、このプロジェクトが今後数十年にわたりナイジェリア全土で命を救い続けることを、はっきりと見ることができました。これこそが、私が「持続可能なインパクト」と呼ぶものです。

ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。それは、ポリオのない世界、平和な世界、誰もが質の高い教育を受けられる世界です。

そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。「成果」だけでなく、「インパクト」を重視すべきです。

ティアさんが夕食に招待されたことの「成果」は、彼女は孤独を感じなくなったことです。しかし、その「インパクト」は、彼女とクラブの仲間が生涯にわたって希望とコミュニティ意識を持ち続けることです。

ナイジェリアでの「健康な家族のための協力」の「成果」は、乳児と妊産婦死亡率の低下です。しかし、その「インパクト」は、今日だけでなく、世代を超えてずっと、子どもたちが母親の愛情と導きのもとで育つということです。

私たちは、2030 年の会員増強目標を必ずや達成します。その達成による「成果」は、世界のロータリー会員が増えることであり、ロータリーがある場所では良いことが起こることを私たちは知っています。その「インパクト」は、今後も長年にわたり、より強く効果的なロータリーが築かれることです。

その未来は私たちから始まりますが、それは私たちのロータリーでの活動が終わった後もずっと続かなければなりません。この理由により、2026-27 年度の会長メッセージは「**持続可能なインパクトを生み出そう**」です。

持続可能なインパクトを生み出す方法は数多くあります。世界的には、ポリオ根絶という約束を果たすこと、そしてロータリー平和センターの恩恵を最大限に活かすことを意味します。

クラブと地区では、より多くの人を迎え入れ、2030 年会員増強目標の達成に向けて役目を果たすことを意味します。

そして皆さまは、人びとが好奇心を持ち、問いかけをし、ロータリーファミリーに与えられた無限の可能性を受け入れて自分自身の中に持続可能なインパクトを生み出せるよう、インスピレーションを与えることができます。

結果を出し、自分の中に持続可能なインパクトを生み出すことへの意欲をクラブと会員にどう喚起できるかを考えてください。

進歩は自ずと起きるものではありません。それ自身の内なる変化から始まります。

成功とは向こうからやって来るものではありません。自分でつかみに行かなければならないのです。

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

2026-27年度 (一社) RI第2770地区 ガバナーメッセージ

『CREATE LASTING IMPACT』 持続可能なインパクトを生み出そう

2026-27年度 (一社) 国際ロータリー 第2770地区

みえだ かずお
ガバナー 三枝 和男
(大宮東ロータリークラブ)



2026-27年度RI会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏の年次会長メッセージは『CREATE LASTING IMPACT』『持続可能なインパクトを生み出そう』です。地区とクラブが独自のテーマやメッセージを作成するのではなく、このメッセージを使用することによって一つのボイスで一貫した取り組みが行われるよう目指すと発信されています。

(※ロータリーの公式標語およびビジョン声明との混同を避けるため、会長テーマとロゴは2024-25年度に廃止され、新たな伝統として、ロータリーのビジョン声明と行動計画に意識的に沿った年次会長メッセージが2025-26年度に開始されています)

ビジョン声明と行動計画に沿った会長メッセージを踏まえ、2026-27年度は以下の2点を強調して皆さまと取り組んで参ります。

1. 会員増強とクラブ体験の向上

会員数の拡大そのものが目的ではありません。多様な人材が歓迎され、役割と居場所を実感できる、「参加して良かったと思えるクラブ体験」をつくるのが会員増強につながります。楽しい例会、楽しいクラブづくりを目指し、クラブ体験の感動を内外に発信し、ロータリーの価値観を共有できる仲間を増やしましょう。

2. 地域に変化をもたらす奉仕活動

奉仕の成果は、事業数や金額だけで測るものではありません。その活動が地域にどのような変化を生み、数年後も良い影響が残っているかが重要です。

地域に変化をもたらす奉仕活動の為に地域を巻き込んでみましょう。

ロータリーの最優先事項であるポリオの根絶の取り組みを続けます。

年度計画書の作成にあたっては MISSION（役割・責務）をしっかりと認識し、PASSION（熱意・情熱）を持って多くの会員や地域の人々を巻き込み、計画を ACTION（行動）に移す実行力を発揮して更なるクラブの活性化を推進して頂きますようお願いを申し上げます。

私も MISSION・PASSION・ACTION をキーワードに皆さんと共に行動します。一年間ロータリーを楽しみながらクラブの未来の為に共に全力で駆け抜けて参りましょう。

2026-27年度 (一社) RI第2770地区ガバナープロフィール

三枝 和男 (みえだ かずお)

大宮東ロータリークラブ

勤務先：株式会社八雲造園 代表取締役

職業分類：造園業

【所属団体】

(一社) 埼玉県造園業協会 理事 副会長

さいたま市造園業協会 理事 ほか

【最終学歴】

東京農業大学短期大学部農業科造園コース卒業

【ロータリー歴】

(クラブ略歴) 2005年10月24日 大宮東ロータリークラブ入会

2009-2010年度 クラブ幹事

2012-2013年度 クラブ会長 (RI会長賞)

(地区略歴) 2010-2012年度 ロータリー財団部門資金推進委員

2015-2016年度 ロータリー財団部門地区補助金運営副委員長

2016-2017年度 ロータリー財団部門地区補助金運営委員長

2017-2018年度 ロータリー財団部門補助金委員長

2018-2019年度 国際奉仕委員

2019-2020年度 ロータリー財団部門委員長

2020-2021年度 ロータリー財団部門資金管理委員長

2021-2022年度 第4グループガバナー補佐

2021-2026年度 RLI ファシリテーター

2024-2025年度 ガバナーノミニー・国際奉仕委員長

2025-2026年度 ガバナーエレクト

【その他】

ロータリー財団メジャードナー

ベネファクター

ポール・ハリス・ソサエティ

ポリオ・プラス・ソサエティ

米山功労者

2026-27年度の地区方針

1. 会員増強とクラブ体験の向上

会員数の拡大そのものが目的ではありません。多様な人材が歓迎され、役割と居場所を実感できる、「参加して良かったと思えるクラブ体験」をつくることがクラブの維持につながります。

- 楽しい例会、楽しいクラブづくり（フェローシップ）
- 3年未満の会員や多様な会員に向けた交流会等の実施
- クラブ体験の感動を伝える（ロータリーモーメント）

2. 地域に変化をもたらす奉仕活動

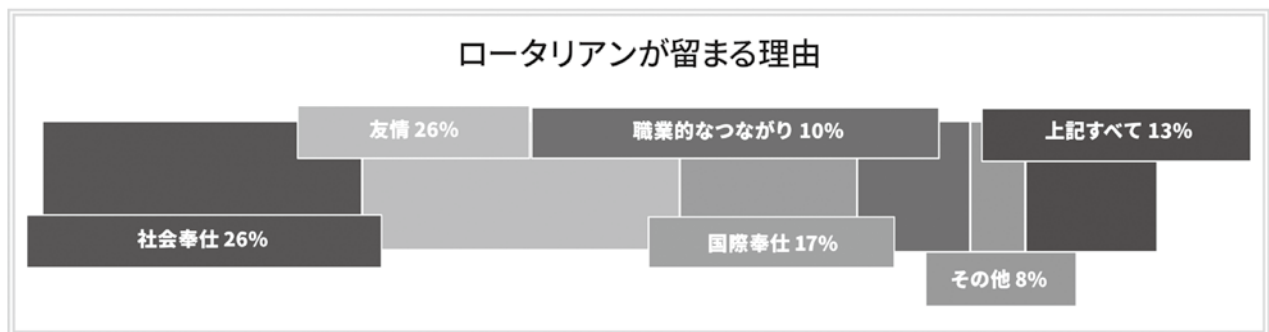
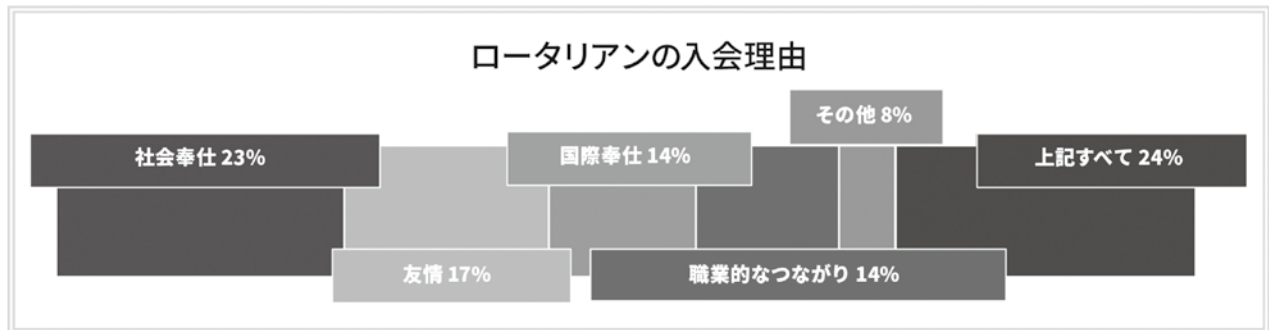
奉仕の成果は、事業数や金額だけで測るものではありません。その活動が地域にどのような変化を生み、数年後も良い影響が残っているかが重要です。

- 地域に変化をもたらす奉仕活動（地域を巻き込む）
- 世界ポリオデー 10月24日の認識を更に高める

本年度は『会員増強とクラブ体験の向上』と『地域に変化をもたらす奉仕活動』の2つに焦点を絞り 2026-27 年度の方針とします。

クラブでの体験を魅力的なものにする

2021 年と 2022 年に実施された会員調査により、ロータリークラブ会員の入会理由とクラブに留まる理由が判明しました。



最も大切なのは「クラブでの体験」

ロータリーが最近行った調査によると、会員満足度を高める最も重要な要素はクラブでの体験であることがわかっています。

1

例会での楽しみ：会員が楽しみ、クラブの一員として参加・貢献できている、帰属意識をもてると感じている。

2

クラブリーダーへの信頼：クラブで意見を述べられる、クラブリーダーが自分に耳を傾けてくれていると会員が感じている。リーダーがクラブのために最善の決断を下してくれると信頼している。

3

個人的な成長の機会：自分のスキルを伸ばし、成長する機会がクラブとロータリーにあると会員が感じている。

クラブでの体験を形づくるものは何でしょうか。

4

つながり：ロータリーを通じて貴重な人間関係を築けたと会員が感じている。

5

有意義な奉仕：クラブの奉仕活動が世界と地域社会に変化をもたらしていると会員が感じている。

会員の関心とニーズに基づく体験を生み出すために、会員満足度アンケートを含む「会員増強のための評価ツール」をお役立ていただけます。

ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画」です。この行動計画の四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人びとを結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

より大きな
インパクト
をもたらす

参加者の
基盤を
広げる

参加者の積極的な
かかわりを
促す

適応力を
高める

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- インパクトをもたらし、それを測る能力を高める

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- 参加者がロータリーを体験する新しい方法を創り出す
- クラブの柔軟性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する理解を築く

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 個々の参加者をよりよく理解し、サポートする
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育む

4410-JA—(724)

ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.

第2770 地区のビジョン

第 2770 地区はロータリーのビジョンを採用します。

地区の優先事項

- 優先事項 1 「より大きなインパクトをもたらす」
- 優先事項 2 「参加者の基盤を広げる」
- 優先事項 3 「参加者の積極的なかかわりを促す」
- 優先事項 4 「適応力を高める」

三ヶ年計画

- 優先事項 1 「より大きなインパクトをもたらす」
 - PPS、PHS、大口寄付を募り顕彰する
 - ポリオ根絶に向けた募金活動や継続的な取り組みを推進する
- 優先事項 2 「参加者の基盤を広げる」
 - 地区内ロータリー会員 2,400 名を目標に、各クラブ 10%の増強を推進する
 - 各グループにローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、Eクラブ、衛星クラブを新設する
- 優先事項 3 「参加者の積極的なかかわりを促す」
 - 毎月の例会出席率をガバナー月信に掲載する
 - RLI への参加を促す
- 優先事項 4 「適応力を高める」
 - クラブビジョンを例会場に掲げることが推奨し、三ヶ年行動計画の作成を推進する
 - 5 年未満の会員に地区での活躍の場を広げる

地区数値目標

1. 会員数 純増 100 名
(既存クラブ、ローターアクト、新しい種類のクラブ)
2,400 名へ
2. 新たな種類・形式・モデルのクラブ設立4つ
ローターアクトクラブ
インターアクトクラブ
Eクラブ
衛星クラブ
ほか
3. ロータリー財団寄付

年次基金	会員 1 名 200 ドル以上
ポリオプラス基金	会員 1 名 50 ドル以上
恒久基金	ベネファクター 50 名未満のクラブ 1 名 50 名以上のクラブ 2 名
PPS、PHS	50 名未満のクラブ 1 名以上 50 名以上のクラブ 2 名以上 地区 100 名以上
冠名基金	地区 3 名以上
メジャードナー	地区 3 名以上
アーチ・クランフ・ソサエティ	地区 1 名以上
4. 米山記念奨学会寄付 会員 1 名 25,000 円以上

(一社) RI第2770地区 第8グループ ガバナー補佐メッセージ

ご挨拶

2026-27年度 (一社) 国際ロータリー 第2770地区
第8グループ ガバナー補佐 会田 皓章
(越谷東ロータリークラブ)



2026-2027 年度国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループガバナー補佐を務めさせていただきます会田皓章（越谷東ロータリークラブ）でございます。よろしくお願い致します。

さて、2026-2027 年度 RI 会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏の会長メッセージは「CREATE LASTING IMPACT」「持続可能なインパクトを生み出そう」であり、今年度も、地区やクラブが独自のテーマを作るのではなく、一つのボイスで一貫した取り組みが行われるよう目指すと発信されています。

三枝ガバナーも会長発信を踏まえ地区方針として「会員増強とクラブ体験の向上」と「地域の変化をもたらす奉仕活動」を掲げております。

わが第 8 グループはどのクラブも活発に活動をしており、会員増強の基本である参加して楽しいクラブであることや、それぞれのクラブが地域に根差した活動も盛んに行われています。

今年度はさらにグループ内での情報を共有して、益々活発な第 8 グループになるようにお役に立てればと考えております。グループの皆様ご協力の程よろしくお願い致します。

2026-27年度 越谷ロータリークラブ会長メッセージ

ご挨拶

2026-27年度 越谷ロータリークラブ
会 長 松田 繁三



第 66 代越谷ロータリークラブの会長にご指名いただき、そして会員の皆様にご承認をいただき誠にありがとうございます。

越谷ロータリークラブは、第 2770 地区でも有数の格式と伝統あるクラブです。私は医業という自身の職業を通じて社会に貢献してきたという自負がありました。しかし例会に参加する中でロータリアン皆様の社会貢献、国際貢献に対する熱意と行動力を肌で感じ、次第にロータリーの素晴らしさに気づきました。ロータリーの奉仕の精神を鑑み、越谷ロータリークラブの会長を引き受ける決意をしました。ロータリーの公式標語「超我の奉仕」、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」この精神を忘れずに、しかし楽しくなければロータリーではない。そう言い聞かせて一年間活動していく所存です。

昨年より RI が基本方針を決めて、地区及び各クラブはその方針の下活動していくことになっています。オンラインカ・ハキーム・ババロラ RI 会長は

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

のメッセージを掲げました。RI 会長方針を大原則として運営します。ロータリーは常に変化を求めています。

具体的には、

- ①皆が出席したくなる楽しく且つ為になる例会運営に努めます。
- ②会員の健康増進を図り経営者が長生きして元気でいられる為の情報発信を致します。
- ③会員増強・維持に努めます。

上記方針の下、地元越谷の為、日本の為、ひいては世界平和の為に、有意義な活動を行なっていく所存です。一年間会員の皆様のご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

◇越谷ロータリークラブ 本年度の活動方針

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

1. 会員増強とクラブ体験の向上

- ①会 員 増 強 維 持：会員の増強及び退会防止に努める。
- ②クラブ体験の向上：学びのある充実したプログラムと楽しい親睦事業を企画して会員相互の理解、親睦を深める。

2. 地域に変化をもたらす奉仕活動

- ①例年同様地域での社会奉仕活動を実施していくが、更なるインパクトを生むよう改善出来るところは改善する。
- ②必要とされる人々、地域（国）での奉仕活動を通して持続性ある国際貢献、国際交流に努める。
- ③ポリオ根絶運動の支援。

クラブビジョン

これからも、ユーモアを忘れず、常に新しい改革の波を受け入れる情熱（Passion）を持ち続けて、大人の寺子屋、経営者の学び舎となるよう努めます。

◆ 行動計画 ◆

- 1. 現在の会員数を維持するため更なる会員増強に努力します。
- 2. ロータリーの認知度を上げるよう地域への活動の継続とマスコミ、SNS を通じてのアピールに努めます。
- 3. 組織の活性化を図るため、若い会員の意見、女性の意見を聞いて少数意見にも配慮してより良いクラブになるよう努めます。

RI 方針の下例会を通して学び、新しい知識を吸収し、ロータリアン自らを改革し、自分の心の中に今までにないインパクトを生み出して更なるより良いクラブにしていく。

第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第7条 会合

第1節 例会。

- (a) 日および時間。本クラブは、細則に定められた日および時間に、定期の週の会合を開くものとする。
 - (b) 会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。参加型の会合は、参加型の活動が掲載される日に開かれるとみなされるものとする。
 - (c) 会合の変更。正当な理由がある場合、理事会は、例会を、前回から次回の例会の間のいずれかの日、定例日の他の時間、または他の場所に変更することができる。
 - (d) 取消。例会日が以下にあたる場合、理事会は、例会を取りやめることができる。
 - (1) 祝日にあたる場合、またはその週に祝日が含まれる場合
 - (2) 会員の葬儀の場合
 - (3) 全地域社会にわたる流行病もしくは災害が発生した場合、または
 - (4) 地域社会での武力紛争がある場合理事会は、ここに列記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができるが、3回を超えて続けて例会を取りやめてはならない。
 - (e) 衛星クラブの例会（該当する場合）細則により定められている場合、衛星クラブは、会員により定められた場所と日時において、毎週1回、定期の会合を開くものとする。例会の日、時間、場所は、本条第1節(c)と同様の方法で変更できる。衛星クラブの各会合は、本条第1節(d)の理由によって取りやめることができる。投票手続は細則の規定通りである。
 - (f) 例外。細則には、本節に従わない規定を含めることができる。ただし、クラブは少なくとも月に2回、例会を行わなければならない。
-

第2節 — その他の会合。

- (a) 役員を選挙し、前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。
- (b) 現年度前期における収入と支出を含む中間財務報告を1月31日までに行われる会合において発表するものとする。
- (c) 衛星クラブは、衛星クラブのための役員を選挙するため、12月31日の前に年次総会を開催するものとする。

第3節 — 理事会の会合。

理事会のすべての会合後30日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第8条 会員身分

第1節 — 全般的資格条件。

本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

第2節 — 種類。

本クラブの会員の種類は正会員および名誉会員の2種類とする。本条第7節に従って、クラブは他の会員の種類を設けることができる。これらの会員は正会員または名誉会員としてRIに報告される。

第3節 — 正会員。

RI定款第4条第2節(a)の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができる。

第4節 — 衛星クラブの会員。

本クラブの衛星クラブの会員はいずれかのクラブの会員でもあり、これは衛星クラブがロータリークラブとしてRIから加盟が認められるまで続く。

第5節 — 二重会員の禁止。

いかなる会員も、同時に、

- (a) 本クラブと、いずれかのクラブの衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない、または
- (b) 本クラブにおいて、名誉会員になることはできない。

第6節 — 名誉会員。

本クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。名誉会員には以下の条件があるものとする。

- (a) 会費の納入を免除される
- (b) 投票権を持たない
- (c) クラブのいかなる役職にも就かない
- (d) 職業分類を持たない
- (e) 本クラブのあらゆる会合に出席することができ、その他クラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問することはできる。

第7節 — 例外。

細則には、第8条第2節および第4～6節に従わない規定を含めることができる。

第9条 クラブの会員構成

第1節 ― 一般規定。

各会員は、その事業、専門職務、職業、または社会奉仕に従って分類されるものとする。職業分類は会員の会社、企業、団体の主要かつ一般世間が認めている事業活動を示すものか、本人の主要かつまた一般世間が認めている事業または専門職務を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする。理事会は、会員が役職、専門職務、または職業を変更する場合、会員の職業分類を修正することができる。

第2節 ― 多様なクラブ会員基盤。

本クラブの会員基盤は、年齢、性別、ジェンダー、および民族的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。

第10条 出席

第1節 ― 一般規定。

各会員は本クラブの例会、あるいは衛星クラブの例会に出席し、本クラブの奉仕プロジェクト、行事、およびその他の活動に参加するべきである。会員が、ある例会に出席したものとみなされるには、

- (a) その例会時間の少なくとも 60 パーセントに直接、電話で、またはオンラインで出席する
- (b) 会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなり、その後退席が妥当であると示す十分な理由をクラブ理事会に提示する
- (c) クラブのウェブサイトにて例会が掲載されてから 1 週間以内に定例のオンラインの会合または参加型活動に参加する、または
- (d) 次のような方法で同じ年度に欠席をメイクアップする：
 - (1) 他のロータリークラブ、仮クラブ、または他のロータリークラブの衛星クラブのいずれかの例会の少なくとも 60 パーセントに出席すること。
 - (2) 他クラブまたは他クラブの衛星クラブの例会に出席の目的をもって定刻に会場に赴いたとき、当該クラブが、定例の時間または場所において例会を開いていなかった場合。
 - (3) 理事会承認のクラブの奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席すること。
 - (4) 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席すること。
 - (5) クラブのウェブサイトを通じて、オンラインの会合または参加型活動に参加すること。
 - (6) ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー親睦活動、あるいは仮ローターアクトクラブ、仮インターアクトクラブ、仮ロータリー地域社会共同隊、仮ロータリー親睦活動の例会に出席すること。または
 - (7) RI 国際大会、規定審議会、国際協議会、ロータリー研究会、RI 理事会または RI 会長の承認を得て招集された会合、合同ゾーン大会、RI 委員会会合、地区大会、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー、RI 理事会の指示の下に開催された地区会合、ガバナーの指示の下に開催された地区委員会、または正式に公表されたクラブの都市連合会に出席すること。

第2節 ― 遠方での勤務中の長期の欠席。

会員が長期にわたって遠方で業務に従事している場合、会員の所属クラブと転勤先の指定クラブが合意していれば、会員は、転勤先における指定クラブの例会への出席が所属クラブの出席の代わりとなる。

第3節 ― その他のロータリー活動による欠席。

欠席のメイクアップが必要とされないのは、会合のときに、会員が

- (a) 第1節(d)(7)に挙げた会合の一つに出席するため、適切な直行日程による往復の途次にある場合。
- (b) 役員またはRI委員会の委員、TRF管理委員として、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (c) ガバナーの特別代表として、新クラブ結成中、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (d) RIに雇用されている者が、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (e) メイクアップすることができないような僻遠の地で、地区、RI、またはTRFの提唱する奉仕プロジェクトに直接かつ積極的に従事している場合。または
- (f) 理事会が正当に承認したロータリー職務に従事していて、例会に出席できない場合。

第4節 — RI 役員の欠席。

会員が現役のRI役員または現役のRI役員の配偶者／パートナーである場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

第5節 — 出席規定の免除。

次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出席規定の適用の免除は、最長12カ月間までとする。ただし、健康上の理由、子どもの誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の12カ月を超えて延長することができる。
- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、これらの要件が満たされているかのみが考慮に入れられた場合。

第6節 — 出席の記録。

本条第5節(a)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会を欠席した場合、その会員と会員の欠席は、出席記録に含まれないものとする。本条第4節または第5節(b)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるものとする。

第7節 — 例外。

細則は、第10条に従わない規定を含めることができる。

第11条 理事および役員および委員会

第1節 — 管理主体。

本クラブの管理主体は、細則に規定される理事会である。

第2節 — 権限。

理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持ち、正当な理由がある場合は、そのいずれをも罷免することができる。

第3節 — 理事会による最終決定。

クラブのあらゆる事項に関して、理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。しかしながら、理事会が会員身分の終結の決定をした場合、会員は第13条第7節の規定に従って、クラブに提訴するか、調停または仲裁に訴えることができる。理事会の決定を覆すための提訴は、理事会が指定した例会において、定足数の出席を得て、その出席会員の3分の2の投票を必要とする。そして、当該例会の少なくとも5日前に、幹事が当該提訴の予告を各会員に対して与えていなければならない。提訴に対するクラブの決定が最終決定である。

第4節 — 役員。

クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1名または数名の副会長も役員に含めることができ、これら全員を理事会メンバーとする。また、会場監督もクラブ役員とすることができるが、細則が定める場合、理事会のメンバーとすることができる。各役員と理事は、本クラブの瑕疵なき会員であるものとする。クラブ役員は定期的に衛星クラブの例会に出席するものとする。

第5節 — 役員の選挙。

- (a) 会長を除く役員の任期。各役員はクラブ細則の定めるところに従って選挙されるものとする。会長を除き、各役員は選挙された直後の7月1日に就任し、選挙された任期中または後任者が選挙されかつ適格となるまで在任する。
- (b) 会長の任期。会長ノミニーは、細則の定めるところに従って、会長として就任する日の直前18カ月以上2年以内に選挙されるものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の7月1日に、会長エレクトになる。会長は、7月1日に就任し、1年間、その職務に当たる。後任者が選挙されない場合、現会長の任期は最長1年間延長される。
- (c) 会長の資格要件。クラブ会長の候補者は、ガバナーが1年未満であってもこの要件を満たしていると判断しない限り、指名に先立つ少なくとも1年間、本クラブの会員でなければならない。会長エレクトは、ガバナーエレクトから特に免除されない限り、会長エレクト・ラーニングセミナーとクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに出席するものとする。免除された場合は、会長エレクトがクラブから代理の者を派遣するものとする。会長エレクトが、ガバナーエレクトからの免除を受けずに、会長エレクト・ラーニングセミナーおよびクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに出席しない場合、あるいは、免除されてもクラブの代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任しないものとする。その場合、会長エレクト・ラーニングセミナーおよびクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー、もしくはガバナーエレクトが十分であるとみなしたラーニングに出席した後任者が選挙されるまで、現会長が継続してクラブ会長を務めるものとする。

第6節 — 本クラブの衛星クラブの組織運営。

- (a) 衛星クラブの監督。本クラブは、理事会が適切とみなす一般的な監督と支援を、衛星クラブに提供するものとする。
- (b) 衛星クラブの理事会。日々の運営のため、衛星クラブの理事会を毎年選出するものとする。この理事会は会員から選ばれ、細則の定めるところに従って、衛星クラブの役員および4～6名のその他の会員により構成される。衛星クラブの最高役員は議長(chair)であり、その他の役員は、直前議長、議長エレクト、幹事、会計とする。衛星クラブ理事会は、本クラブの指導の下、ロータリーの規定、要件、方針、目標、目的に従って、衛星クラブの日々の運営とクラブ活動の管理を担うものとする。本クラブ内または本クラブに対して、いかなる権限も持たない。
- (c) 衛星クラブの報告手続。衛星クラブは、毎年、クラブ会員と、クラブの活動およびプログラムに関する報告書を、本クラブの会長と理事会に提出するものとする。この報告書には、財務諸表と監査または審査済みの会計報告を添付するものとし、これらは、本クラブの年次総会に向けた報告書に含まれる。また、本クラブからの要請に応じて、その他の報告書を随時提出する。

第7節 — 委員会。

本クラブは次の委員会を有すべきである。

- (a) クラブ管理運営

-
- (b) 会員増強
 - (c) 公共イメージ
 - (d) ロータリー財団、および
 - (e) 奉仕プロジェクト

理事会または会長は、必要に応じて追加の委員会を任命できる。

第12条 会費

すべての会員は、細則の定める年会費を納入するものとする。

第13条 会員身分の存続

第1節 期間。

会員身分は、以下に定めるところによって終結しない限り、本クラブの存する間存続するものとする。

第2節 自動的終結。

会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。

- (a) 再入会。瑕疵なき会員の会員身分が終結した場合、その人物は同じ職業分類または別の事業、専門職務、職業、社会奉仕、その他の職業分類の下に、再度新たに入会申込をすることができる。
- (b) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は、延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員 身分を取り消すことができる。

第3節 自動的終結 — RI 理事会。

RI 細則第 3.060. 節の手続きに従って RI 理事会がクラブに指示した場合、会員身分は自動的に終結するものとする。

第4節 終結 — 会費不払。

- (a) 手続。期日後 30 日以内に会費を納入しない会員に対しては、幹事が、書面をもって催告するものとする。催告後 10 日以内に会費が納入されなければ、理事会はその裁量によって会員身分を終結することができる。
- (b) 復帰。理事会は、元会員が要請し、クラブに対するすべての負債を支払った場合、元会員を会員身分に復帰させることができる。

第5節 終結 — 欠席。

- (a) 出席率。会員は、
 - (1) メークアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも 50 パーセントに達しているか、年度の各半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも 12 時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。および
 - (2) 年度の各半期間に、本クラブまたは衛星クラブの例会総数のうち少なくとも 30 パーセントに出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない (RI 理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする)。

規定通り出席できない会員は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会員身分を終結されることがある。

- (b) 連続欠席。理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、または第 10 条第 4 節もしくは第 5 節に従う場合を除き、連続 4 回例会に出席せず、またメークアップもしていない場合、その欠席がクラブ会員身分の終結を要請していると考えることができる。理事会が会

員に通知した後、理事会は、過半数によって、会員の会員身分を終結することができる。

(c) 例外。細則は、第 13 条第 5 節に従わない規定を含めることができる。

第 6 節 — 終結 — その他の理由。

(a) 正当な理由。理事会は、いずれの会員も、クラブの会員としての資格条件に欠けるようになった場合、もしくは他に十分と認められる根拠があれば、特にその目的のために招集された理事会の会合において、出席し投票した全理事の 3 分の 2 以上の賛成投票によって、その会員身分を終結することができる。本会合の指針となる原則は、第 8 条の第 1 節、「四つのテスト」、およびロータリアンの高い倫理基準とする。

(b) 通知。理事会が本節 (a) 項の下に決定する前に、当該会員は、少なくとも 10 日間の予告を書面によって与えられ、理事会に対して書面にて回答する機会を与えられるものとする。かかる予告の通達は、配達証明便または書留郵便によって、分かっている最新の宛先に送付されるものとする。会員は、理事会に出頭して、自分の立場を釈明する権利を持つ。

第 7 節 — 会員身分の終結に提訴、調停または仲裁を求める権利。

(a) 通知。幹事は、理事会決定後 7 日以内に、その理事会の会員身分を終結または保留させる決定を、書面で会員に通知するものとする。その会員は通告後 14 日以内に、幹事に対する書面をもって、クラブに提訴するか、または調停もしくは仲裁に訴えるかを通告することができる。調停または仲裁の手続は第 17 条に規定されている。

(b) 提訴。提訴する場合は、提訴を通告する書面を受理してから 21 日以内に行われるクラブの例会において、当該聴聞を行うために、理事会はその日取りを決定するものとする。例会およびその例会で行う特別案件について、少なくとも 5 日間の予告が、書面をもって、全会員宛に与えられるものとする。提訴が聴聞される場合には、会員のみが出席するものとする。クラブの決定が最終決定であり、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、仲裁を要求することはできない。

第 8 節 — 理事会による最終決定。

もしクラブに対する提訴も行われず、仲裁も要求されなかった場合、理事会の決定は最終決定となるものとする。

第 9 節 — 退会。

会員の本クラブからの退会の申出は会長または幹事宛に書面をもって行うものとする。理事会がその申出を受理するものとする。ただし、当該会員が本クラブに負債がある場合を除く。

第 10 節 — 資産関与権の喪失。

いかなる理由にせよ、本クラブの会員身分を終結された者は、本クラブに入会した時点で地元の法律の下でその会員が何らかの権利を得ていた場合、本クラブのいかなる資金またはその他の財産に対しても、あらゆる関与権を喪失するものとする。

第 11 節 — 一時保留。

本定款のいかなる規定にもかかわらず、理事会の見解において、

- (a) 会員が、本定款に従うことを拒否または怠った、あるいは会員としてふさわしくない振舞い、またはクラブに害をもたらすような振舞いをしたという信憑性のある告発がある場合、および、
- (b) これらの告発が立証された場合、当該会員の会員身分を終結するのに正当な理由となる場合、および、
- (c) 当該会員の会員身分に関していかなる措置も取るべきではなく、その結果を待つ間、または理事会が適切と考える措置が最初に取りられるべきである場合、および、
- (d) 当該会員の会員身分に対する票決を取ることなく、当該会員の会員身分を一時保留とし、当該会員が例会やその他のクラブの活動への出席や、いかなる役職や任務からも除外するこ

とがクラブの最善の利益となる場合、
理事会は、その3分の2以上の賛成票によって、理事会の決定する妥当な期間(ただし最大90日間)と理事会が定めたその他の条件に従い、会員の会員身分を一時保留とすることができる。一時保留とされた会員は、本条第7節に定められる通り、一時保留について提訴する、または調停や仲裁を求めることができる。一時保留期間中、当該会員は出席要件を免除されるものとする。理事会は、一時保留期間が終了する前に、一時保留となっているロータリアンの会員身分を終結する手続きを取るか、通常の会員身分に復帰させなければならない。

第14条 地域社会、国家、および国際問題

第1節 — 適切な主題。

地域社会、国家および世界の福祉にかかわる公共問題は、クラブ会合における公正かつ理解を深める討議の対象として適切な主題である。しかしながら、クラブは、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明しないものとする。

第2節 — 支持の禁止。

本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦しないものとする。またいかなるクラブ会合においても、かかる候補者の長所または短所を討議しないものとする。

第3節 — 政治的主題の禁止。

- (a) 決議および見解。本クラブは、政治的性質をもった世界問題または国際政策に関して、決議ないし見解を採択したり配布したりしないものとする。またこれに関して行動を起こさないものとする。
- (b) 嘆願。本クラブは、政治的性質をもった特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願しないものとする。また書状、演説、提案を配布しないものとする。

第4節 — ロータリーの発祥を記念して。

ロータリアの創立記念日、2月23日の週は、世界理解と平和週間である。この1週間、本クラブはロータリアの奉仕を祝い、これまでの業績を振り返り、地域社会と世界中で平和、理解、親善のためのプログラムに重点を置く。

第15条 ロータリーの雑誌

第1節 — 購読義務。

本クラブがRI理事会によって免除されていない限り、各会員は、機関雑誌を購読するものとする。同じ住所に住む二名のロータリアンは、機関雑誌を合同で購読することができる。購読は本クラブの会員となっている限り継続し、購読料は理事会が決定した人頭分担金の支払日に支払われるものとする。

第2節 — 購読料。

購読料は、クラブが各会員から事前に徴収し、RIまたはRI理事会が決定した通り、購読する地域雑誌の事務所に送金するものとする。

第16条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守

会員は、会費を支払うことによって、ロータリアの目的の中に示されたロータリアの原則を受諾し、クラブ定款・細則を順守し、これに拘束されることを受諾する。これらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、クラブ定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

第 17 条 仲裁および調停

第 1 節 — 意見の相反。

現会員または元会員と本クラブ、クラブ役員、または理事会との間の意見の食い違いは、理事会の決定を除き、論争当事者のいずれかが幹事に要請し、調停または仲裁によって解決を図るものとする。

第 2 節 — 調停または仲裁の期限。

要請を受理してから 21 日以内に、理事会は論争当事者と協議して、調停または仲裁の日取りを決定するものとする。

第 3 節 — 調停。

調停の手続きは、

- (a) 国もしくは州に対し管轄権を有する関係当局によって認められたもの、または
- (b) 代替の争議の解決方法を含む専門知識に定評のある優れた専門職団体によって推薦されたもの、または
- (c) RI 理事会もしくは TRF 管理委員会が定めた指針文書において推奨されたものとする。

ロータリアンのみが調停人となることができる。クラブは、適切な調停技能と経験を有する調停人を任命するようガバナーもしくはガバナーの代理人に依頼することができる。

- (a) 調停の結果。調停後に論争当事者が合意に達した結果もしくは決定は、記録されるものとし、各当事者、調停人、および理事会に記録を 1 部ずつ提出するものとする。クラブへの情報提供のために、当事者が承諾できる要約文を作成するものとする。論争当事者の一者が調停内容を十分に履行しなかった場合、いずれの論争当事者も会長または幹事を通じて、さらに調停を要請することができる。
- (b) 調停の失敗。調停を要求したが、調停が失敗した場合、論争当事者は本条の第 1 節に定める仲裁に訴えることができる。

第 4 節 — 仲裁。

仲裁が要求された場合、両論争当事者はそれぞれ 1 名のロータリアンを仲裁人として指定し、両仲裁人は 1 名のロータリアンを裁定人として指定するものとする。

第 5 節 — 仲裁人または裁定人の決定。

仲裁人によって下された決定もしくは両仲裁人が合意に達し得なかった場合、裁定人による決定が最終であって、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、提訴することはできない。

第 18 条 細則

本クラブは、RI 定款・細則、RI によって管理上の地域単位が認められている場合には、その手続規則、および本定款と合致する細則を採用するものとし、細則は、本クラブの管理のために、さらに追加規定を設けるものとする。細則は、その規定に従い、改正することができる。

第 19 条 改正

第 1 節 — 改正の方法。

本条第 2 節に規定されている場合を除き、本定款は、規定審議会における投票者の過半数の賛成票によってのみ改正できる。

第 2 節 — 第 2 条と第 4 条の改正。

第 2 条（名称）および第 4 条（クラブの所在地域）は、定足数を満たした数の会員が出席したクラブの例会においていつでも、全投票会員の最低 3 分の 2 の賛成投票によって、改正することが

できる。改正案の通告は、その例会の少なくとも 21 日前に、各会員およびガバナーに郵送されるものとする。改正は、RI 理事会に提出するものとし、承認された時に初めてその改正は効力を発する。ガバナーは、提出された改正案に関して RI 理事会に意見を提供することができる。

※ 2026 年度 手続き要覧に基づき変更

越谷ロータリークラブ細則

第1条 定義

本条の語句は、本細則で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味を持つものとする。

1. 理事会 本クラブの理事会は、役員、および 10 名の理事で構成される。
2. 理事 本クラブの役員および理事会メンバーをいう。
3. 役員 会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計、会場監督および直前会長をいう。
4. 会員 名誉会員以外の本クラブ会員をいう。
5. R I 国際ロータリーをいう。
6. 年度 7月1日に始まる 12 ヶ月間とする。
7. 次年度理事会 会長エレクト、次々年度会長（会長ノミニーという）、次年度役員、会長及び 10 名の次年度理事で構成される。
8. 被選理事会 次々年度会長、次年度役員（ただし、会場監督を除く）および 10 名の次年度理事が選出されてから 1 週間以内に、次年度会長が開く次年度理事会をいう。

第2条 理事会

本クラブの管理主体は、本クラブの会員 17 名により構成する理事会とする。すなわち本細則第 3 条第 1 節に基づいて選挙された 10 名の理事、会長、副会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミニー）、幹事、直前会長および会計と、被選理事会により選出された会場監督で構成される。

第3条 理事および役員の選出

第1節

次年度理事および役員（ただし会場監督を除く）を選出すべき会合（年次総会）の 1 か月前の例会において、その議長たる役員は、会員に対して、次々年度会長、次年度副会長、同幹事、同会計および 10 名の同理事を指名することを求めなければならない。

その指名は、別に定める指名委員会設置準則に従って、指名委員会によって行う。指名された次年度役員（会場監督を除く）および同理事は、年次総会において、出席者の過半数の承認をもって、それぞれ該当する役職に当選したものとする。

前記の投票によって選出された次々年度会長は、会長ノミニーとなるものとし、その選出の後の次の 7 月 1 日に始まる年度に、会長ノミニーのまま理事会のメンバーを務め、理事会のメンバーを務めた年度直後の 7 月 1 日に、会長に就任するものとする。会長ノミニーは、後任者の選出が行われた後に、会長エレクトの役職名が与えられるものとする。

第2節

選出された次年度役員および同理事に、次年度会長および直前会長を加えて被選理事会を構成するものとする。

次年度会長は、次年度役員および同理事が選出されてから 1 週間以内に被選理事会を開催し、クラブ会員の中から役員たる会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節

理事会またはその他の役職に生じた欠員は、指名委員会の指名により選出された役員もしくは理事によって補填すべきものとする。ただし、その直後の例会に報告し、同例会において、承諾

を経ることを要する。

第4条 役員の任務

第1節 会長

本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト

会長エレクトは理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。

第3節 副会長

会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事

幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管するほか、下記の任務を行う。

(1) RI事務総長に対し、次の報告を行う。

- ① 毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告
- ② 半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員について10月1日と4月1日現在の四半期会員報告
- ③ 資格変更報告
- ④ 毎月1日迄に前月分の会員数報告および活動報告並びにR財団寄付報告を地区ガバナーに対して行わなければならない。月次出席報告（毎月1日迄に提出）を含む諸種の義務報告

(2) RI公式雑誌の購読料を徴収してこれをRIに送金する。

(3) その他通常その職に付随する任務。

第5節 会計

会計の任務は、すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行う。その職を去るに当たっては、会計はその保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブの財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督

会場監督の任務は、通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。

第7節 直前会長

直前会長の任務は、前年度の事業活動等の経験を踏まえて、理事会の審議に助言・指導相談を行う事を任務とする。

第5条 会合

第1節 年次総会

本クラブの年次総会は、毎年12月30日以前に開催されるものとする。この年次総会において、次年度の役員（ただし、会場監督・直前会長を除く）および同理事の選出を行わなければならない。

第2節

本クラブの毎週の例会は、火曜日 12 時 30 分に開催するものとする。

例会に関するあらゆる変更または例会の取消は、クラブの会員すべてに然るべく通告されなければならない。本クラブの会員はすべて、名誉会員（または越谷ロータリー・クラブ定款第 10 条第 5 節（b）項の規定にもとづき、出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録される。その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも 60 パーセントに出席していたことが実証されるか、もしくは越谷ロータリー・クラブ定款第 10 条第 1 節の別段の規定によるものでなければならない。

第3節

越谷ロータリークラブ定款第 10 条第 1 節（d）項の規定にかかわらず、会員は、例会欠席した場合、例会の前後いずれも 14 日以内に欠席をメイクアップしなければならない。

第4節

本クラブの年次総会および例会の定足数は、会員総数の 3 分の 1 以上とする。

第5節

定例理事会は、毎月 1 回開催されるものとする。理事会は、会長がその必要ありと認めたとき、または 2 名以上の役員もしくは理事からの要求があるときは、会長によって招集されるものとする。ただしその場合然るべき予告が行われなければならない。

第6節

理事会の定足数は、役員および理事の過半数とする。

第 6 条 入会金および会費

第1節

入会金は 8 万円とし、入会承認に先んじて納入すべきものとする。ただし、以下に該当する新会員の入会金については、これを 4 万円とする。

- ①会社勤務者の転勤に伴う同一会社の社員
- ②会員（かつて会員だった者も含む）の配偶者
- ③会員（かつて会員だった者も含む）の二親等以内の血族

第2節

- (1) 会費は年額 28 万円とし、各半年ごとの各支払額のうちの一部は、各会員の RI 公式雑誌の購読料に充当するという了解の下に、毎年 2 回 7 月 1 日および 1 月 1 日に各 14 万円を納入すべきものとする。
- (2) 年度の上半期の期限内に満 80 歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認をした会員の会費は年額 18 万円とし、納入方法その他は同様とする。年度の下半期の期限内に満 80 歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認した会員の下半期の会費は 9 万円とし、納入方法その他は同様とする。
- (3) 年度の上半期の期限内に満 90 歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認をした会員の会費は年額 9 万円とし、納入方法その他は同様とする。年度の下半期の期限内に満 90 歳を超え、本人の申出がありかつ理事会で承認した会員の下半期の会費は 4 万 5000 円とし、納入方法その他は同様とする。
- (4) (2) (3) の会費減額の効果は、理事会の承認以前には遡及しない。

第 7 条 採決の方法

本クラブの議事は、次年度役員および同理事を選出する場合を除き、口頭による採決をもって処

理されるものとする。理事会は、特定の決議案を、口頭ではなく投票により処理することを決定することができる。

(注：口頭による採決とは、クラブの投票が発声方式での同意によって行われた場合と定義する)

第8条 五大奉仕部門

五大奉仕部門は、本クラブの活動のための理念と実践の枠組みである。それは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、および青少年奉仕である。本クラブは、五大奉仕部門の各部門に積極的に取り組むこととする。

第9条 委員会

第1節 基本理念

クラブ委員会は、五大奉仕部門の理念に基づいた年次および長期的な目標を、推進する責任を持つ。

会長、会長エレクトおよび直前会長は、五大奉仕部門の理念に基づき、指導の継続と計画の引き継ぎを確保するために、協力すべきである。年次および長期的な目標の一貫性を保持するため、実行可能であれば、委員会の委員は、同じ委員会に3年間留任されるべきである。

会長エレクトは、任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員会委員長を任命し、企画会議を設ける責務がある。会長エレクトは、委員長を任命するに当たり、当該委員会委員としての経験を有する者のなかから任命することが推奨される。

第2節 常設委員会

会長は、理事会の承認の下に、次の常設委員会を設置しなければならない。

- ・クラブ管理運営委員会

この委員会は、本クラブの効果的な運営に関連する活動を実施する。

- ・公共イメージ委員会

この委員会は、一般の人々に対してロータリーについての情報を提供するほか、本クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を推進する計画を立て、実施する。

- ・会員増強維持委員会

この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施する。

- ・奉仕プロジェクト委員会

この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会における積極的平和を目指し、これらのニーズに応える目的の、教育的、人道的および職業的奉仕プロジェクトを企画し、実施する。

- ・米山記念奨学委員会

この委員会は、資金的寄付と奉仕プログラムへの参加を通じて、米山奨学金財団を支援する計画を立て、実施する。

- ・ロータリー財団委員会

この委員会は、資金的寄付と奉仕プログラムへの参加を通じて、ロータリー財団を支援する計画を立て、実施する。

第3節 各種委員会

会長は、前節に記載する常設委員会のほか、必要に応じて特定の分野を担当する次の委員会を設けることができる。

- ・親睦活動委員会

この委員会は、会員間の好意と友情の交流を増進し、企画されたレクリエーションあるい

は社交的諸活動への参加を会員に奨励し、並びに本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課する任務を、果たすものとする。

・プログラム委員会

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。

・ロータリー情報委員会

この委員会は、新入会員にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報および資料を提供し、入会してから最初の1年間、オリエンテーリングを監督するものとする。また、会員に対し、あらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供しなければならない。

・出席委員会

この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること(これには、地区大会、都市連合会(IM)、地域大会および国際大会への出席も含まれる)を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は、特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブの例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席をよくするためのより良き奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めなければならない。

・会場運営委員会

この委員会は、例会場の設営並びに例会の司会進行を担当し、例会場に掲示する国旗・ロータリー旗・RI スローガン・月間プログラム掲示板・ロータリーソング掲示板および点鐘セット並びに電子ピアノを保管し、移動例会においてこれらの搬送を管理し、例会が円滑に進行するよう努めなければならない。

・スマイル委員会

この委員会は、例会における会員からのスマイルを受理し、入金を管理し、必要に応じて例会場でスマイルメッセージおよび金額を発表し、年度内のスマイル金額を掌理する。

・長期計画委員会(クラブ活性化・戦略計画推進含む)

この委員会は、ロータリークラブの崇高な理念を地域社会に広め、奉仕の機会を広く推進するとともに、クラブの活性化および組織の強化を図り、魅力あるクラブとするための、長期的な計画を提言することに努めなければならない。

・クラブ会報委員会

この委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員および世界各地のロータリープログラムに関するニュースを伝えることに努めなければならない。

・雑誌広報委員会

この委員会は、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し、雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し、新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し、ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し、図書館、病院、学校その他の図書閲覧室のために国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らい、ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り、その他あらゆる方法によって、雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。

さらに、広く一般世間に、ロータリーの歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。

・会員構成委員会

この委員会は、毎年できるだけ早く、少なくとも 8 月 31 日以前にその他の地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類の原則を適用し、充填未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は、本クラブの現会員の持っている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議しなければならない。

・会員選考委員会

この委員会は、会員に推薦されたすべての者を、個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性を徹底的に調査しなければならない。そしてすべての入会申込に対する委員会の決定を理事会に報告しなければならない。

・職業奉仕委員会（健康増進含む）

この委員会は、本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げる上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの職業奉仕活動に責任をもち、職業奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。

・社会奉仕委員会（ブライダル含む）

この委員会は、本クラブの会員がその地域社会における積極的平和を目指し、これに対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。

・国際奉仕委員会（姉妹クラブ・友好クラブ含む）

この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。また、本クラブの国際奉仕活動に責任をもち、国際奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督し、これを調整するものとする。

・青少年奉仕委員会（青少年・ローターアクト含む）

この委員会は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識し、交換留学生・青少年育成・ローターアクトの指導・援助に資する活動を実施するものとする。

第4節

会員構成委員会およびロータリー情報委員会は、各々 3 名の委員をもって構成されるものとし、それぞれ毎年 1 名の委員を 3 年の任期をもって任命するものとする。

第5節 特別委員会

会長は、その必要ありと認めた場合、特定分野を担当する委員会を設置することができる。

第6節

各委員会の活動は、本クラブの定款および細則に定めるほか、以下の準則に従って行う。

- (1) 会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。
- (2) 委員会は、本細則によって付託された職務のほか、これに加えて会長または理事会が付託する事項を処理する。ただし、委員会は、理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、理事会に報告してその承認を得るまでは、行動してはならない。
- (3) それぞれの委員長は、その委員会の定例会合に対して責任をもち、委員会の仕事を監督、

調整する任務をもち、委員会の全活動について理事会に報告するものとする。

第10条 委員会の任務

会長は、その任期中の諸委員会の任務を確定し、評価するものとする。会長は、各委員会の任務を発表するにあたり、既存の適切なR I文書を参照するものとする。奉仕プロジェクト委員会は、その年度計画を考案する際、職業奉仕、社会奉仕および国際奉仕の各部門の活動を考慮することとする。

それぞれの委員会は、具体的な権限、明確な目標、および各年度の初めにその年度内に実施する行動計画を設定するものとする。

上述の通り、ロータリー年度の開始に先立ち、クラブ委員会のための推奨事項、委託任務、目標、計画に関し理事会に対し説明発表するための準備を整えるにあたり、必要な指導を施すのは会長エレクトの主要責務である。

第11条 出席義務規定の免除

会員は、越谷ロータリー・クラブ定款第10条第2節および同条第3節並びに同条第4節と同条第5節および第6節に該当する場合を除くほか、理事会に対して、書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第12条 財務

第1節

理事会は、各会計年度の開始に先立ち、その年度の収支の予算を作成しなければならない。その予算は、これらの費目に対する支出の限度となるものとする。ただし、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。予算は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。

第2節

会計は、本クラブの資金を、すべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。クラブ資金は、2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営と奉仕プロジェクトに関する資金である。

第3節

すべての勘定書は、役員理事2名の署名する伝票に基づき、適切な方法で支払われるものとする。

第4節

すべての資金業務処理は、毎年1回有資格者によって、全面的な監査が行われるものとする。

第5節

資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管のために理事会が要求する場合に限り、保証を提供しなければならない。保証の費用は本クラブが負担するものとする。

第6節

本クラブの会計年度は、7月1日より翌年6月30日に至る1年間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の、二半期に分けるものとする。人頭分担金とR I公式雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第13条 入会の方法

第1節

本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面（推薦状）をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。尚、本クラブ以外の正会員（他クラブ）からの推薦がある場合、本クラブの正会員の書面（推薦状）をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出することができる。

第2節

理事会は、その被推薦者が本クラブの職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを、確認しなければならない。

第3節

理事会は、推薦状の提出後 30 日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。

第4節

会長は、理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。

第5節

会長は、前節の説明の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて、理事会の承諾を求めなければならない。

第6節

被推薦者についての発表後 7 日以内に、会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てがなかった場合は、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会において、この件について票決を行うものとする。この理事会で入会が承認された場合は、被推薦者は、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第7節

この入会手続後に、会長は、当該会員の入会式を行い、幹事は、当該会員に対して会員証を発行し、新会員に関する情報を RI に報告する。ロータリー情報委員会は、入会式で新会員に贈呈する適切な資料を提供し、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を 1 名指名するものとする。

第8節 名誉会員

本クラブは、越谷ロータリー・クラブ定款第 8 条第 5 節に従い、理事会により、推薦された名誉会員を選ぶことができる。

第14条 決議

本クラブは、理事会によって審議される前に、本クラブを拘束するいかなる決議または提案も審議してはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第15条 議事の順序

開会宣言

来訪者の紹介

来信、告示事項およびロータリー情報
委員会報告（もしあれば）
審議未終了議事
新規議事
スピーチその他のプログラム
閉会

第16条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。ただし、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送されていなければならない。定款およびR Iの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

附 則

第17条

1. 2014 年（平成 26 年）7 月 1 日 改定
2. 2018 年（平成 30 年）7 月 1 日 一部改定 第6条第2節
3. 2020 年（令和 2 年）7 月 1 日 改定
4. 2023 年（令和 5 年）7 月 1 日 改定
5. 2025 年（令和 7 年）7 月 1 日 一部改定 第 6 条第 2 節

指名委員会設置準則

新会員カウンセラー制度運用準則

越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則

越谷ロータリークラブ友の会運用準則

慶弔規定

クラブ資料

指名委員会設置準則

越谷ロータリークラブ細則第3条第1節にしたがって、
指名委員会を設置する場合は、下記のとおりにする。

記

第1条(構成)

指名委員会の委員(以下「委員」という)は、越谷ロータリークラブの過去会長をもって構成する。

第2条(委員長)

指名委員会委員長(以下「委員長」という)は、委員の互選とする。

第3条(委員会の開催)

委員会は、年次総会までに委員会を開催し、会長(次次年度)・副会長・幹事・会計および10名の理事を指名しなければならない。

第4条(委員長)

委員長は、指名委員会の会合において議長を務める。委員長は、委員会が指名した候補者を、年次総会においてこれを報告し、議案として提出しなければならない。

第5条(オブザーバー)

会長・幹事および会長エレクト・副幹事は、委員会にオブザーバーとして出席することができる。ただし、議決権を有しない。

付 則 本準則は、2012年7月1日から施行する。

新会員カウンセラー制度運用準則

1. 本運用準則は、越谷ロータリークラブ細則第13条第7節に基づいて指名される「援助する会員」に適用される。
2. 前項の「援助する会員」を、「新会員カウンセラー」と称する。
3. 新会員カウンセラーは、ロータリー情報委員会が会員の中から1名指名する。
4. 前項により指名された新会員カウンセラーは、次の活動を担当する。
 - (1) 任 期 新入会員の入会式当日から6ヶ月間
 - (2) 活動内容
 - ① 担当する新会員を例会その他の行事・委員会に誘う。
 - ② できるだけ例会日には一緒に行動する。
 - ③ 例会場では隣の席に座る。
 - ④ 新会員の質問に答える。
 - ⑤ 新会員をできるだけ多くの会員に紹介し知己を得る。
5. 会長は、例会場における新会員の入会式において、第3項で指名された新会員カウンセラーに対し委嘱状を授与する。

付 則 本準則は、2011年10月11日から施行する。

越谷ロータリークラブ名誉会員選出運用準則

第1条

本運用準則は、越谷ロータリークラブ（以下「本会」という。）に在籍された会員から、本会細則第13条第8節により名誉会員を選出する場合の目安を定める。

第2条

本会会長は、以下の条件を満たす会員から退会の申し出があった場合、当該本人の希望により、理事会に当該会員を名誉会員に選任する旨の議案を提出することができる。

(1) 在籍40年

(2) 会長、幹事、委員長、地区役員その他本会の活動に著しい功績のあったこと

第3条

理事会は、前項の議案が提出された場合、当該会員の実績を考慮して、速やかに退会を承認するとともに名誉会員に選出するものとする。

第4条

本運用準則は、本会に功績があった会員が退会を希望する場合に、当該会員との交流を継続するために定められたものであり、本会定款第8条第5節により名誉会員が選出される場合を妨げるものではない。

第5条

選出された名誉会員は、本会定款第8条第5節の権利及び特典を行使することができる。

付 則 1. 本運用準則は、2019（令和元）年6月1日から施行する。

2. 本運用準則は、2020（令和2）年7月1日から施行する。

越谷ロータリークラブ友の会運用準則

第1条（目的）

本会は、越谷ロータリークラブに在籍中に逝去された会員の配偶者との交流を継続することにより、相互間の親睦と信頼関係の維持発展を目的とする。

第2条（構成）

本会は、越谷ロータリークラブに在籍中に逝去された会員の配偶者で構成される。ただし、本人あるいは子息子女が越谷ロータリークラブの会員の場合もしくは配偶者本人から辞退の申出があったときは、この限りではない。

第3条（活動内容）

越谷ロータリークラブは、本会会員に対して、次のサービスを提供するとともに、必要に応じて情報提供をするものとする。

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 週報の配布 | 原則として毎月1回郵送する |
| ② 訃報の連絡 | 越谷ロータリークラブ会員に流す訃報を同時に連絡する |
| ③ 行事案内 | 参加可能な越谷ロータリークラブ主催行事を案内する |
| ④ 会員拡大の依頼 | 知人・関係者の紹介を依頼する |
| ⑤ その他 | 会長・幹事が必要と認める事項 |

第4条（管理）

幹事は、本会会員の名簿を作成し、常に最新の名簿を調整することに務め、運用の用に供する。

第5条（会費）

本会の会費は無料とする。

付 則 本準則は、2012 年 4 月 1 日から施行する。

慶 弔 規 定

第 1 条 (総則)

この規定は会員の慶弔に関する事項について定めるものである。

第 2 条 (結婚)

会員本人又は子女が結婚したときは、下記の祝金を贈る。

ただし、会員本人が辞退したときはこの限りではない。

- | | |
|-----------|----------|
| (1) 本人のとき | 20,000 円 |
| (2) 子女のとき | 10,000 円 |

(出産)

会員本人と配偶者との間に子ども（双子以上の場合も含む）が生まれたときは、下記の祝金を贈る。

ただし、会員本人が辞退したときはこの限りではない。

10,000 円

第 3 条 (見舞金)

会員本人が傷病、火災、盗難等の災害を受けたとき、下記の見舞金を贈る。

- | | |
|---|----------|
| (1) 本人が 10 日以上入院もしくは 1 ヶ月以上の療養を要する負傷、
又は病気になったとき | 20,000 円 |
| (2) 火災、盗難などにより被害を受けたときは、その都度、理事会に於いて決定する。 | |

第 4 条 (香 典)

会員本人、又はその親族が死亡したとき、下記の香典を贈る。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| (1) 本人、又は配偶者のとき | 20,000 円と、生花 1 基 |
| (2) 父母、又は子供のとき | 10,000 円と、生花 1 基 |
| (3) 同居している 3 親等以内の親族のとき | 10,000 円 |

第 5 条 (会員相互の慶弔金)

会員又は、その親族の慶弔に関する会員相互間の慶弔金の基準は、1 万円とする。

第 6 条 (訃報の扱い)

訃報を会員に連絡する基準は次のとおりとする。

- (1) 第 4 条 (香典) に該当する場合
- (2) 越谷ロータリークラブと関係が深い他クラブ会員本人もしくは、その親族で第 4 条 (香典) に該当する事由が発生した場合で、会長が訃報を流すべきと判断した場合。
- (3) 前項以外の場合でも、会長において、訃報を会員に連絡したほうが会員の便に利すると判断した場合、訃報を会員連絡できるものとする。

付 則 会員の卒寿の祝金として金 5 万円を贈る。(2003-04 年度 理事会)

この規定は、2015-16 年度理事会で定め、2016 年 6 月 1 日より施行する。

クラブ概要

創 立	1961 年 5 月 9 日 (昭和 36 年)
R . I . 承 認	1961 年 6 月 19 日 (昭和 36 年) (全国 450 番目 / 埼玉県 7 番目 / 2770 地区 4 番目)
創立当時ガバナー	田 誠 (東京・故人)
スポンサークラブ	浦和ロータリークラブ
特 別 代 表	中村弥太郎 (浦和・故人)
創 立 時 区 域	越谷市全域
認 証 状 伝 達 式	1962 年 3 月 27 日 (昭和 37 年)
創 立 時 会 員 数	21 名
伝 達 式 時 会 員 数	25 名
事 務 所	〒 343-0818 越谷市越ヶ谷本町 8-7 TEL 048 (965) 0550・FAX 048 (965) 6000
例 会 日	毎週火曜日 (12:30 ~ 13:30)
例 会 場	越谷産業会館内 1 階
会 員 数	102 名 (2026 年 7 月 1 日現在)

拡大クラブ

1. 越谷南ロータリークラブ

創 立	1974 年 6 月 28 日 (昭和 49 年)
R . I . 承 認	1974 年 7 月 26 日 (昭和 49 年)
特 別 代 表	畔 上 計 治 (故人)
認 証 伝 達 式	1975 年 4 月 27 日 (昭和 50 年)

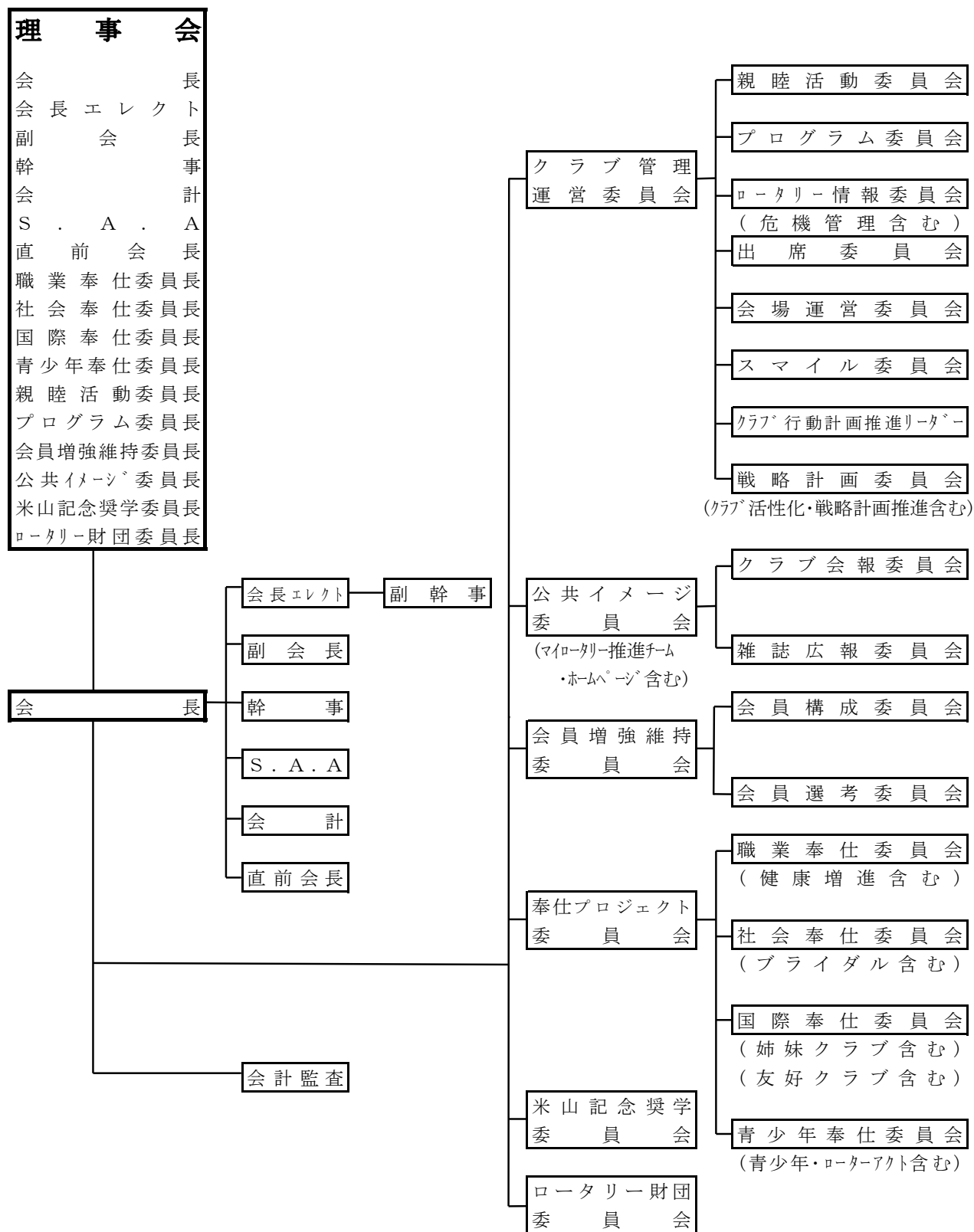
2. 越谷北ロータリークラブ

創 立	1976 年 5 月 11 日 (昭和 51 年)
R . I . 承 認	1976 年 5 月 26 日 (昭和 51 年)
特 別 代 表	桃 木 俊 平 (故人)
認 証 伝 達 式	1977 年 4 月 17 日 (昭和 52 年)

3. 越谷東ロータリークラブ

創 立	1987 年 5 月 18 日 (昭和 62 年)
R . I . 承 認	1987 年 6 月 2 日 (昭和 62 年)
特 別 代 表	坂 巻 幸 次
認 証 伝 達 式	1987 年 6 月 26 日 (昭和 62 年)

組 織 図



理事会名簿

(敬称略)

役 職	役 員 ・ 理 事		氏 名
会 長	役 員		松田 繁三
会長エレクト	役 員		中川 訓
副 会 長	役 員		江原 武男
幹 事	役 員		濱野 世嗣
会 計	役 員		加藤 俊輔
S. A. A	役 員		豊田 高行
直前会長	役 員		瀧田 貴夫
職業奉仕委員長		理 事	木村 淳一
社会奉仕委員長		理 事	小森 秀彦
国際奉仕委員長		理 事	平野 慎也
青少年奉仕委員長		理 事	鈴木 隆広
親睦活動委員長		理 事	米山 剛
プログラム委員長		理 事	小暮 直正
会員増強維持委員長		理 事	奥田 邦彦
公共イメージ委員長		理 事	中島 雅樹
米山記念奨学委員長		理 事	高橋 和彦
ロータリー財団委員長		理 事	吉野 寛治
※ 副幹事	出席要請		近藤 正成
※ 戦略計画委員長	出席要請		安濃 和正
※ クラブ行動計画推進リーダー	出席要請		石河 秀夫

地区役員名簿

(敬称略)

委 員 会	氏 名
諮問委員	坂巻 幸次
諮問委員	井橋 吉一
会員増強維持委員	瀧田 貴夫
青少年交換委員	山田 託也
職業奉仕委員	大澤 弘一
補助金委員	大塚 洋幸
国際奉仕委員	宮部 政夫
国際交流委員	長澤 告幸

委員会等構成表

部門	委員会名	数	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
	会長	1	松田 繁三					
	副会長	1	江原 武男					
	会長エレクト	1	中川 訓					
	幹事	1	濱野 世嗣					
	副幹事	1	近藤 正成					
	直前会長	1	瀧田 貴夫					
	会計監査	1	加藤 俊輔					
	S . A . A	6	豊田 高行	新井 進	山田二三夫	神戸 廣通	鮫島 弘武	若海 宗承
クラブ管理運営	クラブ管理運営	9	江原 武男	安濃 和正	米山 剛	小暮 直正	若海 宗承	石垣 李枝子
	親睦活動	19	米山 剛	石河 秀夫	吉井 一裕	島津 貴恵		
				澤幡 智史	豊田 高行	木村 淳一	小室 伸和	大塚 洋幸
				青野 智行	牛久 祐一	加藤 俊輔	城岡 太史郎	生井 正夫
				島津 貴恵	青木 美樹	新戸 薫	岡安 直澄	河上 祐之
					大場 貴文	井田 貴	酒 匂 良平	
	プログラム	6	小暮 直正	永島 信之	岡田 直己	横家 豪	近藤 正成	大澤 弘一
	ロータリー情報 (危機管理含)	3	若海 宗承	森田 隆	瀧田 貴夫			
	出席	6	石垣 李枝子	清水 勝吉	大野 保司	秋葉 純人	青木 美樹	田村 勝
	会場運営	23	吉井 一裕	中村 守	澤石 順一	大野 保司	澤幡 智史	松永 賢一
				吉澤 紀親	中里 智博	宮部 政夫	秋葉 純人	江里口 謙吾
					國府 田誠	青木 義枝	井場 さおり	石井 順一
					中村 朝啓	渡辺 秀雄	波多 貢輔	大場 貴文
					井田 貴	秋山 眞樹	酒 匂 良平	小堤 洋太郎
公共イメージ	スマイル	6	島津 貴恵	佐々木 一真	大沢 日出夫	高橋 和彦	石井 順一	田村 勝
	戦略計画(クラブ活性化・戦略計画推進含)	6	安濃 和正	澤田 裕二	石河 秀夫	森田 隆	瀧田 貴夫	中川 訓
	クラブ行動計画 推進リーダー	1	石河 秀夫					
公共イメージ	公共イメージ(マイロータリー 推進チーム・ホームページ含)	2	中島 雅樹	小林 威朗				
	クラブ会報	10	中島 雅樹	吉井 一裕	中里 智博	鈴木 義隆	神代 太一	渡辺 秀雄
	雑誌広報	6	小林 威朗	秋葉 純人	波多 貢輔	河上 祐之	秋山 眞樹	小堤 洋太郎
会員増強	会員増強維持	10	奥田 邦彦	神代 太一	中島 美三郎	神戸 廣通	野見山 哲二	蓮見 典史
	会員構成	3	中村 聡久	横家 豪	若海 宗承	中村 守	江藤 真吾	宮部 政夫
	会員選考	5	平田 徳久	浅見 富司雄	坂巻 幸次	井橋 吉一	森田 隆	
奉仕プロジェクト	奉仕プロジェクト	5	中川 訓	木村 淳一	小森 秀彦	平野 慎也	鈴木 隆広	
	職業奉仕 (健康増進含)	15	木村 淳一	宮部 政夫	山田 二三夫	木内 英二	下川 雅丈	深野 洋二
				城岡 太史郎	鈴木 功	山本 完治	清松 瑤一郎	天草 大輔
					中川 美紀	青木 勲	生井 正夫	佐々木 一真
	社会奉仕 (プライダル含)	15	小森 秀彦	加藤 俊輔	川口 一海	井橋 英蔵	大塚 洋幸	大野 凜子
				青野 智行	江里口 謙吾	國府 田誠	大野 泰嗣	神代 太一
					井場 さおり	中村 朝啓	新戸 薫	河上 祐之
	国際奉仕 (姉妹クラブ・ 友好クラブ含)	16	平野 慎也	吉野 寛治	中島 美三郎	澤石 順一	丹 田 益 生	野見山 哲二
				江藤 真吾	蓮見 典史	増元 晃	飯塚 忠幸	永島 信之
				鈴木 義隆	中村 聡久	小室 伸和	牛久 祐一	長澤 告幸
	青少年奉仕 (青少年・ローターアクト含)	11	鈴木 隆広	吉澤 紀親	安濃 和正	鮫島 弘武	深野 洋二	吉村 総一
				青木 美樹	山田 託也	大野 凜子	青木 義枝	岡安 直澄
	米山記念奨学	6	高橋 和彦	横家 豪	桃木 俊郎	浅見 富司雄	増元 晃	天草 大輔
	ロータリー財団	6	吉野 寛治	中島 美三郎	山田 二三夫	若海 宗承	中村 聡久	長澤 告幸

会員構成表

(2026 年 7 月 1 日現在)

職業分類開放数	62分類
会 員 数	102名

(敬称略)

大分類	中分類	小分類	会員名	事業所
建 設 業	総合工事業	総合建設業	中島美三郎	池中建設 (株)
			高橋 和彦	高元建設 (株)
			石井 順一	大和ハウス工業(株)埼玉東支店
		建築工事業	豊田 高行	(株) 豊田工務店
			城岡太史郎	城岡建設 (株)
			青木 美樹	(株) 山下工務店
		住宅建設	若海 宗承	(株) 若海建設
			神代 太一	(株) 神代工務店
			河上 祐之	(有) 河上工務店
		道路舗装工事	岡田 直己	(有) 恵 建 設
	職別工事業	造 園 業	宮部 政夫	宮部造園土木 (株)
		建築塗装	安濃 和正	(株) 美装工業
			青野 智行	(株) ブルーノ
		内装工事業	酒匂 良平	(株) サ コ ウ
	設備工事業	給排水衛生工事業	江藤 真吾	大阿蘇水質管理 (株)
		空調設備工事業	野見山哲二	(株) エコトピア
		電気工事業	近藤 正成	日本ファクター (株)
製 造 業	業務用機械器具	医療機器製造	新井 進	(株) 新井製作所
	印刷・関連業	オフセット印刷	奥田 邦彦	(有) 吉川印刷
	金属製品製造業	表面処理	吉野 寛治	吉野電化工業 (株)
		板金工作	鈴木 功	(株) スズコウメタル
	電子部品製造業	電子部品製造業	平野 慎也	(株) マルニックス
	化学工業	化学薬品製造業	長澤 告幸	長沢産業 (株)
	電気機械器具製造業	電気器具製造	山田二三夫	(株) 和光製作所
情報通信業	情報サービス業	情報産業	川口 一海	(株) 大一商事
			井橋 吉一	(株) イ ハ シ
	広 告 業	総合広告業	中島 雅樹	(有) 雅 堂
			小堤洋太郎	(株) ワンダフルドア
		広告代理店業	大場 貴文	(株) アド・イーグルホールディングス
運 輸 業	道路旅客運送業	バス貸切業	生井 正夫	(株) 越谷レイクタウン観光バス
卸 売 業	建築材料卸売業	建築金物	深野 洋二	フカノ・マテリアル (株)
		建築資材卸売	青木 義枝	(株) ア オ キ
	石油製品卸売業	石油製品販売	井橋 英蔵	(株) イ ハ シ
	上記以外卸売業	墓地・墓石販売	丹田 益生	(株) やまと石材

大分類	中分類	小分類	会員名	事業所
小 売 業	乗用車両小売業	二輪自動車販売	浅見 富司雄	(有) キャビン
		自動車販売	新戸 薫	(株) クローバーランド
	上記以外小売業	洋品販売	木内 英二	(株) 平和 堂
		贈答品販売	江原 武男	(有) エコーエンタープライズ
		通信販売	秋山 眞樹	(株) おまなえ王国
		貿 易 業	中川 訓	(株) 中川商店
		宗教用具小売業	鈴木 隆広	(有) 日 真 堂
不動産業・物 品賃貸業	不動産管理業	不動産管理	神戸 廣通	(株) 大 神 戸
			小暮 直正	越谷ゴム工業 (株)
			石垣李枝子	(有) 丸清興産
			吉澤 紀親	(株) ナカミチ
		倉庫賃貸管理業	瀧田 貴夫	瀧田倉庫産業 (株)
	不動産取引業	不動産業	飯塚 忠幸	大幸建設 (株)
			木村 淳一	アーバンハウス (有)
			中村 守	(株) ナカミツ
			吉井 一裕	(株) 吉井ビル
			鈴木 義隆	(株) ライブリック不動産
			秋葉 純人	(株) アソシエ
			井田 貴	(株) 丸福建設越谷支店
専門・技術 サービス業	技術サービス業	建築設計	澤石 順一	(株) ジェイ・プラン
			森田 隆	アルカディア設計 (有)
			増元 晃	増元建築設計事務所
			山田 託也	(株) 慎建築設計事務所
			中村 聡久	(株) 大都設計
		土地家屋調査士	蓮見 典史	(株) 蓮見設計
			澤幡 智史	澤幡智史事務所
			米山 剛	(株) 米山メジャメント
	専門サービス業	専門コンサルタント業	大野 保司	大野やすし事務所
			濱野 世嗣	(株) 浜野保険事務所
			岡安 直澄	CHIARO
			田村 勝	(合) エントラスト
		弁 護 士	坂巻 幸次	埼葛法律事務所
			石河 秀夫	石河綜合法律事務所
			吉村 総一	埼葛法律事務所
			横家 豪	横家豪法律事務所
		税 理 士	山本 完治	山本完治税理士事務所
			大沢 日出夫	(税) 大沢会計事務所
			加藤 俊輔	加藤俊輔税理士事務所
		司法書士	松永 賢一	松永司法書士事務所
		社会保険労務士	澤田 裕二	澤田労務管理事務所

大分類	中分類	小分類	会員名	事業所
専門・技術サービス業	専門サービス業	レンタル業	大野 泰嗣	(株) 大野楽器
	法人・団体	商工会議所	平田 徳久	越谷商工会議所
飲食サービス業	飲食店	日本料理	清水 勝吉	(有) 若 松
生活関連サービス業	教育・学習支援業	保育園	小森 秀彦	(有) 三 鈴
			大野 凜子	(株) すてっぷ・ばい・すてっぷ
	生活関連業	ビルメンテナンス	永島 信之	(株) アドバンスサービス
		旅行業	牛久 祐一	ティシアイジャパン (株)
		冠婚葬祭業	渡辺 秀雄	(株) アートエンディング
			波多 貢輔	サイカンシステム (株)
金融・保険業	銀行業	都市銀行	江里口謙吾	(株) 埼玉りそな銀行越谷支店
		地方銀行	国府田 誠	(株) 栃木銀行越谷支店
		信託銀行	井場さおり	三井住友信託銀行(株)越谷支店
	貸金業	証券業	佐々木一真	野村證券(株)越谷支店
	保険業	生命保険業	中村 朝啓	明治安田生命保険(相)埼玉東支社
医療・福祉	内科	内科医	下川 雅丈	しもかわクリニック
			清松瑤一郎	(医) 社団清松クリニック
			青木 勲	(医) 青 アオキクリニック
		小児科医	桃木 俊郎	(医) 社団愛育会桃木診療所
	外科	整形外科医	鮫島 弘武	さめしま整形外科
			松田 繁三	(医) 研整会 松田整形外科
	歯科	歯科医	天草 大輔	(医)敬愛会 リハビリテーション 天草病院
			大澤 弘一	大沢歯科医院
			小室 伸和	(医)衆知会 こむろ歯科クリニック
	眼科・耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科医	中川 美紀	中川耳鼻咽喉科医院
	社会保険・福祉・介護	福祉・介護業	大塚 洋幸	(株) 礎
			島津 貴恵	(株) クローバーコミュニケーションズ
宗 教	宗 教	神 道	小林 威朗	久伊豆神社
		仏 教	中里 智博	(宗) 淨 音 寺

委員会等活動方針

会 計

担当：加藤俊輔		
---------	--	--

【活動方針】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 適正な予算執行を行い、収支及び財政の状況を3ヶ月毎に報告する。2. 会長及び幹事との連絡を密にして、会員に分かりやすく適正な会計処理を行う。3. 会費の自動振替制度の促進をはかる。 |
|---|

会計監査

担当：大沢日出夫		
----------	--	--

【活動方針】

クラブ細則第12条第4節の規定に従い、全ての資金について下記に基づき年1回監査を実施する。
--

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 当クラブの資金は、細則第12条第1節の規定により、その予算を限度として執行されているか。2. 当クラブの資金は、細則第12条第2節の規定により管理されているか。3. 当クラブの資金は、細則第12条第3節の規定により適切な方法で支払いが行われているか。 |
|--|

S . A . A

S.A.A：豊田高行	副 S.A.A：新井 進	委員：山田二三夫、神戸廣通、鯨島弘武 若海宗承
------------	--------------	----------------------------

【活動方針】

S.A.A(Sergeant at Arms)は例会場の秩序を保つためのあらゆる権限を持つ管理権者(会場監督)です。会長方針並びに理事会の決定事項に従い、例会や各種会合の円滑な運営と会員の質を高めるため、プログラム・出席・会場運営・スマイル委員会等と連携を図り、単なる事務的な監督にとどまらず、例会を楽しく、品位を守り、秩序ある学びの場にするための責任を担っていきます。会員各位のご協力をお願いいたします。
--

クラブ管理運営委員会

委員長：江原武男	副委員長：安濃和正 石河秀夫	委員：米山 剛、小暮直正、若海宗承 石垣李枝子、吉井一裕、島津貴恵
----------	-------------------	--------------------------------------

【活動方針】

クラブ管理運営部門は、会員一人一人が自己を高め、親睦を通じて奉仕の理想を实践できる環境を整えることが最優先事項です。RI 会長方針である「CREATE LASTING IMPACT」「持続可能なインパクトを生み出そう」を松田会長も活動方針としております。会長方針に則り、クラブ管理運営部門の各委員長の活動方針をよく理解し、連携を取りながらより良い活動ができるよう支援して参ります。

親睦活動委員会

委員長：米山 剛	副委員長：澤幡智史 青野智行 島津貴恵	委員：豊田高行、木村淳一、小室伸和、大塚洋幸 牛久祐一、加藤俊輔、城岡太史郎 生井正夫、青木美樹、新戸 薫、岡安直澄 河上祐之、大場貴文、井田 貴、酒匂良平
----------	---------------------------	---

【活動方針】

奉仕活動を実りあるものとするためには、まずクラブ内における会員同士の親睦を深め、信頼できる仲間づくりが重要であると考えております。本年度のクラブビジョンを念頭に、情熱（Passion）を持ち続けながら、誰もが参加したくなるような魅力ある活動に取り組んで参ります。

1. 結婚祝・誕生祝の記念品の贈呈。
2. クリスマス例会等の会員家族の親睦会の開催。
3. 親睦ゴルフコンペの開催。
4. 親睦旅行の開催。
5. 夜間例会・新会員歓迎会の開催。

プログラム委員会

委員長：小暮直正	副委員長：永島信之	委員：岡田直己、横家 豪、近藤正成、大澤弘一
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

例会はロータリー活動における根幹であり、親睦を深めながら自己研鑽をし、ロータリーの理念を学ぶ場です。

その例会が楽しく有意義なものになるよう、今年度のクラブ活動方針にある「クラブ体験の向上」を念頭に、学びある充実したプログラム編成に努めます。

1. 新会員によるイニシエーションスピーチや、中堅・ベテラン会員による卓話を通じて、会員同士の親睦と相互理解を図ります。
2. 月間に因んだ卓話を企画することで、ロータリーへの理解を深める機会を作ります。
3. 委員会メンバーをはじめとする、会員各位の豊富な人脈とアイディアを活かし、「クラブ体験の向上」に資する、面白味のあるプログラム編成を目指します。
4. 例会スケジュールについて、会長・幹事・S.A.A・会場運営委員会と連絡調整を取りながら、スムーズな例会運営を心掛けます。

ロータリー情報委員会

委員長：若海宗承	副委員長：森田 隆	委員：瀧田貴夫
----------	-----------	---------

【活動方針】

1. 地区運営方針・会長方針、並びにビジョン声明の正しい理解と実現に向け、タイムリーに情報を発信します。
2. 会員の皆様が楽しいロータリーライフを過ごせるように、前期と後期にオリエンテーションと家族集会を企画し開催します。
3. 入会候補者に対し、ロータリーの目的等の情報を提供し、ロータリーの理解を深めるようサポートします。

出席委員会

委員長：石垣李枝子	副委員長：清水勝吉	委員：大野保司、秋葉純人、青木美樹、田村 勝
-----------	-----------	------------------------

【活動方針】

1. 例会への出席の重要性をお伝えすると共に、メーキャップの活用・クラブや地区の活動への参加を呼びかけ致します。
2. 例会を欠席なさる際の、事務局への連絡を周知致します。
3. 例会の受付は、笑顔で明るく・挨拶・対応させていただきます。

会場運営委員会

委員長：吉井一裕	副委員長：中村 守 吉澤紀親	委員：澤石順一、大野保司、澤幡智史、松永賢一 中里智博、宮部政夫、秋葉純人 江里口謙吾、國府田誠、青木義枝 井場さおり、石井順一、中村朝啓 渡辺秀雄、波多貢輔、大場貴文、井田 貴 秋山眞樹、酒匂良平、小堤洋太郎
----------	-------------------	--

【活動方針】

1. 会長・幹事・S.A.A、プログラム委員会・親睦活動委員会と綿密な打ち合わせをし、例会の円滑な運営ができるよう努めます。
2. ビジター・ゲストの方がまた来たいと思って頂けるよう、自然な進行に努めます。
3. 委員会を通して例会出席率の向上と全員で設営をして連帯感とロータリー活動を楽しみます。

スマイル委員会

委員長：島津貴恵	副委員長：佐々木一真	委員：大沢日出夫、高橋和彦、石井順一 田村 勝
----------	------------	----------------------------

【活動方針】

1. 明るく和やかな例会の雰囲気づくりに努めます。
2. スマイルを通じて会員同士のコミュニケーションを深め、新会員も馴染みやすい温かなクラブづくりを進めます。
3. スマイルに意義を共有し、奉仕の心を育む活動の輪を広げます。

戦略計画委員会

委員長：安濃和正	副委員長：澤田裕二	委員：石河秀夫、森田 隆、瀧田貴夫、中川 訓
----------	-----------	------------------------

【活動方針】

『持続可能なインパクトを生み出そう』に基づき会員増強維持・楽しいプログラム作り、地域に変化をもたらす奉仕活動・持続可能な国際奉仕等、クラブ行動計画推進リーダーと共に各委員会にアドバイスをし戦略計画を立てていきます。

クラブ行動計画推進リーダー

リーダー：石河秀夫		
-----------	--	--

【活動方針】

クラブ行動計画推進リーダーは、2024-2025 年度に設置されたもので、3 年を目途に、アクションプラン（行動計画）を推進することを目標としています。

瀧田年度に始まり、松田年度に引き継がれるクラブの行動計画です。その計画は、概ね次のとおりだと思います。すなわち、楽しい例会活動等を通じて会員相互が理解し、社会に奉仕する機会とし、会員の維持増強を推進する、というものです。

そのためには、理事会の活性化が必要不可欠です。活性化とは、活動目標を明確にして行事を丁寧企画準備し、会員一人一人が納得して積極的に参加できるような土台をつくる議論をしていく、ということです。

理事会のみなさん、委員会の各委員の方々、一体となって知恵を絞り楽しいクラブ運営ができるよう、微力ながら活動していきます。

公共イメージ委員会

委員長：中島雅樹	副委員長：小林威朗	委員：
----------	-----------	-----

【活動方針】

ロータリークラブの活動と理念を地域社会に広く発信し、認知と理解を深め、公共イメージの向上に努めます。

1. クラブの奉仕活動や事業内容を、SNS・ホームページ・各種広報媒体を通じて積極的かつ継続的に発信し、地域に開かれたクラブ運営を推進します。
2. 「ポリオ根絶」運動の意義を広く周知するとともに、関連事業への積極的な協力と参加を行います。
3. My Rotary への登録促進を図り、ロータリーに関する情報の利活用を推進します。

クラブ会報委員会

委員長：中島雅樹	副委員長：吉井一裕	委員：中里智博、鈴木義隆、神代太一、渡辺秀雄 波多貢輔、河上祐之、秋山眞樹 小堤洋太郎
----------	-----------	---

【活動方針】

毎例会の活動を記録・編集し、クラブ会報を通じてロータリー情報及びクラブ活動の共有と理解促進を図ります。

1. 会報は原則として次回例会までに発行します。
2. 内容を適切に編集し、読みやすい誌面づくりに努めます。
3. 会報をクラブホームページに掲載し、ロータリー活動の対外的発信を推進します。

雑誌広報委員会

委員長：小林威朗	副委員長：秋葉純人	委員：大沢日出夫、大澤弘一、松永賢一 石垣李枝子
----------	-----------	-----------------------------

【活動方針】

「読む → 気づく → 行動」

雑誌広報委員会は『ロータリーの友』を通じて、会員の学びを実践へとつなげる役割を担う。単なる記事紹介にとどまらず、クラブ活動への示唆を添え「読む・気づく・行動する」流れを生み出すことを基本方針とする。特に、持続可能なインパクト創出、会員増強と満足度向上、地域及び国際奉仕の深化に資する記事を選定し、分かりやすく簡潔に発信する。これにより雑誌をクラブの成長と変革を促す実践的な情報源として活用し、例会や事業への波及を図る。

会員増強維持委員会

委員長：奥田邦彦	副委員長：神代太一	委員：中島美三郎、神戸廣通、野見山哲二 蓮見典史、若海宗承、中村 守、江藤真吾 宮部政夫
----------	-----------	--

【活動方針】

前年度は100名を達成しました。この素晴らしい規模をこれからも維持していくために、本年度は会員皆様のご紹介を軸とした、新しい仲間づくりを丁寧に進めて参ります。これまで築き上げてきたクラブの伝統と信頼を大切にしながら、一人でも多くの方に私たちの活動を知って頂き、加わって頂けるよう努めます。100名という活気ある規模を安定的にキープできるよう、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

会員構成委員会

委員長：中村聡久	副委員長：横家 豪	委員：井橋英蔵
----------	-----------	---------

【活動方針】

会員増強維持委員会及び会員選考委員会と連携し、ロータリアンとしてふさわしい人材の増強に努めて参ります。また越谷ロータリークラブとしてバランスの取れた職業人の構成を目指し、現実に即した職業分類及び会員構成表の整備を進め、会員増強に寄与して参ります。

会員選考委員会

委員長：平田徳久	副委員長：浅見富司雄	委員：坂巻幸次、井橋吉一、森田 隆
----------	------------	-------------------

【活動方針】

推薦された会員候補者のロータリアンとしての適格性を会員増強維持委員会及び会員構成委員会と連携しながら、特に下記の点に留意して選考します。

1. 人格・職業上の評判及び社会的地位はどうか。
2. 奉仕活動やボランティア活動に興味を持ち、参加できるか。
3. 例会・クラブ行事へ積極的に参加できるか。

奉仕プロジェクト委員会

委員長：中川 訓	副委員長：木村淳一	委員：小森秀彦、平野慎也、鈴木隆広
----------	-----------	-------------------

【活動方針】

今年度 RI 会長メッセージにある基本的考え方「CREATE LASTING IMPACT」に則り奉仕活動を実施する。具体的には

1. 社会的問題・課題を理解し、その解決に少しでも寄与できる活動・プロジェクトを実行する。
2. 世界平和の実現と言う理想へ向かう困難な道のりの一歩となるべく、可能な限り永続的なインパクトをもたらすプロジェクトを実行する。

職業奉仕委員会

委員長：木村淳一	副委員長：宮部政夫 城岡太史郎	委員：山田二三夫、木内英二、下川雅丈 深野洋二、鈴木 功、山本完治 清松瑤一郎、天草大輔、中川美紀 青木 勲、生井正夫、佐々木一真
----------	--------------------	--

【活動方針】

職業を通じて奉仕することを基礎とし、地元地域の個人や会社、またそれ以外の繋がりも大事にして以下の通りの活動を行っていきます。

1. 第一例会で「ロータリーの目的」「四つのテスト」の唱和を行う。
2. 職場見学会を実施する。
3. 会員の健康増進を目的とした行事を実施する。

社会奉仕委員会

委員長：小森秀彦	副委員長：加藤俊輔 青野智行	委員：川口一海、井橋英蔵、大塚洋幸、大野凜子 江里口謙吾、國府田誠、大野泰嗣 神代太一、井場さおり、中村朝啓 新戸 薫、河上祐之
----------	-------------------	---

【活動方針】

地域のニーズに則し、インパクトをもたらす社会奉仕プロジェクトを企画・運営します。

1. 第51回越谷市民まつりにおいて「三ノ宮卯之助に挑戦 越谷力持ち大会」を企画・運営します。
2. 地区補助金（通常枠）を利用し、地域の奉仕団体【神社 de ままマルシェ実行委員会】と連携し地域に持続的支援となる事業を行います。
3. 災害等発生時に、義援金を募り被災地等へ支援活動を行います。
4. 越谷市、保育事業者と連携を図り、令和8年から開始された【こども誰でも通園制度】の利用支援を行い、子育て支援、こどもの発育支援事業を行います。

国際奉仕委員会

委員長：平野慎也	副委員長：吉野寛治 江藤真吾 鈴木義隆	委員：中島美三郎、澤石順一、丹田益生 野見山哲二、蓮見典史、増元 晃 飯塚忠幸、永島信之、中村聡久、小室伸和 牛久祐一、長澤告幸
----------	---------------------------	---

【活動方針】

国際奉仕活動や他国クラブとの交流を通じて、国や文化の違いを超えた相互理解を促進させ、会員一人一人の国際感覚と奉仕意識の向上を目指します。

1. 地区補助金（大口枠）を利用し、ベトナムへの奉仕活動を行います。
2. スペイン国際大会への多数の参加を促し、他国クラブとの交流を深める機会とする。
3. 姉妹クラブであるキャンベルタウン RC との調印式に臨み、更なる友好関係を築けるよう交流を行う。

青少年奉仕委員会

委員長：鈴木隆広	副委員長：吉澤紀親 青木美樹	委員：安濃和正、鮫島弘武、深野洋二、吉村総一 山田託也、大野凜子、青木義枝、岡安直澄
----------	-------------------	---

【活動方針】

奉仕活動・イベントを通して、次世代を担う青少年の健全育成に寄与する。

1. 青少年交換
地区青少年交換委員会と連携し派遣・来日学生の生活を、委員会・カウンセラー・ホストファミリー・ROTEX との連携によりサポートする。
2. ローターアクトクラブ
活動の企画・運営を協力・支援し、地区や地域の活動に積極的に参加するよう助言をする。
3. RYLA
若者のためのリーダー養成プログラムであり、学生・クラブ会員の子弟・従業員等の参加を支援する。
4. その他
地区・クラブ等の奉仕活動やイベントの情報発信を通じ、青少年のロータリー活動への理解・関心を促す。

米山記念奨学委員会

委員長：高橋和彦	副委員長：横家 豪	委員：桃木俊郎、浅見富司雄、増元 晃 天草大輔
----------	-----------	----------------------------

【活動方針】

ロータリー米山記念奨学会の理念に基づき、奨学事業への理解促進と寄付の推進に努めるとともに、奨学生との交流を通じて国際理解と人材育成に貢献して参ります。

1. 会員と奨学生の交流を通じ相互の国際理解を促進して参ります。
2. 会員一人 25,000 円（普通寄付 5,000 円・特別寄付 20,000 円）を目標に掲げ、米山記念奨学事業に大きく貢献できるよう努めます。

ロータリー財団委員会

委員長：吉野寛治	副委員長：中島美三郎	委員：山田二三夫、若海宗承、中村聡久 長澤告幸
----------	------------	----------------------------

【活動方針】

国際ロータリーの活動を支えるロータリー財団の意義と仕組みについて、会員の理解を一層深めるとともに、財団への寄付の推進及び各種プログラムへの積極的な参加を促進する。

1. 例会（特に月初）において、ロータリー財団への寄付の意義を周知し、寄付の奨励を行う。
2. 会員一人当たり、年次基金 200 ドル＋ポリオプラス基金 50 ドルを目標として寄付の推進を行う。
3. 恒久基金への寄付を推進し、新たなベネファクター 1,000 ドル×2 名の目標達成に努める。
4. ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）×2 名、ポリオ・プラス・ソサエティ（PPS）×2 名の目標達成に努める。
5. 会員への情報提供及び理解促進を通じて、財団活動への参加意識の向上を図る。

[illegible]

姉妹クラブ・友好クラブ

★姉妹クラブ

「第 9675 地区 キャンベルタウンロータリークラブ」(オーストラリア)

創立日：1958 年 7 月 24 日

例会日：月曜日

例会場：P.O.BOX.116 Campbell town N.S.W 2560

	調印日	会長名	提携期間
第 1 回	1992 年 3 月 14 日 (オーストラリア)	瀧田 大樹郎	1992. 3 / 14 ~ 1994. 6 / 30
第 2 回	1994 年 4 月 12 日 (日本)	永 石 数 幸	1994. 7 / 01 ~ 1997. 6 / 30
第 3 回	1997 年 5 月 26 日 (オーストラリア)	小 林 悦 也	1997. 7 / 01 ~ 2002. 6 / 30
第 4 回	2002 年 5 月 18 日 (オーストラリア)	荒井 吉一郎	2002. 7 / 01 ~ 2007. 6 / 30
第 5 回	2007 年 3 月 13 日 (オーストラリア)	新 井 進	2007. 7 / 01 ~ 2012. 6 / 30
第 6 回	2012 年 3 月 19 日 (日本)	石 河 秀 夫	2012. 7 / 01 ~ 2017. 6 / 30
第 7 回	2017 年 3 月 17 日 (オーストラリア)	山田 二三夫	2017. 7 / 01 ~ 2022. 6 / 30
第 8 回	2022 年 6 月 27 日 (※書面交換)	鮫 島 弘 武	2022. 7 / 01 ~ 2027. 6 / 30
第 9 回	2027 年 月 日 ()	松 田 繁 三	2027. 7 / 01 ~ 2032. 6 / 30

※ 2020 ~ 23 年にかけて新型コロナウイルス感染症が世界的蔓延。

★友好クラブ

「第 2720 地区 熊本城東ロータリークラブ」

創立日：1988 年 4 月 11 日

例会日：月曜日 (12:30 ~ 13:30)

例会場：熊本ホテルキャッスル 電話 096 - 326 - 3311

事務所：〒 860 - 0846 熊本県熊本市中央区城東町 4 - 2 熊本ホテルキャッスル内

電 話 096 - 354 - 4521

E メール jtrc@serc2720.org

調印日：2006 年 3 月 13 日 (2005 ~ 06 年度 濱野 豊会長)

提唱クラブ

★文教大学ローターアクトクラブ

創立日 : 2011 年 3 月 8 日
R・I 承認 : 2011 年 3 月 16 日
創立当時ガバナー : 井橋 吉一 (越谷ロータリークラブ)
スポンサークラブ : 越谷ロータリークラブ
認証状伝達式 : 2011 年 5 月 8 日 (2010 ～ 11 年度 須賀定吉会長)
事務所 : 〒343-0818 越谷市越ヶ谷本町 8-7
例会日 : 第 1・第 3 月曜日 (12:00 ～ 13:00)
例会場 : 文教大学越谷校舎内
会員数 : 8 名 (2026 年 7 月 1 日現在)

【歴代会長一覧表】

代	年 数	年 度	RAC 会長	RC 会長
初代	初年度	2010 ～ '11	林 創一郎	須賀 定吉
初代	1 周年	2011 ～ '12	林 創一郎	石河 秀夫
2	2 周年	2012 ～ '13	喬 銀凱	神戸 廣通
3	3 周年	2013 ～ '14	池 玫秀	江原 武男
4	4 周年	2014 ～ '15	劉 海華	中里 静博
5	5 周年	2015 ～ '16	劉 毅	澤田 裕二
6	6 周年	2016 ～ '17	齊 興家	山田二三夫
7	7 周年	2017 ～ '18	王 晨	安濃 和正
8	8 周年	2018 ～ '19	袁 斌	平田 徳久
9	9 周年	2019 ～ '20	李 瑩	坂巻 邦夫
10	10 周年	2020 ～ '21	金 宣達	豊田 高行
11	11 周年	2021 ～ '22	章 嘉豪	鮫島 弘武
12	12 周年	2022 ～ '23	王 学朋	増元 晃
13	13 周年	2023 ～ '24	周 芷煊	若海 宗承
14	14 周年	2024 ～ '25	余 浩楠	森田 隆
15	15 周年	2025 ～ '26	呉 奕寧	瀧田 貴夫
16	16 周年	2026 ～ '27	宋 泊霖	松田 繁三

ローターアクトの歌

作詞 高野辰之
東京 RC 作曲 岡野貞一

世界は広し 我らは若し いのちの限り 誇りに生きん
熱き血潮を 誠と愛に そそぎつくして 悔いあるべきや
ロータリーアクト ローターアクト われら若人
ロータリーアクト ローターアクト 若さ燃ゆるよ

年間プログラム

7 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
7	3131	誕生祝・結婚祝 所信表明	親睦活動委員会 松田繁三会長		定例理事会
14	3132	クラブ協議会 S.A.Aから一言	松田繁三会長 S.A.A	「前半」	G補佐来訪
21	3133	クラブ協議会 会員卓話	松田繁三会長 秋山眞樹会員	「後半」 *久伊豆神社にて 「イニシエーションスピーチ」	※例会場変更
28	3134	夜間例会 ゲスト卓話	親睦活動委員会 落語家 林家木久彦様	*浄音寺にて 「怪談囃」	※例会場変更
備 考		母子の健康月間			

8 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
4	3135	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言 会員卓話	親睦活動委員会 S.A.A 会員増強維持委員会	「会員増強月間に因んで」	定例理事会
11		法定休会（山の日）			
18	3136	夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
25	3137	会員卓話	前年度国際奉仕委員会	「台北国際大会報告」	
備 考		会員増強・新クラブ結成推進月間			

9 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
1	3138	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言	親睦活動委員会 S.A.A		定例理事会
8	3139				
15	3140				
22		法定休会（国民の休日）			
29	3141				
備 考		基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間 ※9月10日(木)「第1回親睦ゴルフコンペ」 予定 ※ 9月24日(木)「なでしこの会」 予定			

10 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
6	3142	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言 クラブ協議会	親睦活動委員会 S.A.A 松田繁三会長		定例理事会 G補佐来訪
13	3143	第51回越谷市民まつり10/18(日)開催に振替			
20	3144	ガバナー公式訪問	RID2770ガバナー 三枝和男様	「地区テーマと地区運営」	
27	3145				
備 考		地域社会の経済発展月間／米山月間 ※10月5日(月)「地区大会記念ゴルフコンペ」(グレース・C.C) ／ロータリー学友参加推進週間(10月7日を含む1週間) ※10月18日(日)「第51回越谷市民まつり」			

11 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
3		法定休会（文化の日）			
10	3146	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言	親睦活動委員会 S.A.A		定例理事会
17	3147				
24	3148	地区大会11/14,15(土,日)開催に振替			
備 考		ロータリー財団月間／世界インタクト週間(11月5日を含む1週間) ※11月14,15日(土,日)「地区大会」(パレスホテル大宮・レイックホール) ※「親睦旅行」予定			

12 月

日	例会No	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
1	3149	誕生祝・結婚祝 年次総会	親睦活動委員会 松田繁三会長		定例理事会
8	3150	S.A.Aから一言	S.A.A		
15	3151				
22	3152	クリスマス家族例会	親睦活動委員会		※例会場変更
29		定款第7条第1節(d)による休会			
備 考		疾病予防と治療月間 ※12月22日(火)「クリスマス家族例会」()			

1 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
5	3153	新年夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
12	3154	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言	親睦活動委員会 S.A.A		定例理事会
19	3155				
26	3156	I・M（インターシティ・ミーティング）&合同新年間 1/30(土) 開催に振替			
備 考		職業奉仕月間 ※1月30日(土)「I・M(インターシティ・ミーティング)&合同新年会」(コミセン小&ホテルコホール)			

2 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
2	3157	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言	親睦活動委員会 S.A.A		定例理事会
9	3158				
16	3159				※例会場変更
23		法定休会（天皇誕生日）			
備 考		平和構築と紛争予防月間／ロータリー創立記念日・世界理解と平和の日(2月23日)			

3 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
2	3160	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言	親睦活動委員会 S.A.A		定例理事会 ※例会場変更
9	3161				※例会場変更
16	3162				※例会場変更
23		定款第7条第1節(d)による休会			
30	3163	花見夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
備 考		水と衛生月間／世界ロータリー外週間(3月13日を含む1週間) ※3月12日(金)「IM記念ゴルフコンペ」予定 ※3月17,18日(水,木)「PELS(会長エレクトレーニングセミナー)」予定 ※3月30日(火)「花見夜間例会」予定 ※キャンベルタウンRC訪問「調印式」予定			

4 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
6	3164	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言	親睦活動委員会 S.A.A		定例理事会
13	3165				
20	3166				
27		定款第7条第1節(d)による休会			
備 考		環境月間 ※4月9日(金)「地区クラブリーダーシップトレーニングセミナー」予定 ※4月22日(木)「第2回親睦ゴルフコンペ」予定			

5 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
4		法定休会（みどりの日）			
11	3167	誕生祝・結婚祝 S.A.Aから一言	親睦活動委員会 S.A.A		定例理事会
18	3168				
25	3169				
備 考		青少年奉仕月間／クラブ創立記念日：1961(昭和36)年5月9日			

6 月

日	例会No.	プログラム主題	担当・講師	内 容	備 考
1	3170	誕生祝・結婚祝 クラブ協議会	親睦活動委員会 松田繁三会長	「前半」	定例理事会
8	3171	クラブ協議会 S.A.Aから一言	松田繁三会長	「後半」	
15	3172				
22	3173	最終夜間例会	親睦活動委員会		※例会場変更
29		定款第7条第1節(d)による休会			
備 考		ロータリー親睦活動月間 ※6月26日(土)～30日(水)「スペイン・バルセロナ国際大会」			

財 産 目 録

(2026 年 7 月 1 日現在)

No.	記録簿名	数量	No.	記録簿名	数量
1	クラブ認証状	一式	9	クラブ史(10・20・30・40・50・55・60周年史)	一式
2	クラブ定款・細則	一式	10	20, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60周年事業保存書類	一式
3	理事会議事録	一式	11	姉妹クラブ協定書	一式
4	例会記録(会報)	一式	12	各年度年度計画書	一式
5	会員名簿	一式	13		
6	公式名簿半期報告書	一式	14		
7	会員推薦書	一式	15		
8	退会・出席免除届出書類	一式	16		

2. 備品等

No.	品名	数量		No.	品名	数量	
1	鐘・槌	一式	例会場	25	スライド用スクリーン	2台	例会場
2	会員BOX	3台	例会場	26	チェックライター	1台	事務局
3	木製・演台ロータリーマーク入り	1台	例会場	27	たすき(クラブ名)	80本	事務局
4	食器棚(ホワイト)	1台	例会場	28	ラベルメーカー(カシオ KL・A45)	1台	事務局
5	国旗・ロータリー旗	一式	例会場	29	冷蔵庫	1台	事務局
6	ホワイトボード(例会用)	1台	例会場	30	掃除機(日立)	1台	事務局
7	スマイルBOX	1個	例会場	31	電子レンジ(日立)	1台	事務局
8	たすき(役職名)	一式	例会場	32	食器棚	1台	事務局
9	ボイスレコーダー(会報)	4台	例会場	33	扇風機	2台	例会場
10	テーブルスタンド(委員会名)	一式	例会場	34	オーディオセット(マイク2本)	1台	事務局
11	デジタルカメラ(会報)	1台	例会場	35	オーディオ台	1台	事務局
12	花瓶	10個	例会場	36	受付台	1台	事務局
13	スチール製・引違い書庫(大小)	2本	事務局	37	電話台	1本	事務局
14	スチール製・オープン扉	3本	事務局	38	送迎旗(棒付)	1本	例会場
15	木製・書棚	3本	事務局	39	エレクトーン	1台	例会場
16	会議用テーブル	8本	事務局	40	オルガン(移動用)	1台	事務局
17	会議用イス	30本	事務局	41	自転車(青少年交換学生用)	1台	事務局
18	スチールロッカー	1台	事務局	42	ノート型パソコンNEC・Fujitsu	2台	例会場
19	スチール製 事務机イス	5台	事務局	43	ノート型パソコン(ZOOM用)	2台	例会場
20	電話(965-0550)	1台	事務局	44	プロジェクター(エプソン)	1台	例会場
21	パソコン(BENQ/DELL)	3台	事務局	45	パウチ(PTC320)	1台	事務局
22	コピー複合機(SHARPMX3650FV)	1台	事務局	46	ロータリーソングボード	2枚	例会場
23	ホワイトボード	2台	事務局	47	例会用アクリル板	35枚	例会場
24	ウェルカムボード	1台	例会場				

物故会員・移籍会員名簿

物 故 会 員

(クラブ在籍中にご逝去された会員)

(敬称略)

No.	氏 名	逝去日	享年	No.	氏 名	逝去日	享年
1	平 野 順 三	1976.12.14	46	21	小 暮 富 彦	2003. 2.14	74
2	大 山 精 三	1978.10.31	70	22	白 野 敏 太 郎	2003. 5.22	91
3	黒 田 録 郎	1979.11.19	82	23	深 井 一 郎	2003.12.23	56
4	畔 上 計 治	1982. 9.28	77	24	井 橋 吉 蔵	2004.10.31	90
5	田 宮 忠 一	1984.10. 9	73	25	石 川 弘	2004.12.30	45
6	豊 田 幸 市	1987.12.25	49	26	今 村 一 也	2005. 7.14	57
7	吉 野 弘	1989. 4.10	45	27	荒 井 吉 一 郎	2008. 3. 5	65
8	石 川 茂	1991. 7.16	66	28	青 木 大 和	2009. 5. 1	71
9	四ノ宮武次	1992. 2.12	71	29	飯 島 亮	2009. 7.28	70
10	佐々木長四郎	1992.11.12	81	30	菊 池 三 郎	2010. 1. 8	70
11	中川多四郎	1993. 4.12	91	31	関 口 作 造	2011.11.29	93
12	中 川 惣 一	1994. 4. 9	66	32	豊 田 良 男	2012. 2. 7	75
13	早瀬川 武	1994. 5. 2	61	33	平 野 平 蔵	2015. 4. 4	90
14	桃 木 俊 平	1996. 9.27	81	34	瀧 田 大 樹 郎	2017. 2. 3	78
15	澤 田 光 治	1997. 8.23	68	35	大 野 邦 彦 (名 誉 会 員)	2018. 4.17	93
16	大 澤 史	1998.11.19	62	36	藤 井 忠 行	2018. 5.14	70
17	小 野 田 正 三	1998.12.21	62	37	小 林 悦 也 (名 誉 会 員)	2022. 4.27	84
18	金 谷 政 勝	1999. 1. 7	79	38	中 里 静 博	2022. 9. 6	74
19	浅 子 進 一	2001. 2.28	87	39	小 林 秀 男 (名 誉 会 員)	2024. 3. 7	85
20	木 内 賢 治	2001. 9. 8	66				

歴代会長幹事一覧表

(敬称略)

代	年数	年度	ターゲット	会 長・幹 事	地区ガバナー ガバナー補佐
初代	初年度	1960～'61	あなたはロータリーです それを生かしましょう それを表現して下さい それを膨張させましょう	中 川 多 四 郎 (故人) 藤 沢 芳 雄 (故人)	(第355地区) 田 誠 (故)
初代	1周年	1961～'62	行動せよ/行動に努めよ/理解に 途を求めよ/指導力を高めよ	中 川 多 四 郎 (故人) 藤 沢 芳 雄 (故人)	(第358地区) 中村 米平 (故)
2	2周年	1962～'63	内部に火を燃やせ	畔 上 計 治 (故人) 藤 沢 芳 雄 (故人)	湯 浅 恭 三 (故)
3	3周年	1963～'64	宇宙時代におけるロータリーの 進路	長 島 喜 一 (故人) 岡 本 元 次 (故人)	永 沼 政 久 (故)
4	4周年	1964～'65	ロータリーに生きよう	岡 本 元 次 (故人) 原 島 茂 (故人)	神 守 源 一 郎 (故)
5	5周年	1965～'66	行動、強化、継続性	大 澤 弘 (故人) 大 山 精 三 (故人)	竹 田 恒 徳 (故)
6	6周年	1966～'67	ロータリーでよりよい世界を	桃 木 俊 平 (故人) 山 崎 正 雄 (故人)	松 方 三 郎 (故)
7	7周年	1967～'68	ロータリアンとしてあなたの 資格を効果的に	黒 田 録 朗 (故人) 中 川 広 (故人)	(第357地区) 川 名 正 義 (故)
8	8周年	1968～'69	参加し敢行しよう	佐 々 木 長 四 郎 (故人) 中 川 広 (故人)	広 沢 照 雄 (故)
9	9周年	1969～'70	再検討し刷新しよう	大 山 精 三 (故人) 大 野 邦 彦 (故人)	森 田 勝 彦 (故)
10	10周年	1970～'71	隔りを取り除こう	畔 上 計 治 (故人) 豊 島 永 治 郎 (故人)	河 野 秀 夫 (故)
11	11周年	1971～'72	善意はまずあなたから	井 橋 吉 蔵 (故人) 川 上 凡 之 (故人)	青 山 幸 高 (故)
12	12周年	1972～'73	もう一度見直して行動しよう	豊 島 永 治 郎 (故人) 大 竹 豊 治 (故人)	半 田 利 一 (故)
13	13周年	1973～'74	今こそ行動のとき	会 田 四 郎 (故人) 鈴 木 義 直 (故人)	繁 田 正 一 (故)
14	14周年	1974～'75	ロータリーの精神を振るい 起こせ	大 野 邦 彦 (故人) 白 野 敏 太 郎 (故人)	渡 辺 道 夫 (故)
15	15周年	1975～'76	人間に威信を	金 谷 政 勝 (故人) 橋 本 敏 章 (故人)	山 口 大 (故)
16	16周年	1976～'77	私はロータリーを信奉する	白 野 敏 太 郎 (故人) 小 林 秀 男 (故人)	高 橋 理 平 (故)
17	17周年	1977～'78	全人類を結びつけるために 奉仕せよ	平 野 平 蔵 (故人) 青 木 大 和 (故人)	(第257地区) 相 原 茂 吉 (故)
18	18周年	1978～'79	手をさし伸べよう	川 上 凡 之 (故人) 中 村 昇 (故人)	平 野 壽 (故)

代	年数	年度	ターゲット	会 長・幹 事	地区ガバナー ガバナー補佐
19	19周年	1979～'80	奉仕の灯で道を照らそう	山 田 市 郎 (故人) 瀧 田 大 樹 郎 (故人)	綿 貫 文 夫 (故)
20	20周年	1980～'81	時間を捧げよう 奉仕のために	坂 卷 幸 次 澤 田 光 治 (故人)	(第257地区) 赤 塚 正 一 (故)
21	21周年	1981～'82	ロータリーを通じて世界理解と 平和を	浅 子 進 一 (故人) 永 石 数 幸 (故人)	清 水 達 也 (故)
22	22周年	1982～'83	人類はひとつー世界中に友情の 橋をかけよう	赤 土 興 治 (故人) 小 野 田 正 三 (故人)	秋 山 博 (故)
23	23周年	1983～'84	みんなにロータリーをー みんなに奉仕を	熊 坂 悟 (故人) 菊 池 三 郎 (故人)	中善寺登喜次 (故)
24	24周年	1984～'85	見つけよう、奉仕の新生面	渡 部 三 良 (故人) 小 林 悦 也 (故人)	福 島 良 治 (故)
25	25周年	1985～'86	あなたが鍵です	青 木 大 和 (故人) 大 澤 昌 太 郎 (故人)	田中徳兵衛 (故)
26	26周年	1986～'87	ロータリーは希望をもたらす	小 野 田 正 三 (故人) 井 橋 武 治 (名誉)	佐 野 康 博 (故)
27	27周年	1987～'88	ロータリアンー奉仕に結束ー 平和に献身	鈴 木 義 直 (故人) 岡 崎 力 男 (故人)	阿 部 完 市 (故) 大 野 邦 彦 (故)
28	28周年	1988～'89	ロータリーに活力をー あなたの活力を	福 地 豊 太 郎 (故人) 大 野 光 政 (名誉)	(第277地区) 金 子 雅 英 (故) 坂 卷 幸 次
29	29周年	1989～'90	ロータリーを楽しもう！	澤 田 光 治 (故人) 大 塚 孝 博 (故人)	坂 卷 幸 次 植 竹 浄 水
30	30周年	1990～'91	ロータリーを高めよー 思いを尽くし熱意を尽くし	中 川 惣 一 (故人) 相 澤 徹 雄 (故人)	(第2770地区) 石 井 治 (故) 赤 土 興 治 (故)
31	31周年	1991～'92	自分を越えた眼を	瀧 田 大 樹 郎 (故人) 松 本 啓 史 (故人)	牧 内 操 (故) 澁 谷 俊 雄
32	32周年	1992～'93	まことの幸福は人助けから	小 林 秀 男 (故人) 荒 井 吉 一 郎 (故人)	半 田 昭 雄 (故) 蟹 和 忠 夫
33	33周年	1993～'94	行動に信念をー…… 信念は行動にー……	永 石 数 幸 (故人) 中 江 仁 (故人)	藤 田 亘 弘 (退) 宮 尾 三 四 郎
34	34周年	1994～'95	友達になろう	菊 池 三 郎 (故人) 鈴 木 幹 夫 (退会)	田 中 作 次 (退) 青 木 大 和 (故)
35	35周年	1995～'96	真心の行動、慈愛の奉仕、 平和に挺身	相 澤 徹 雄 (故人) 大 久 保 雅 央 (退会)	仙 崎 昭 信 (故) 宇 田 川 芳 行
36	36周年	1996～'97	築け未来をー行動力と 先見の眼で	小 林 悦 也 (故人) 森 田 寛 太 郎 (故人)	高 窪 昭 雄 中 村 昇 (故)
37	37周年	1997～'98	ロータリーの心を	大 野 光 政 (名誉) 小 林 一 朗 (退会)	久 世 晴 雅 吉 田 豊 治 (故)
38	38周年	1998～'99	ロータリーの夢を追い続けよう	松 本 啓 史 (故人) 中 島 美 三 郎	高 浜 彰 男 植 竹 浄 水

代	年数	年度	ターゲット	会 長・幹 事	地区ガバナー ガバナー補佐 ガバナー補佐幹事
39	39周年	1999～2000	ロータリー2000： 活動は一堅実・信望・持続	井 橋 武 治(名誉) 濱 野 豊(退会)	吉田 豊治(故) 森 紀 二
40	40周年	2000～'01	意識を喚起し一進んで行動を	岡 崎 力 男(故人) 新 井 進	田中 徹夫(故) 藤 川 正
41	41周年	2001～'02	人類が私たちの仕事	荒 井 吉 一 郎(故人) 鈴 木 操(故人)	(第2770地区) 津 田 健 三 鈴木 義直(故)
42	42周年	2002～'03	慈愛の種を播きましょう	豊 田 良 男(故人) 水 野 泰 男(退会)	関 口 博 正 青木 康國(退)
43	43周年	2003～'04	手を貸そう	井 橋 吉 一 石 河 秀 夫	田村 亮夫(故) 豊住 昇二(退)
44	44周年	2004～'05	ロータリーを祝おう	中 島 美 三 郎 須 賀 定 吉(退会)	北 清 治 大沢昌太郎(故)
45	45周年	2005～'06	超我の奉仕	濱 野 豊(退会) 山 田 二 三 夫	森 田 武 司 鯨 岡 文 夫 中 野 政 廣
46	46周年	2006～'07	率先しよう	新 井 進 長 谷 川 文 善(退会)	飯野 雪男(故) 深 井 良 孝 水町 俊介(退)
47	47周年	2007～'08	ロータリーは分かちあいの心	鈴 木 操(故人) 中 村 謙 治(退会)	中村 靖治(退) 井 橋 吉 一 江 原 武 男
48	48周年	2008～'09	夢をかたちに	水 野 泰 男(退会) 神 戸 廣 通	岩 渕 均 稲 垣 勝 三 石川 輝次(故)
49	49周年	2009～'10	ロータリーの未来は あなたの手に	森 仁 三(退会) 江 原 武 男	大 塚 信 郎 青 木 伸 翁 高 橋 功
50	50周年	2010～'11	地域を育み、大陸をつなぐ (R I) 創立の原点に回帰しよう (地区) 半世紀の感謝を新しい時代へ (クラブ)	須 賀 定 吉(退会) 浅 見 富 司 雄	井 橋 吉 一 神 谷 治 善 浅 水 尚 伸
51	51周年	2011～'12	こころの中を見つめよう (R I) 博愛を広げるために (R I) 奉仕の精神で地球を抱きしめよう (地区) 遊びは学び (クラブ)	石 河 秀 夫 坂 卷 邦 夫(退会)	三 國 明 大野 光政(名) 澤 田 裕 二
52	52周年	2012～'13	奉仕を通じて平和を (R I) ローターで素晴らしい出会いを (地区) 限りある人生だから… (クラブ)	神 戸 廣 通 川 口 一 海	田 中 徳 兵 衛 関 森 初 義 長 谷 川 真 也
53	53周年	2013～'14	ロータリーを実践し (R I) みんなに豊かな人生を (R I) 奉仕の心を行動に移そう (地区) 奉仕を通じて ふれあいを (クラブ)	江 原 武 男 澤 田 裕 二	渡 邊 和 良 小 暮 進 勇 大 野 祐 肇
54	54周年	2014～'15	ロータリーに輝きを (R I) ローターは人づくり そして奉仕(地区) 明るく 楽しく 和やかに (クラブ)	中 里 静 博(故人) 豊 田 高 行	濱野 英美(故) 浅 水 尚 伸 二 川 雅 之(退)
55	55周年	2015～'16	世界へのプレゼントになろう(R I) ローターは奉仕を通じて、 人づくり、自分づくり (地区) 守ろう 繋げよう 奉仕の精神(クラブ)	澤 田 裕 二 安 濃 和 正	井 原 實 中 島 美 三 郎 豊 田 高 行
56	56周年	2016～'17	人類に奉仕するロータリー (R I) 楽しいロータリークラブを (地区) 作り上げよう (地区) 楽しく学ぼう 奉仕の理念 (クラブ)	山 田 二 三 夫 平 田 徳 久	浅 水 尚 伸 小 林 操 中 澤 伸 浩

代	年数	年度	ターゲット	会 長・幹 事	地区ガバナー ガバナー補佐 ガバナー補佐幹事
57	57周年	2017～'18	ロータリー：変化をもたらす(R I) 新たな行動 新たな感動 (地区) 奉仕で生まれる 新たな感動 (クラブ)	安 濃 和 正 吉 澤 行 雄 (退会)	大 貫 等 原 美 光 加 藤 盛 也
58	58周年	2018～'19	インスピレーションになろう (R I) すべてはクラブ活性化のために ・実り豊かな奉仕を目指して・ (地区) 日に新た,和やかに楽しく奉仕!(クラブ)	平 田 徳 久 若 海 宗 承	中川 高志 (故) 大 熊 進 水町 俊介 (退)
59	59周年	2019～'20	ロータリーは世界をつなぐ (R I) ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ (地区) 一人ひとりがロータリアン! (クラブ)	坂 巻 邦 夫 (退会) 増 元 晃	小 林 操 新 井 進 森 田 隆
60	60周年	2020～'21	ロータリーは機会の扉を開く (R I) 新たな機会へのチャレンジで、 クラブに活力を! (地区) 明るく元気にロータリーを楽しもう!! (クラブ)	豊 田 高 行 瀧 田 貴 夫	中 里 公 造 山崎 晶弘 (退) 小池 和義 (退)
61	61周年	2021～'22	奉仕しよう みんなの人生を 豊かにするために (R I) COVID-19に負けずに 「クラブに変化と成長を」(地区) 会員同士の友情を深めインパクトの ある奉仕活動をしよう (クラブ)	鮫 島 弘 武 森 田 隆	松 本 輝 夫 小 林 光 則 大 濱 裕 広
62	62周年	2022～'23	イマジン ロータリー (R I) 創造しよう未来への調和を (地区) ・ロータリーにDEIの爽やかな風を・ チャレンジ&エンジョイ ロータリー ・新しい出会いをもとめて・(クラブ)	増 元 晃 中 島 雅 樹	細 淵 雅 邦 株 竹 眞 次 杉下 智 (退)
63	63周年	2023～'24	世界に希望を生み出そう (R I) 地域に希望を、 クラブに活力を生み出そう(地区) 笑顔溢れるクラブ活動、 奉仕活動 (クラブ)	若 海 宗 承 中 村 聡 久	梨本 松男 (退) 染 谷 宗 一 石 川 勝 利
64	64周年	2024～'25	ザ・マジック・オブ・ロータリー (R I) 未来を見据えて変化しよう ー多様性を力にー (地区) 楽しく、奉仕活動で進化変化しよう (クラブ)	森 田 隆 横 家 豪	岡 村 睦 美 須賀 定吉 (退) 中 島 雅 樹
65	65周年	2025～'26	よいことのために手を取りあおう (R I)、(地区)、(クラブ) 共通	瀧 田 貴 夫 井 橋 英 蔵	熊 木 雄 太 郎 大 熊 正 行 近 藤 慎 悟
66	66周年	2026～'27	持続可能なインパクトを生み出そう (R I)、(地区)、(クラブ) 共通	松 田 繁 三 濱 野 世 嗣	三 枝 和 男 会 田 皓 章 北 林 隆 一

会員所属委員会一覧表

(2026 年 7 月 1 日現在)

◎：会長経験者 ○：幹事経験者
 創立時～2025 年 ■：委員長
 2026～2027 年度 ●：委員長
 (入会順 敬称略)

氏 名	◎ 坂巻 幸次	◎ 井橋 吉一	◎ 中島美三郎 ○	◎ 新井 進 ○	◎ 山田二三夫 ○	◎ 石河 秀夫 ○	◎ 神戸 廣通 ○	桃木 俊郎
入会年月日	1971. 6.13	1986. 2.20	1987.11.10	1990. 1.23	1990.10. 2	1992. 3.10	1996.10. 1	1997. 2.25
経過満年月	55.00	40.04	38.07	36.05	35.8	34.03	29.09	29.04
創立時～1971 (10周年)	広 報							
1971～1972	プ ロ グ ラ ム							
1972～1973	広 報							
1973～1974	広 報							
1974～1975	会 員 増 強							
1975～1976	雑 誌							
1976～1977	会 員 選 考							
1977～1978	会 報							
1978～1979	社 会 奉 仕							
1979～1980	副 会 長							
1980～1981 (20周年)	会 長							
1981～1982	R 情 報 学 米 山 奨 学							
1982～1983	R 情 報							
1983～1984	R 情 報 健 康							
1984～1985	健 康 米 山 奨 学							
1985～1986	国 際 奉 仕	親 睦 活 動						
1986～1987	拡 大	S . A . A						
1987～1988	会 員 増 強	広 報	出 席					
1988～1989	ガバナー・ノミニー 分 区 代 理	国 際 奉 仕	親 睦 活 動 社 会 奉 仕					
1989～1990	ガバナー 選 考 ・ 広 報	国 際 奉 仕	S . A . A	親 睦 活 動				
1990～1991 (30周年)	直前・ガバナー 親 睦 活 動	親 睦 活 動	社 会 奉 仕	社 会 奉 仕	会 場 運 営			
1991～1992	R 情 報 誌 雑	国 際 奉 仕	出 席 拡 大 国 際 奉 仕	会 報 国 際 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動		
1992～1993	R 情 報	青 少 年	拡 大 国 際 奉 仕	会 報	国 際 奉 仕	親 睦 活 動		
1993～1994	R 情 報	青 少 年	会 員 増 強 社 会 奉 仕	会 報	国 際 奉 仕	会 報		
1994～1995	R 情 報	R 財 団	出 席 R 財 団	会 場 運 営	親 睦 活 動	会 報		
1995～1996	R 情 報	会 報	プ ロ グ ラ ム	姉 妹 ク ラ ブ	R 財 団	会 報		
1996～1997	会 員 増 強	地 域 発 展	環 境 保 全	協 同 奉 仕 国 奉 ・ 姉 妹 ク	国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動
1997～1998	S . A . A プ ロ グ ラ ム ・ 40周年	社 会 奉 仕	副 幹 事 S . A . A	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	会 場 運 営	会 報	出 席
1998～1999	会 員 増 強 40 周 年 準 備	プ ロ グ ラ ム	幹 事	新 世 代 姉 妹 ク ラ ブ	姉 妹 ク ラ ブ	雑 誌	会 報	社 会 奉 仕
1999～2000	会 員 増 強 40 周 年 準 備	姉 妹 ク ラ ブ	職 業 分 類	副 幹 事	米 山 奨 学	雑 誌	親 睦 活 動 新 世 代	職 業 奉 仕 国 際 奉 仕
2000～2001 (40周年)	会 員 増 強 プ ロ グ ラ ム	職 業 奉 仕	職 業 分 類 親 睦 活 動	幹 事	親 睦 活 動 国 際 奉 仕	雑 誌 ・ 広 報	社 会 奉 仕	親 睦 活 動

氏 名	◎ 坂巻 幸次	◎ 井橋 吉一	◎ 中島美三郎	◎ 新井 進	◎ 山田二三夫	◎ 石河 秀夫	◎ 神戸 廣通	桃木 俊郎
2001～2002	会 員 増 強 プ ロ グ ラ ム	広 報	職 業 分 類 職 業 奉 仕	職 業 分 類 職 業 奉 仕	S . A . A	プ ロ グ ラ ム	親 睦 活 動	親 睦 活 動
2002～2003	会 員 増 強 米 山 奨 学	会 長 エ レ ク ト ク ラ ブ 奉 仕	親 睦 活 動	職 業 分 類 職 会 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	副 幹 事	国 際 奉 仕 会 社 会 奉 仕	プ ロ グ ラ ム
2003～2004	S . A . A 100周年記念	会 長 100周年記念	会 長 エ レ ク ト ク ラ ブ 奉 仕 100周年記念	職 業 分 類 国 際 奉 仕	親 睦 活 動	幹 事 100周年記念	親 睦 活 動	R 財 団
2004～2005	会 員 増 強 米 山 奨 学 100周年記念	R 情 報 100周年記念	会 長 100周年記念	国 際 奉 仕	副 幹 事 100周年記念	職 業 分 類 100周年記念	会 員 増 強 親 睦 活 動 社 会 奉 仕	新 世 代
2005～2006	会 員 増 強 R 財 団	R 情 報 プ ロ グ ラ ム	R 情 報 プ ロ グ ラ ム 45周年実行	会 長 エ レ ク ト ク ラ ブ 奉 仕	幹 事 雑 誌 ・ 広 報	職 業 分 類 会	プ ロ グ ラ ム	R 財 団
2006～2007	会 員 選 考 50周年準備	R 情 報	国 際 奉 仕 R 情 報 プ ロ グ ラ ム	会 長	職 業 分 類 姉 妹 ク ラ ブ	職 業 分 類	職 業 奉 仕 会 員 増 強	雑 誌 ・ 広 報
2007～2008	50周年実行 会 員 選 考	親 睦 活 動 50周年実行	R 情 報 50周年実行 ク ラ ブ 管 理 運 営 プ ロ グ ラ ム	R 情 報 50周年実行	R 財 団 職 業 分 類	会 員 増 強	副 幹 事 ク ラ ブ 広 報	雑 誌 広 報
2008～2009	職 業 奉 仕 米 山 奨 学 50周年実行	ガバナー・ノミニー 国 際 奉 仕 50周年実行	50周年実行 会 員 増 強 国 際 奉 仕	国 際 奉 仕 R 情 報 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 50周年実行	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 職 業 分 類	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	幹 事 50周年実行	社 会 奉 仕
2009～2010	会 員 選 考 プ ロ グ ラ ム 米 山 奨 学 50周年実行	ガバナー・エレクト 会 員 選 考 50周年実行	50周年実行 プ ロ グ ラ ム	R 情 報 ク ラ ブ 管 理 運 営 R 財 団 50周年実行	雑 誌 広 報	プ ロ グ ラ ム	職 業 分 類	雑 誌 広 報 社 会 奉 仕
2010～2011 (50周年)	プ ロ グ ラ ム 米 山 奨 学 50周年実行	ガ バ ナ ー 親 睦 活 動 50周年実行	50周年実行 親 睦 活 動 長 期 計 画	副 会 長 ク ラ ブ 管 理 運 営 長 期 計 画 国 際 奉 仕 50周年実行	職 業 奉 仕	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 長 期 計 画	プ ロ グ ラ ム 長 期 計 画 画 強 職 業 分 類	社 会 奉 仕
2011～2012	会 員 増 強 新 世 代	直前・ガバナー 会 員 選 考	長 期 計 画 国 際 奉 仕	長 期 計 画 ク ラ ブ 管 理 運 営	親 睦 活 動 ス マ イ ル 奨 学	会 長	会 長 エ レ ク ト 職 業 分 類 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 長 期 計 画 新 世 代	R 財 団
2012～2013	会 員 増 強 R 財 団	会 員 選 考 職 業 奉 仕	プ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 管 理 運 営 国 際 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 新 世 代	長 期 計 画 奉 仕 職 会 国 際 奉 仕	R 情 報	会 長	職 業 奉 仕 米 山 奨 学
2013～2014	出 会 員 増 強 国 際 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 雑 誌 広 報 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 管 理 運 営 プ ロ グ ラ ム	ク ラ ブ 管 理 運 営 長 期 計 画 プ ロ グ ラ ム	副 会 長 ク ラ ブ 管 理 運 営 R 財 団	R 情 報 長 期 計 画 R 財 団	R 情 報 長 期 計 画 新 世 代	プ ロ グ ラ ム 職 業 奉 仕
2014～2015	会 員 増 強	長 期 計 画 会 員 増 強	副 会 長 ク ラ ブ 管 理 運 営 55周年実行	S . A . A	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	S . A . A R 情 報 ク ラ ブ 管 理 運 営	米 山 奨 学 R 情 報	長 期 計 画 青 少 年 奉 仕
2015～2016	会 員 増 強 会 員 選 考	長 期 計 画 会 員 増 強	会 員 増 強 55周年実行	S . A . A	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	会 員 選 考	副 会 長 ク ラ ブ 管 理 運 営 R 情 報	長 期 計 画 社 会 奉 仕
2016～2017	長 期 計 画	長 期 計 画	R 財 団 会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	会 員 選 考	会 長	長 期 計 画 ク ラ ブ 管 理 運 営 会 員 選 考	S . A . A	職 業 奉 仕 R 財 団
2017～2018	プ ロ グ ラ ム 長 期 計 画	プ ロ グ ラ ム 長 期 計 画	S . A . A プ ロ グ ラ ム 国 際 奉 仕	会 員 選 考	R 情 報 長 期 計 画	副 会 長 ク ラ ブ 管 理 運 営 長 期 計 画	会 員 増 強 R 財 団	米 山 奨 学
2018～2019	長 期 計 画 60周年実行	プ ロ グ ラ ム 60周年実行	米 山 奨 学 会 員 増 強 60周年実行	長 期 計 画 60周年実行	S . A . A R 情 報 長 期 計 画 60周年実行	長 期 計 画 ク ラ ブ 管 理 運 営 60周年実行	プ ロ グ ラ ム 会 員 選 考 60周年実行	会 員 選 考 職 業 奉 仕
2019～2020	長 期 計 画 60周年実行	プ ロ グ ラ ム 60周年実行	S . A . A 社 会 奉 仕 60周年実行	S . A . A 長 期 計 画 60周年実行	副 会 長 R 情 報 長 期 計 画 ク ラ ブ 管 理 運 営 60周年実行	60周年実行 プ ロ グ ラ ム 会 員 増 強	会 員 選 考 60周年実行	職 業 奉 仕
2020～2021	S . A . A 長 期 計 画 60周年実行	プ ロ グ ラ ム 会 員 増 強 60周年実行	会 員 増 強 親 睦 活 動 60周年実行	S . A . A 会 員 増 強 60周年実行	S . A . A 国 際 奉 仕 60周年実行	60周年実行 長 期 計 画	S . A . A 長 期 計 画 60周年実行	会 員 選 考 職 業 奉 仕
2021～2022	会 員 選 考	長 期 計 画	長 期 計 画 ク ラ ブ 管 理 運 営	長 期 計 画 国 際 奉 仕	米 山 奨 学 会 員 選 考	S . A . A 国 際 奉 仕	長 期 計 画	職 業 奉 仕
2022～2023	会 員 選 考	米 山 奨 学	S . A . A 長 期 計 画	S . A . A	S . A . A R 財 団	国 際 奉 仕	長 期 計 画 R 財 団	職 業 奉 仕
2023～2024	会 員 選 考	プ ロ グ ラ ム	65周年準備 プ ロ グ ラ ム 長 期 計 画	S . A . A	S . A . A 国 際 奉 仕	S . A . A 長 期 計 画 65周年準備	S . A . A 長 期 計 画	職 業 奉 仕
2024～2025	会 員 選 考 65周年実行	会 員 選 考 65周年実行	副 会 長 ク ラ ブ 管 理 運 営 長 期 計 画 65周年実行	S . A . A 米 山 奨 学 65周年実行	国 際 奉 仕 65周年実行	S . A . A プ ロ グ ラ ム 長 期 計 画 65周年実行	S . A . A R 財 団 65周年実行	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕
2025～2026 (65周年)	会 員 選 考	S . A . A 米 山 奨 学	S . A . A	会 員 選 考	R 財 団	行 動 計 画 策 定 ク ラ ブ 管 理 運 営 戦 略 計 画 青 少 年 奉 仕	会 員 増 強	職 業 奉 仕 R 財 団
2026～2027	会 員 選 考	会 員 選 考	会 員 増 強 R 財 団	S . A . A	S . A . A 職 業 奉 仕 R 財 団	行 動 計 画 策 定 ク ラ ブ 管 理 運 営 戦 略 計 画	S . A . A 会 員 増 強	米 山 奨 学

氏 名	◎ ○ 江原 武男	◎ ○ 澤田 裕二	木内 英二	○ 川口 一海	◎ 鮫島 弘武	吉野 寛治	下川 雅丈	○ 浅見富司雄
入会年月日	1997. 3.18	1998. 3. 3	2002.6.4	2002. 6.18	2003. 1.21	2004. 8.10	2004. 8.10	2005. 1.29
経過満年月	29.03	28.03	24.00	24.00	23.05	21.10	21.10	21.05
創立時～1991 (30周年)								
1991～1992								
1992～1993								
1993～1994								
1994～1995								
1995～1996								
1996～1997	親 睦 活 動							
1997～1998	新 世 代	親 睦 活 動						
1998～1999	会 報・雑 誌 社 会 奉 仕	出 社 会 奉 仕						
1999～2000	社 会 奉 仕	会 報						
2000～2001 (40周年)	親 睦 活 動 会 場 運 営	会 報						
2001～2002	新 世 代	会 場 運 営	親 睦 活 動	親 睦 活 動				
2002～2003	会 場 運 営	米 山 奨 学	新 睦 活 動 会 報	親 睦 活 動	親 睦 活 動			
2003～2004	新 世 代 姉 妹 ク ラ ブ 親 睦 活 動	会 員 増 強 社 会 奉 仕	会 場 運 営 新 世 代	親 睦 活 動 新 世 代	親 睦 活 動			
2004～2005	新 世 代 姉 妹 ク ラ ブ	社 会 奉 仕 姉 妹 ク ラ ブ	会 報	親 睦 活 動	親 睦 活 動 国 際 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動
2005～2006	国 際 奉 仕	出 席	会 場 運 営 ス マ イ ル 新 世 代	会 場 運 営	親 睦 活 動 国 際 奉 仕	国 際 奉 仕 親 睦 活 動 ブ ロ グ ラ ム	雑 誌・広 報 親 睦 活 動 国 際 奉 仕	出 席 親 睦 活 動 社 会 奉 仕
2006～2007	会 員 増 強 職 業 奉 仕	雑 誌・広 報 会 員 増 強	出 席	社 会 奉 仕	姉 妹 ク ラ ブ 社 会 奉 仕	姉 妹 ク ラ ブ	雑 誌・広 報	親 睦 活 動 会 場 運 営
2007～2008	職 業 奉 仕	ク ラ ブ 広 報 社 会 奉 仕	ホ ー ム ペ ー ジ ク ラ ブ 広 報 新 世 代	ク ラ ブ 広 報	職 業 奉 仕 姉 妹 ク ラ ブ	姉 妹 ク ラ ブ 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト ク ラ ブ 広 報	職 業 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 管 理 運 営
2008～2009	副 幹 事 国 際 奉 仕 ブ ロ グ ラ ム	職 業 奉 仕	社 会 奉 仕 (新 世 代 担 当)	ブ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 管 理 運 営	国 際 奉 仕 ク ラ ブ 会 報 (ホ ー ム ペ ー ジ 担 当)	ブ ロ グ ラ ム 国 際 奉 仕 (姉 妹 ク ラ ブ 担 当)	職 業 奉 仕 ク ラ ブ 会 報	会 場 運 営 ク ラ ブ 管 理 運 営 50周 年 度 幹 事
2009～2010	幹 事 50周 年 実 行	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	会 員 増 強	会 員 増 強 国 際 奉 仕	国 際 奉 仕 R 財 団	職 業 奉 仕	副 幹 事 ブ ロ グ ラ ム 国 際 奉 仕
2010～2011 (50周年)	会 員 選 考 職 業 分 類	ク ラ ブ 会 報 会 員 選 考	新 世 代 ク ラ ブ 会 報	米 山 奨 学 会 員 増 強	雑 誌 広 報 国 際 奉 仕 新 世 代	会 員 増 強 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	幹 事 50周 年 実 行
2011～2012	ブ ロ グ ラ ム 職 業 分 類 国 際 奉 仕 新 世 代	ク ラ ブ 会 報	ク ラ ブ 広 報 ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	副 幹 事 親 睦 活 動	米 山 奨 学 新 世 代	国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト	親 睦 活 動 ブ ロ グ ラ ム	職 業 分 類 新 世 代
2012～2013	会 長 エ レ ク ト 職 業 分 類 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト	副 幹 事 親 睦 活 動	ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	幹 事	国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト 職 業 奉 仕	国 際 奉 仕	会 員 増 強 職 業 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト 職 業 分 類 R 財 団
2013～2014	会 長	幹 事	ク ラ ブ 会 報 新 世 代	ブ ロ グ ラ ム 長 期 計 画 職 業 分 類	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト 国 際 奉 仕	会 員 増 強 会 員 選 考 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	ブ ロ グ ラ ム 職 業 分 類 ク ラ ブ 管 理 運 営 長 期 計 画
2014～2015	R 情 報	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ッ ト 職 業 分 類	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	ブ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 管 理 運 営 職 業 分 類	社 会 奉 仕 R 財 団	職 業 奉 仕 国 際 奉 仕	親 睦 活 動	会 員 増 強
2015～2016	R 情 報 社 会 奉 仕	会 長 職 業 分 類	R 財 団	職 業 分 類 米 山 奨 学	青 少 年 奉 仕 米 山 奨 学	国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	R 財 団

氏 名	◎ 江原 武男 ○	◎ 澤田 裕二 ○	木内 英二	○ 川口 一海	◎ 鮫島 弘武	吉野 寛治	下川 雅丈	○ 浅見富司雄
2016～2017	R 情 報 クラブ管理運営 親 睦 活 動 R 財 団	職 業 分 類 R 情 報 青 少 年 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 雑 誌 広 報	親 睦 活 動 プ ロ グ ラ ム	職 業 奉 仕 仕 国 際 奉 仕	国 際 奉 仕 奉 仕プロジェクト	職 業 奉 仕	プ ロ グ ラ ム
2017～2018	プ ロ グ ラ ム クラブ管理運営	R 財 団 R 情 報 青 少 年 奉 仕	雑 誌 広 報 クラブ 広 報	会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	S . A . A 会 員 増 強
2018～2019	長 期 計 画 60 周 年 実 行	プ ロ グ ラ ム R 情 報 クラブ管理運営 60 周 年 実 行	ス マ イ ル R 財 団	親 睦 活 動 ス マ イ ル	青 少 年 奉 仕 奉 仕プロジェクト 職 業 奉 仕	国 際 奉 仕 奉 仕プロジェクト	職 業 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 会 員 増 強
2019～2020	R 財 団 国 際 奉 仕 60 周 年 実 行	親 睦 活 動 60 周 年 実 行	米 山 奨 学 ス マ イ ル	会 員 増 強 R 財 団	国 際 奉 仕 仕 米 山 奨 学	プ ロ グ ラ ム 会 員 選 考 仕 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	親 睦 活 動 R 財 団
2020～2021 (60周年)	S . A . A 長 期 計 画 60 周 年 実 行	親 睦 活 動 クラブ管理運営 国 際 奉 仕 60 周 年 実 行	会 員 選 考 会 場 運 営	会 場 運 営 職 業 奉 仕	会 長 エ レ ク ト 奉 仕プロジェクト 長 期 計 画	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕 仕 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕プロジェクト 米 山 奨 学
2021～2022	副 会 長 クラブ管理運営	S . A . A 会 員 増 強	職 業 奉 仕 奉 仕プロジェクト	会 員 増 強	会 長	職 業 奉 仕 仕 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕 仕 青 少 年 奉 仕	会 員 増 強 職 業 奉 仕
2022～2023	長 期 計 画 クラブ管理運営	職 業 奉 仕 仕 米 山 奨 学	雑 誌 社 会 奉 仕 報 告	会 員 増 強 社 会 奉 仕	R 情 報	S . A . A 会 員 選 考 仕 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕 仕 青 少 年 奉 仕	長 期 計 画
2023～2024	長 期 計 画 クラブ管理運営	米 山 奨 学	雑 誌 広 報 会 員 選 考 職 業 奉 仕	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	R 情 報 青 少 年 奉 仕	プ ロ グ ラ ム	青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 長 期 計 画
2024～2025	長 期 計 画 65 周 年 実 行	S . A . A 会 員 増 強 65 周 年 実 行	雑 誌 広 報 米 山 奨 学	社 会 奉 仕 仕 米 山 奨 学	R 情 報 クラブ管理運営 R 財 団 青 少 年 奉 仕 65 周 年 実 行	国 際 奉 仕	職 業 奉 仕 仕 R 財 団	雑 誌 広 報 青 少 年 奉 仕
2025～2026 (65周年)	65 周 年 実 行 国 際 奉 仕	会 員 選 考 65 周 年 実 行	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	戦 略 計 画 職 業 奉 仕	S . A . A プ ロ グ ラ ム	職 業 奉 仕	S . A . A
2026～2027	● 副 会 長 ● クラブ管理運営	戦 略 計 画	職 業 奉 仕	社 会 奉 仕	S . A . A 青 少 年 奉 仕	● R 財 団 仕 国 際 奉 仕	職 業 奉 仕	会 員 選 考 米 山 奨 学

氏 名	◎ ○ 豊田 高行	深野 洋二	鈴木 功	山本 完治	◎ ○ 安濃 和正	清松瑤一郎	澤石 順一	丹田 益生
入会年月日	2005. 3. 8	2006. 3. 7	2006. 4.11	2006. 4.11	2007. 1.16	2007.12.18	2008. 6. 3	2008. 7. 8
経過満年月	21.03	20.03	20.02	20.02	19.05	18.06	18.00	17.11
創立時～2004 (40周年)								
2004～2005	親 睦 活 動							
2005～2006	社 会 奉 仕 親 睦 活 動 出 席	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動				
2006～2007	会 ス マ イ ル 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動			
2007～2008	クラブ会報 クラブ広報 国際奉仕	会 場 運 営 クラブ管理運営	ス マ イ ル	ス マ イ ル ホームページ	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動	親 睦 活 動	
2008～2009	親 睦 活 動 クラブ管理運営	親 睦 活 動 クラブ会報	出 席	出 席 クラブ管理運営	親 睦 活 動 職業奉仕 会 場 運 営 クラブ管理運営 親 睦 活 動 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動
2009～2010	職 業 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営 クラブ会報	クラブ会報 社 会 奉 仕	国 際 奉 仕	会 場 運 営 クラブ管理運営 親 睦 活 動 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕	出 席 クラブ会報	親 睦 活 動 会 場 運 営
2010～2011 (50周年)	会 員 増 強	会 場 運 営 クラブ管理運営	社 会 奉 仕	社 会 奉 仕 新 世 代	社 会 奉 仕 奉仕プロジェクト	R 財 団	クラブ広報 クラブ会報 職業奉仕	雑 誌 ・ 広 報 会 場 運 営
2011～2012	雑 誌 広 報 会 員 増 強	プログラム 会 場 運 営 国際奉仕	ス マ イ ル クラブ管理運営	社 会 奉 仕 奉仕プロジェクト	親 睦 活 動 クラブ管理運営 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕	プログラム クラブ管理運営 雑 誌 広 報 親 睦 活 動	雑 誌 広 報 クラブ広報
2012～2013	新 世 代	会 員 選 考 米 山 奨 学	クラブ会報	会 場 運 営 クラブ管理運営 社 会 奉 仕	会 員 増 強 新 世 代	職 業 奉 仕 米 山 奨 学	雑 誌 広 報 クラブ会報 親 睦 活 動 会 員 増 強 新 世 代	会 場 運 営 会 員 増 強
2013～2014	副 幹 事	クラブ広報 クラブ会報	社 会 奉 仕	ス マ イ ル クラブ管理運営 会 員 増 強	新 世 代 奉仕プロジェクト 国際奉仕	職 業 奉 仕 R 財 団	雑 誌 広 報 職業奉仕	会 員 増 強
2014～2015	幹 事	社 会 奉 仕 奉仕プロジェクト	青 少 年 奉 仕 R 財 団	会 員 選 考 親 睦 活 動 社 会 奉 仕	副 幹 事 国際奉仕	職 業 奉 仕 米 山 奨 学	国 際 奉 仕	青 少 年 奉 仕
2015～2016	親 睦 活 動 職業奉仕	青 少 年 奉 仕 奉仕プロジェクト 社 会 奉 仕	会 員 増 強 職業奉仕	会 計 監 査	幹 事	職 業 奉 仕	国 際 奉 仕 親 睦 活 動 奉仕プロジェクト	プログラム 国際奉仕
2016～2017	プログラム クラブ管理運営 職業分類 社 会 奉 仕	雑 誌 広 報	米 山 奨 学	会 計 監 査	会長エレクト 奉仕プロジェクト 会 員 増 強 職業分類	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 国際奉仕	親 睦 活 動 クラブ管理運営
2017～2018	職業分類 米 山 奨 学	雑 誌 広 報 青 少 年 奉 仕	国 際 奉 仕	会 計 監 査 社 会 奉 仕	会 計 監 査 職業分類	職 業 奉 仕 国際奉仕	ス マ イ ル 雑 誌 広 報	R 財 団
2018～2019	R 財 団 親 睦 活 動 60周年実行	社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕	会 計 監 査 社 会 奉 仕	職 業 分 類 R 財 団 60周年実行	職 業 奉 仕	会 場 運 営 国際奉仕	国 際 奉 仕 R 財 団
2019～2020	会長エレクト 奉仕プロジェクト 会 員 増 強 60周年実行	出 席 クラブ管理運営 青 少 年 奉 仕	国 際 奉 仕	会 計 監 査 青 少 年 奉 仕	クラブ管理運営 R 財 団 国際奉仕 60周年実行	職 業 奉 仕	会 場 運 営 クラブ管理運営 職業奉仕	親 睦 活 動 プログラム
2020～2021 (60周年)	会 長 60周年実行	国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 米 山 奨 学	会 計 監 査 国際奉仕	R 情 報 国際奉仕 クラブ管理運営 奉仕プロジェクト 親 睦 活 動 60周年実行	職 業 奉 仕 R 財 団	クラブ会報 国際奉仕	国 際 奉 仕 R 財 団
2021～2022	R 情 報	ス マ イ ル 青 少 年 奉 仕	国 際 奉 仕 R 財 団	会 計 監 査 プログラム 会 員 選 考	プログラム クラブ管理運営	社 会 奉 仕 R 財 団	親 睦 活 動 会 場 運 営	社 会 奉 仕 国際奉仕
2022～2023	会 員 増 強 親 睦 活 動 R 情 報	社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	国 際 奉 仕	会 計 監 査 会 場 運 営	R 財 団 親 睦 活 動 国際奉仕	米 山 奨 学	国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕 国際奉仕
2023～2024	副 会 長 クラブ管理運営 R 情 報	会 員 選 考 米 山 奨 学	青 少 年 奉 仕 米 山 奨 学	会 計 監 査 職業奉仕	会 員 増 強 国際奉仕 青 少 年 奉 仕	R 財 団	国 際 奉 仕 R 財 団	国 際 奉 仕
2024～2025	長 期 計 画 クラブ管理運営 親 睦 活 動 65周年実行	社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕	会 計 監 査 青 少 年 奉 仕	S . A . A 国 際 奉 仕 65周年実行	職 業 奉 仕 社 会 奉 仕	会 場 運 営 職業奉仕	国 際 奉 仕 米 山 奨 学
2025～2026 (65周年)	副 会 長 クラブ管理運営	会 場 運 営 会 員 選 考	R 財 団	会 計 監 査 米 山 奨 学	戦 略 計 画 クラブ管理運営 65周年実行	職 業 奉 仕	クラブ会報 国際奉仕	国 際 奉 仕 米 山 奨 学
2026～2027	● S . A . A 親 睦 活 動	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	● 戦 略 計 画 クラブ管理運営 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕	会 場 運 営 国際奉仕	国 際 奉 仕

氏 名	◎ 松田 繁三	◎ 森田 隆	野見山哲二	◎ 平田 徳久	蓮見 典史	◎ 若海 宗承	◎ 増元 晃	飯塚 忠幸
入会年月日	2008.11. 4	2010. 1.12	2010. 3. 2	*2010. 6. 1	2010. 7.13	2010.11.30	2011. 2.15	2011.11. 1
経過満年月	17.07	16.05	16.03	16.01	15.11	15.07	15.04	14.08
創立時～2004 (40周年)								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009	親 睦 活 動							
2009～2010	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動				
2010～2011 (50周年)	職 業 奉 仕 米 山 奨 学	親 睦 活 動 ス マ イ ル	親 睦 活 動 出 席 報 告 ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	
2011～2012	親 睦 活 動 会 員 増 強	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	ス マ イ ル 社 会 奉 仕	出 席 報 告 ク ラ ブ 会 報	出 席 報 告 雑 誌 広 報	親 睦 活 動 会 場 運 営	出 席 報 告 会 場 運 営	親 睦 活 動
2012～2013	プ ロ グ ラ ム 社 会 奉 仕	出 席 報 告 ク ラ ブ 会 報	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 ス マ イ ル	親 睦 活 動 ス マ イ ル	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報
2013～2014	新 世 代 団 R 財 団	会 場 運 営	ス マ イ ル 社 会 奉 仕	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ス マ イ ル	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	社 会 奉 仕 新 世 代 団	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕
2014～2015	米 山 奨 学	ク ラ ブ 広 報 ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕 米 山 奨 学	出 席 報 告 ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営 社 会 奉 仕	青 少 年 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	親 睦 活 動 雑 誌 広 報 青 少 年 奉 仕
2015～2016	青 少 年 奉 仕 R 財 団	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	社 会 奉 仕	副 幹 事 社 会 奉 仕	職 業 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 管 理 運 営	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 青 少 年 奉 仕	出 席 報 告 米 山 奨 学
2016～2017	職 業 奉 仕	出 席 報 告 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 ク ラ ブ 管 理 運 営	幹 事	会 員 増 強 職 業 奉 仕	親 睦 活 動 国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営
2017～2018	会 員 増 強 職 業 奉 仕	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	会 場 運 営 青 少 年 奉 仕	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 職 業 分 類	国 際 奉 仕 米 山 奨 学	副 幹 事 親 睦 活 動	青 少 年 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ク ラ ブ 広 報 ク ラ ブ 会 報
2018～2019	職 業 奉 仕	社 会 奉 仕	社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	会 長 エ レ ク ト 職 業 分 類 60 周 年 実 行	会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	幹 事 60 周 年 実 行	副 幹 事 60 周 年 実 行	雑 誌 広 報 R 財 団
2019～2020	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	職 業 奉 仕	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	職 業 分 類 S . A . A R 情 報 長 期 計 画 60 周 年 実 行	職 業 奉 仕 R 財 団	親 睦 活 動 会 員 増 強 職 業 分 類	幹 事 60 周 年 実 行	雑 誌 広 報 公 共 イ メ ー ジ
2020～2021 (60周年)	会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	副 幹 事 親 睦 活 動	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	長 期 計 画 ク ラ ブ 管 理 運 営 R 情 報 国 際 奉 仕 60 周 年 実 行	プ ロ グ ラ ム 青 少 年 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 会 員 構 成 ク ラ ブ 管 理 運 営	会 員 構 成 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 ス マ イ ル
2021～2022	社 会 奉 仕 米 山 奨 学	幹 事	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	R 情 報 財 団 ク ラ ブ 管 理 運 営 国 際 奉 仕 会 員 選 考 長 期 計 画 国 際 奉 仕	社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	会 員 構 成 会 場 運 営 国 際 奉 仕 R 財 団 会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 会 員 選 考	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 長 期 計 画 会 員 構 成	会 場 運 営 報 告 書 ク ラ ブ 職 業 奉 仕
2022～2023	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	会 員 増 強 会 員 構 成	会 場 運 営 社 会 奉 仕	会 員 選 考 長 期 計 画 国 際 奉 仕	R 財 団	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 会 員 選 考	会 員 構 成 長 期 計 画	ス マ イ ル
2023～2024	R 財 団	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 会 員 構 成	出 席 報 告 青 少 年 奉 仕	S . A . A 長 期 計 画	会 員 選 考	会 長	R 情 報	会 場 運 営 国 際 奉 仕
2024～2025	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト プ ロ グ ラ ム	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 65 周 年 実 行	出 席 報 告 会 場 運 営 国 際 奉 仕	長 期 計 画 65 周 年 実 行	R 財 団	R 情 報 長 期 計 画 65 周 年 実 行	会 員 構 成 R 情 報 青 少 年 奉 仕 65 周 年 実 行	ク ラ ブ 会 報 会 員 選 考
2025～2026 (65周年)	会 長 エ レ ク ト 戦 略 計 画 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	R 情 報 戦 略 計 画	会 員 増 強 国 際 奉 仕	S . A . A プ ロ グ ラ ム	職 業 奉 仕 米 山 奨 学	会 員 増 強 親 睦 活 動 R 情 報	ク ラ ブ 管 理 運 営 R 情 報	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕
2026～2027	● 会 長	R 情 報 戦 略 計 画 会 員 選 考	会 員 増 強 国 際 奉 仕	● 会 員 選 考	会 員 増 強 国 際 奉 仕	● R 情 報 S . A . A ク ラ ブ 管 理 運 営 会 員 増 強 R 財 団	国 際 奉 仕 米 山 奨 学	国 際 奉 仕

*再入会日

氏 名	木村 淳一	吉村 総一	岡田 直己	清水 勝吉	○ 中島 雅樹	中村 守	小林 威朗	天草 大輔
入会年月日	2012. 1.10	2012. 4. 3	2012. 4. 3	2012.12.18	2013. 1.29	2013. 1.29	2013. 6.18	2013.11.19
経過満年月	14.05	14.02	14.02	13.06	13.05	13.05	13.00	12.07
創立時～2004 (40周年)								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動					
2012～2013	親 睦 活 動 会 場 運 営 代 表 会 員	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	
2013～2014	親 睦 活 動 会 場 運 営 代 表 会 員	親 睦 活 動 会 場 運 営 代 表 会 員	親 睦 活 動 会 場 運 営	出 席 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動	親 睦 活 動
2014～2015	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2015～2016	会 場 運 営 代 表 会 員	ス マ イ ル 会 場 運 営 代 表 会 員	会 場 運 営 代 表 会 員	親 睦 活 動 会 場 運 営	ク ラ ブ 広 報 会 場 運 営	社 会 奉 仕 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報	ク ラ ブ 会 報
2016～2017	社 会 奉 仕 会 場 運 営	ク ラ ブ 広 報 会 場 運 営	親 睦 活 動	出 席 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報 会 場 運 営	会 場 運 営 会 場 運 営	R 財 団	職 業 奉 仕 会 場 運 営
2017～2018	社 会 奉 仕 会 場 運 営	職 業 奉 仕 会 場 運 営	会 場 運 営 代 表 会 員	親 睦 活 動 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報 会 場 運 営	出 席 会 場 運 営	米 山 奨 学	職 業 奉 仕 会 場 運 営
2018～2019	ス マ イ ル 会 場 運 営 代 表 会 員	雑 誌 広 報 会 場 運 営	職 業 奉 仕 会 場 運 営	出 席 会 場 運 営	ス マ イ ル 会 場 運 営	会 場 運 営 会 場 運 営	R 財 団	職 業 奉 仕 会 場 運 営
2019～2020	会 員 増 強 会 場 運 営	ブ ロ グ ラ ム 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	会 員 選 考	会 場 運 営 会 場 運 営	R 財 団	職 業 奉 仕 会 場 運 営
2020～2021 (60周年)	親 睦 活 動 会 場 運 営	青 少 年 奉 仕 会 場 運 営	ブ ロ グ ラ ム 会 場 運 営	出 席 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	会 場 運 営 会 場 運 営	会 員 増 強 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2021～2022	雑 誌 広 報 会 場 運 営	会 員 選 考 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	出 席 会 場 運 営	副 幹 事 会 場 運 営	ス マ イ ル 会 場 運 営	職 業 奉 仕 会 場 運 営	職 業 奉 仕 会 場 運 営
2022～2023	雑 誌 広 報 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報 会 場 運 営	社 会 奉 仕 会 場 運 営	出 席 会 場 運 営	幹 事 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	ブ ロ グ ラ ム 会 場 運 営	雑 誌 広 報
2023～2024	親 睦 活 動 会 場 運 営	職 業 奉 仕 会 場 運 営	会 員 増 強 会 場 運 営	出 席 会 場 運 営	会 員 構 成 会 場 運 営	社 会 奉 仕 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	職 業 奉 仕
2024～2025	親 睦 活 動 会 場 運 営	会 員 選 考 会 場 運 営	社 会 奉 仕	出 席 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	公 共 イ メ ー ジ 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	職 業 奉 仕
2025～2026 (65周年)	会 場 運 営 会 場 運 営	職 業 奉 仕 会 場 運 営	ス マ イ ル 会 場 運 営	S . A . A 出 席	ブ ロ グ ラ ム 会 場 運 営	会 場 運 営 会 場 運 営	会 員 増 強 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報
2026～2027	● 職 業 奉 仕 会 場 運 営	青 少 年 奉 仕	ブ ロ グ ラ ム	出 席	● 公 共 イ メ ー ジ ● ク ラ ブ 会 報	会 場 運 営 会 場 運 営	● 雑 誌 広 報 公 共 イ メ ー ジ	職 業 奉 仕 会 場 運 営

氏 名	中川 美紀	大沢日出夫	○ 横家 豪	永島 信之	◎ ○ 瀧田 貴夫	小暮 直正	高橋 和彦	江藤 真吾
入会年月日	2014. 5.13	2014. 5.13	2014. 5.13	2014. 7. 1	2014. 7. 1	2014. 9.30	2015. 3. 3	2015. 7.21
経過満年月	12.01	12.01	12.01	12.00	12.00	11.09	11.03	10.11
創立時～2004 (40周年)								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013								
2013～2014	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動					
2014～2015	親 睦 活 動	親 睦 活 動 出 席	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	親 睦 活 動	
2015～2016	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	出 会 員 増 強 席	出 ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営
2016～2017	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	出 席 ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	ブ ロ グ ラ ム 会 場 運 営	出 席 国 際 奉 仕 青 少 年 奉 仕	会 員 増 強	親 睦 活 動 出 席
2017～2018	親 睦 活 動 職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	出 席 ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営 社 会 奉 仕	会 員 増 強	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕 国 際 奉 仕	会 場 運 営 会 員 増 強	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕
2018～2019	職 業 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	ク ラ ブ 広 報 ク ラ ブ 会 報 米 山 奨 学	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報 60 周 年 実 行	社 会 奉 仕 米 山 奨 学	会 場 運 営 米 山 奨 学	出 席 ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕
2019～2020	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 雑 誌 広 報	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	会 場 運 営 国 際 奉 仕 米 山 奨 学	副 幹 事 会 員 増 強 60 周 年 実 行	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報 管 理 運 営	親 睦 活 動 会 員 増 強	公 共 イ マ ージ ク ラ ブ 会 報
2020～2021 (60周年)	雑 誌 広 報 職 業 奉 仕	会 場 運 営 計 画	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト R 財 団	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	幹 事 60 周 年 実 行	公 共 イ マ ージ ク ラ ブ 会 報 親 睦 活 動	ブ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 会 報	米 山 奨 学 ク ラ ブ 会 報
2021～2022	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	会 場 運 営 計 画	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報 管 理 運 営	ブ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	ブ ロ グ ラ ム 会 員 増 強 会 員 構 成	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 会 員 増 強	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報 管 理 運 営
2022～2023	会 員 増 強 職 業 奉 仕	会 場 運 営 計 画	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ブ ロ グ ラ ム 会 員 構 成 ク ラ ブ 会 報 管 理 運 営	会 場 運 営 会 員 増 強	ブ ロ グ ラ ム ス マ イ ル 会 員 増 強	会 員 増 強 職 業 奉 仕
2023～2024	雑 誌 広 報 会 員 増 強	職 業 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト ク ラ ブ 会 報	副 幹 事 親 睦 活 動	会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	会 員 構 成 国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	会 員 増 強	ブ ロ グ ラ ム 職 業 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報 管 理 運 営
2024～2025	職 業 奉 仕 青 少 年 奉 仕	米 山 奨 学 会 員 増 強	幹 事 65 周 年 実 行	ブ ロ グ ラ ム 会 員 増 強 国 際 奉 仕	会 長 エ レ ク ト 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 長 期 計 画 65 周 年 実 行	会 場 運 営 会 員 増 強	会 場 運 営 ス マ イ ル	国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト
2025～2026 (65周年)	会 員 増 強 職 業 奉 仕	雑 誌 広 報 公 共 イ マ ージ 米 山 奨 学	会 員 構 成 社 会 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	会 長	R 財 団 会 場 運 営 計 画	ブ ロ グ ラ ム ス マ イ ル	国 際 奉 仕 R 財 団
2026～2027	職 業 奉 仕	● 監 査 ス マ イ ル 雑 誌 広 報	ブ ロ グ ラ ム 会 員 構 成 米 山 奨 学	ブ ロ グ ラ ム 国 際 奉 仕	R 情 報 戦 略 計 画	● ブ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 会 報 管 理 運 営	● 米 山 奨 学 ス マ イ ル	会 員 増 強 国 際 奉 仕

氏 名	山田 託也	大野 保司	近藤 正成	澤幡 智史	○ 井橋 英蔵	大澤 弘一	○ 中村 聡久	松永 賢一
入会年月日	2015.10.20	2015.12.15	2016. 2. 9	2016. 5. 8	2016. 5. 8	2016. 5. 8	2016. 8. 2	2016. 8. 2
経過満年月	10.08	10.06	10.04	10.01	10.01	10.01	9.10	9.10
創立時～2004 (40周年)								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013								
2013～2014								
2014～2015								
2015～2016	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営		
2016～2017	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 米 山 奨 学	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 職 業 奉 仕	親 睦 活 動 ス マ イ ル マ ン ナ ー イ ン ン グ ル	親 睦 活 動 ス マ イ ル マ ン ナ ー イ ン グ ル
2017～2018	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 ス マ イ ル	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	出 会 員 増 強 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 ス マ イ ル マ ン ナ ー イ ン グ ル	親 睦 活 動 出 会 員 増 強 ク ラ ブ 会 報
2018～2019	雑 誌 広 報 青 少 年 奉 仕	出 会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 国 際 奉 仕	出 会 員 増 強	ス マ イ ル 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 職 業 奉 仕	会 場 運 営 雑 誌 広 報	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕
2019～2020	青 少 年 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報 運 営	国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 雑 誌 広 報	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕
2020～2021 (60周年)	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	雑 誌 広 報 公 共 イ メ ー ジ 青 少 年 奉 仕	R 財 団 国 際 奉 仕	出 会 員 増 強 ク ラ ブ 会 報 運 営	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報 運 営	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 員 増 強	会 場 運 営 社 会 奉 仕
2021～2022	雑 誌 広 報 青 少 年 奉 仕	プ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 会 報 青 少 年 奉 仕	会 員 増 強 親 睦 活 動 国 際 奉 仕	出 会 員 増 強 会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 会 場 運 営	会 場 運 営 社 会 奉 仕	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報 会 員 増 強	雑 誌 広 報 公 共 イ メ ー ジ ス マ イ ル
2022～2023	青 少 年 奉 仕 米 山 奨 学	ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報 運 営	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報 運 営	青 少 年 奉 仕 プ ロ グ ラ ム 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	プ ロ グ ラ ム 職 業 奉 仕	副 幹 事 親 睦 活 動	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報
2023～2024	雑 誌 広 報 青 少 年 奉 仕	会 員 増 強 青 少 年 奉 仕	プ ロ グ ラ ム ク ラ ブ 会 報 運 営	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報 会 場 運 営	会 員 増 強	ク ラ ブ 会 報 米 山 奨 学	幹 事	ク ラ ブ 会 報 会 員 増 強 職 業 奉 仕
2024～2025	会 員 増 強 国 際 山 奨 学	会 場 運 営 青 少 年 奉 仕	社 会 奉 仕 R 財 団	親 睦 活 動 会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	副 幹 事 プ ロ グ ラ ム 65 周 年 実 行	雑 誌 広 報 職 業 奉 仕	雑 誌 広 報 会 員 増 強	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報
2025～2026 (65周年)	国 際 奉 仕	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	青 少 年 奉 仕 親 睦 活 動 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	幹 事	ク ラ ブ 会 報 職 業 奉 仕	親 睦 活 動 ク ラ ブ 会 報 運 営	雑 誌 広 報 会 員 増 強
2026～2027	青 少 年 奉 仕	出 会 員 増 強 会 場 運 営	● 副 幹 事 プ ロ グ ラ ム	親 睦 活 動 会 場 運 営	会 員 構 成 社 会 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 雑 誌 広 報	● 会 員 構 成 国 際 奉 仕 R 財 団	会 場 運 営 雑 誌 広 報

氏 名	小室 伸和	大塚 洋幸	牛久 祐一	中川 訓	石垣李枝子	濱野 世嗣	鈴木 隆広	奥田 邦彦
入会年月日	2017. 6.27	2017. 7.25	2017. 9.26	2018. 1. 9	2019. 4. 9	2019. 5.21	2019. 5.28	2021. 1. 5
経過満年月	9.00	8.11	8.09	8.05	7.02	7.01	7.01	5.05
創立時～2004 (40周年)								
2004～2005								
2005～2006								
2006～2007								
2007～2008								
2008～2009								
2009～2010								
2010～2011 (50周年)								
2011～2012								
2012～2013								
2013～2014								
2014～2015								
2015～2016								
2016～2017	親 睦 活 動							
2017～2018	親 睦 活 動	親 会 睦 場 活 運 動 営	親 会 睦 場 活 運 動 営	親 会 睦 場 活 運 動 営				
2018～2019	親 会 睦 場 活 運 動 営 職 業 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 ク ラ ブ 会 報	親 会 睦 場 活 運 動 営 国 際 奉 仕 奉 仕	青 少 年 奉 仕 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営	親 会 睦 場 活 運 動 営	親 会 睦 場 活 運 動 営	
2019～2020	親 会 睦 場 活 運 動 営	会 場 運 営 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 青 少 年 奉 仕 奉 仕	雑 誌 広 報 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営	親 会 睦 場 活 運 動 営 ス マ イ ル	親 会 睦 場 活 運 動 営	
2020～2021 (60周年)	親 会 睦 場 活 運 動 営 社 会 奉 仕 奉 仕	出 会 場 運 営 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	国 際 奉 仕 奉 仕 青 少 年 奉 仕 奉 仕	雑 誌 広 報 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	出 ク ラ ブ 会 報	親 会 睦 場 活 運 動 営 ス マ イ ル	ク ラ ブ 会 報 奉 仕 職 業 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営
2021～2022	親 会 睦 場 活 運 動 営 青 少 年 奉 仕 奉 仕	出 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 出 会 場 運 営 奉 仕	国 際 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 会 員 増 強	親 会 睦 場 活 運 動 営	親 会 睦 場 活 運 動 営 ク ラ ブ 会 員 増 強	親 会 睦 場 活 運 動 営 青 少 年 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 社 会 奉 仕 奉 仕
2022～2023	親 会 睦 場 活 運 動 営 会 員 増 強	ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 雑 誌 広 報 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 出 会 場 運 営 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 職 業 奉 仕 奉 仕	社 会 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	出 会 場 運 営 奉 仕 ク ラ ブ 会 報	親 会 睦 場 活 運 動 営 職 業 奉 仕 奉 仕 青 少 年 奉 仕 奉 仕
2023～2024	ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 社 会 奉 仕 奉 仕	青 少 年 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト ス マ イ ル	出 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 親 会 睦 場 活 運 動 営	社 会 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 国 際 奉 仕 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 会 員 増 強	ス マ イ ル 奉 仕 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 青 少 年 奉 仕 奉 仕	会 場 運 営 奉 仕 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕
2024～2025	職 業 奉 仕 奉 仕 社 会 奉 仕 奉 仕	社 会 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 青 少 年 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 国 際 奉 仕 奉 仕	プ ロ グ ラ ム 奉 仕 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕	出 会 場 運 営 奉 仕 職 業 奉 仕 奉 仕 青 少 年 奉 仕 奉 仕	会 員 増 強	出 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 親 睦 活 動	雑 誌 広 報 奉 仕 公 共 イ メ ー ジ 奉 仕 親 睦 活 動
2025～2026 (65周年)	職 業 奉 仕 奉 仕 青 少 年 奉 仕 奉 仕	米 山 奨 学 プ ロ グ ラ ム	会 場 運 営 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕	職 業 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 国 際 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 社 会 奉 仕 奉 仕	副 幹 事 プ ロ グ ラ ム	社 会 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	雑 誌 広 報 奉 仕 会 員 増 強 奉 仕 国 際 奉 仕 奉 仕
2026～2027	親 会 睦 場 活 運 動 営 国 際 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 社 会 奉 仕 奉 仕	親 会 睦 場 活 運 動 営 国 際 奉 仕 奉 仕	● 会 長 エ レ ク ト ● 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト 戦 略 計 画	● 出 ク ラ ブ 会 報 運 営 奉 仕 雑 誌 広 報	● 幹 事	● 青 少 年 奉 仕 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	● 会 員 増 強

氏 名	青木 勲	小森 秀彦	米山 剛	吉澤 紀親	大野 凜子	加藤 俊輔	青野 智行	平野 慎也
入会年月日	2021. 4.27	2021. 5.25	2021. 9. 7	2021.10.12	2021.10.26	2022. 1.11	2022. 1.11	2022. 9.20
経過満年月	5.02	5.01	4.09	4.08	4.08	4.05	4.05	3.09
創立時～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営						
2021～2022	社 会 奉 仕	出 会 場 運 営 会 員 増 強	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	
2022～2023	雑 誌 広 報	出 ク ラ ブ 会 報 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 出 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 員 増 強	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2023～2024	職 業 奉 仕 R 財 団	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	出 ク ラ ブ 会 報	出 社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	監 査 出 席 親 睦 活 動	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2024～2025	職 業 奉 仕	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	青 少 年 奉 仕 奉 仕 プ ロ グ ラ ム	監 査 出 席 親 睦 活 動	ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営	会 場 運 営 雑 誌 広 報
2025～2026 (65周年)	職 業 奉 仕	ス マ イ ル ク ラ ブ 会 報	国 際 奉 仕 会 員 増 強	社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	公 共 イ メ ー ジ ク ラ ブ 会 報	監 査 出 席 雑 誌 広 報	親 睦 活 動 会 場 運 営	出 ク ラ ブ 管 理 運 営 親 睦 活 動
2026～2027	職 業 奉 仕	● 社 会 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	● 親 睦 活 動 ク ラ ブ 管 理 運 営	会 場 運 営 青 少 年 奉 仕	社 会 奉 仕 青 少 年 奉 仕	● 会 計 動 仕 親 睦 活 動	親 睦 活 動 会 場 運 営	● 国 際 奉 仕 奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト

氏 名	吉井 一裕	中里 智博	宮部 政夫	長澤 告幸	城岡太史郎	鈴木 義隆	島津 貴恵	生井 正夫
入会年月日	2023. 2.28	2023. 3.28	2023. 6.13	2023. 6.20	2023. 6.20	2024. 2.27	2024. 9.10	2024. 9.10
経過満年月	3.04	3.03	3.00	3.00	3.00	2.04	1.09	1.09
創立時～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営		
2023～2024	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営		
2024～2025	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	国 際 奉 仕 R 財 団	会 場 運 営 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2025～2026 (65周年)	雑 誌 広 報 国 際 奉 仕	会 員 増 強 社 会 奉 仕	ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営	職 業 奉 仕 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	ス マ イ ル 国 際 奉 仕	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2026～2027	● 会 場 運 営 ク ラ ブ 管 理 運 営	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	会 場 運 営 会 員 増 強	国 際 奉 仕 R 財 団	親 睦 活 動 会 場 運 営	ク ラ ブ 会 報 国 際 奉 仕	● ス マ イ ル ク ラ ブ 管 理 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営

氏 名	秋葉 純人	江里口謙吾	國府田 誠	大野 泰嗣	神代 太一	青木 義枝	井場さおり	石井 順一
入会年月日	2024. 9.10	2024.11.12	2024.11.12	2024.11.26	2024.11.26	2025. 2.25	2025. 2.25	2025. 5.20
経過満年月	1.09	1.07	1.07	1.07	1.07	1.04	1.04	1.01
創立時～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023								
2023～2024								
2024～2025	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2025～2026 (65周年)	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営
2026～2027	出 席 会 場 運 営 雑 誌 広 報	会 場 運 営 社 会 奉 仕	会 場 運 営 社 会 奉 仕	社 会 奉 仕	会 場 運 営 会 員 増 強 社 会 奉 仕	会 場 運 営 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 社 会 奉 仕	会 場 運 営 ス マ イ ル

氏 名	佐々木一真	中村 朝啓	渡辺 秀雄	青木 美樹	波多 貢輔	新戸 薫	岡安 直澄	田村 勝
入会年月日	2025. 5.20	2025. 6. 3	2025. 7.8	2025. 8.19	2025. 8.26	2025. 9.30	2025. 9.30	*2026. 1. 6
経過満年月	1.01	1.00	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.05
創立時～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023								
2023～2024								
2024～2025	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営						
2025～2026 (65周年)	親 睦 活 動 出 席	親 睦 活 動 出 席	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 職 業 奉 仕
2026～2027	ス マ イ ル 職 業 奉 仕	会 場 運 営 社 会 奉 仕	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 出 席 青 少 年 奉 仕	会 場 運 営 ク ラ ブ 会 報	親 睦 活 動 社 会 奉 仕	親 睦 活 動 青 少 年 奉 仕	出 席 ス マ イ ル

*再入会日

氏 名	河上 祐之	大場 貴文	井田 貴	秋山 眞樹	酒匂 良平	小堤洋太郎		
入会年月日	2026. 1.13	2026. 3.24	2026. 5.10	*2026. 5.10	2026. 5.10	2026. 5.10		
経過満年月	0.05	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01		
創立時～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023								
2023～2024								
2024～2025								
2025～2026 (65周年)	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営		
2026～2027	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営	親 睦 活 動 会 場 運 営		

*再入会日

氏 名								
入会年月日								
経過満年月								
創立時～2017								
2017～2018								
2018～2019								
2019～2020								
2020～2021 (60周年)								
2021～2022								
2022～2023								
2023～2024								
2024～2025								
2025～2026 (65周年)								
2026～2027								

国際ロータリー関係 国内事務所一覧

国際ロータリー中央事務局

ROTARY INTERNATIONAL

One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue Evanston
Illinois 60201 U.S.A.

国際ロータリー日本事務局

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 24 階

クラブ・地区支援室 TEL 03 (5439) 5800 (旧奉仕室)

財団室 TEL 03 (5439) 5805

経理室 TEL 03 (5439) 5803

資料室 TEL 03 (5439) 5802

FAX (共通) 03 (5439) 0405

ガバナー会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

TEL 03 (3433) 6497

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL 03 (3434) 8681

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL 03 (3433) 6456

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

TEL 03 (3436) 6651

一般社団法人 国際ロータリー第 2770 地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116

エイペックスタワー東館 1 階

TEL 048 (827) 0022・FAX 048 (827) 0011

E メール ri2770@ri2770.com

2026-2027 年度 公式訪問日程表

曜日		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月
月														
火					1	さいたまシティ					1	ガバナー会議ほか		
水	1	ガバナー会			2	浦和北					2	R財団地域セミナー		
木	2				3	吉川中央	1	大宮南			3	ロータリー研究会		
金	3				4		2				4	ロータリー研究会	1	元日
土	4		1		5	青少年奉仕部門S	3				5		2	
日	5		2		6		4		1		6		3	
月	6	第1回諮問委員会	3	さいたま新都心	7		5	地区大会記念ゴルフ	2		7		4	
火	7		4	八潮	8	鴻巣	6	幸手中央	3	文化の日	8	大宮北東	5	
水	8		5		9	八潮イブニング	7	鴻巣水曜	4	川口南	9	川口むさし野	6	
木	9		6	浦和東	10	さいたま中央	8	久喜	5	八潮みらい	10	鳩ヶ谷	7	
金	10		7		11		9	第2回諮問委員会	6		11	第6回合同会議	8	
土	11		8		12		10		7		12		9	
日	12		9		13		11		8		13		10	
月	13	戸田	10		14	大宮シティ	12	スポーツの日	9		14	第3回諮問委員会	11	成人の日
火	14	三郷	11	山の日	15	草加松原	13		10	蕨 松伏	15		12	川口シティ鳩ヶ谷
水	15	大宮	12		16	浦和ダイヤモンド	14	上尾西	11		16		13	大宮東
木	16	杉戸	13		17	春日部西	15	草加シティ	12		17	川口北	14	
金	17	浦和	14		18		16	第5回合同会議	13		18		15	
土	18	川口モーニング	15		19	米山記念奨学部門S	17		14	地区大会	19		16	
日	19		16		20		18		15	地区大会	20		17	
月	20	海の日	17		21	敬老の日	19	川口中央	16		21		18	
火	21	岩槻東	18	浦和北東	22	国民の休日	20	越谷	17	川口西	22		19	
水	22	幸手	19	越谷北	23	秋分の日	21	蓮田	18	鴻巣イブニング	23		20	
木	23	越谷南	20	川口	24	北本	22	桶川イブニング	19	春日部イブニング	24		21	
金	24		21		25	奉仕プロジェクト部門S	23		20		25		22	
土	25	管理・増強・RAC部門S	22		26	ロータリー財団部門S	24	さいたま大空	21		26		23	
日	26		23		27		25		22		27		24	
月	27	浦和南	24		28	大宮西	26		23	勤労感謝の日	28		25	
火	28	春日部	25	大宮中央	29	さいたま樺	27	川口東	24	三郷中央	29		26	
水	29		26	川口／鳩ヶ谷武南	30	春日部南	28	桶川	25		30		27	
木	30	上尾	27	岩槻 浦和中			29	越谷東	26	戸田西	31		28	
金	31		28	上尾北			30	地区大会実行委員会	27				29	
土			29				31		28				30	
日			30						29				31	
月			31						30					
計														

* 右寄せのロータリークラブは、夜点鐘。

(ご参考) グループ別・月別、公式訪問分散表

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
第1G	2	2	1				
第2G		2	3				
第3G	1	1	2	2			
第4G	1	1	1			1	1
第5G	1	1	2	4	1		
第6G	2		2		1		
第7G	1			3			
第8G	1	1		2			
第9G		1	2	1	1		
第10G	1		1		2		
第11G	1	2		1	1	1	1
第12G	1			1	3	2	
計	12	11	14	14	9	4	2

※ 予定は変更になる可能性があります。

※ 日程について、変更・合同希望のある場合は、ガバナー補佐を通じて地区へご連絡願います。

地区内クラブ入会金・年会費・ビジター登録料一覧

2026/6/9

番号	クラブ名	入会金	年会費 (1年間)	ビジター 登録料
1	浦和	150,000	420,000	3,000
2	浦和東	50,000	340,000	3,000
3	浦和南	50,000	280,000	3,000
4	浦和中	50,000	340,000	3,000
5	浦和ダイヤモンド	0	300,000	3,000
6	浦和北	80,000	360,000	3,000
7	さいたま中央	50,000	380,000	3,000
8	さいたまシティ	50,000	336,000	3,000
9	浦和北東	150,000	380,000	3,000
10	さいたま新都心	50,000	300,000	2,000
11	大宮	120,000	360,000	4,000
12	大宮南	50,000	350,000	2,000
13	大宮中央	男性100,000 女性50,000	300,000	2,500
14	大宮シティ	0	300,000	3,500
15	さいたま樺	0	240,000	2,500
16	さいたま大空	0	84,000	1,000
17	大宮西	100,000	360,000 家族会員 180,000	3,500
18	岩槻	0	300,000	2,000
19	大宮東	0	300,000	1,500
20	岩槻東	50,000	300,000	1,500
21	大宮北東	0	300,000	2,000
22	上尾	50,000	250,000	1,500
23	鴻巣	0	240,000	0
24	桶川	0	360,000 家族会員200,000	1,500
25	上尾西	0	280,000	1,500
26	北本	0	240,000	1,500
27	上尾北	0	280,000	1,500
28	鴻巣水曜	0	260,000	1,500
29	桶川イブニング	20,000	240,000 女性会員180,000	1,500
30	鴻巣イブニング	0	160,000	1,000
31	春日部	0	270,000	1,500
32	杉戸	0	280,000	1,500
33	春日部西	0	300,000	2,000
34	春日部南	0	280,000	1,500
35	春日部イブニング	0	240,000	0

番号	クラブ名	入会金	年会費 (1年間)	ビジター 登録料
36	幸手	50,000	280,000	1,500
37	蓮田	0	240,000	2,000
38	久喜	0	270,000	1,500
39	幸手中央	0	250,000	1,500
40	越谷	80,000	280,000	1,500
41	越谷南	60,000	300,000	1,500
42	越谷北	60,000	300,000	1,500
43	越谷東	40,000	300,000	1,500
44	八潮	0	270,000	1,500
45	八潮みらい	10,000	240,000	1,500
46	草加松原	30,000	240,000	1,500
47	三郷	10,000	220,000	1,500
48	三郷中央	30,000	240,000	1,500
49	松伏	30,000	220,000	1,500
50	吉川中央	20,000	180,000	3,000
51	川口	30,000	330,000	4,000
52	鳩ヶ谷	50,000	280,000	2,000
53	川口東	50,000	280,000	2,000
54	川口/鳩ヶ谷武南	30,000	260,000	2,000
55	川口モーニング	50,000	240,000	2,000
56	川口南	50,000	280,000	2,000
57	川口シティ鳩ヶ谷	10,000	250,000	1,000
58	戸田	0	270,000	1,500
59	蕨	0	280,000	1,600
60	川口西	0	250,000	1,500
61	戸田西	0	240,000	1,500
62	川口北	0	240,000	2,000
63	川口中央	0(無し)	360,000	2,000
64	川口むさし野	0	200,000	1,500

(単位:円)

地区内クラブ創立一覧

2026/3/2
(敬称略)

	クラブ名	合併前 クラブ	スポンサー クラブ	RI加盟認証 年月日	RI合併承認 年月日	ガバナー	備考 (特別代表)
1	浦和		東京・川越	1954年8月30日		柳瀬 省吾	柏原 孫左衛門 木村 善太郎
2	大宮		熊谷	1955年12月27日		小松 隆	尾高 格三
3	川口		浦和	1960年1月8日		柏原 孫左衛門	高橋 申
4	越谷		浦和	1961年6月19日		田 誠	中村 弥太郎
5	浦和北		浦和	1961年12月29日		中村 米平	籠島 誠治
6	草加松原	草加 草加イブニング	浦和 草加	1962年6月14日	2012年6月30日	中村 米平 牧内 操	中村 弥太郎 大久保 雄司
7	上尾		大宮	1963年3月16日		湯浅 恭三	熊田 克郎
8	大宮西		大宮	1963年3月22日		湯浅 恭三	清水 喜一
9	岩槻		大宮	1963年8月19日		永沼 政久	入山 卯八郎
10	戸田		川口	1964年6月22日		永沼 政久	榑 春壽
11	春日部		大宮	1965年1月20日		神守 源一郎	田中 松彦
12	鳩ヶ谷		川口	1965年4月17日		神守 源一郎	榑 春壽
13	蕨		浦和北	1965年4月28日		神守 源一郎	高橋 三郎
14	さいたま中央		浦和北	1966年1月21日		竹田 恒徳	壽原 茂夫
15	幸手		春日部	1967年6月29日		松方 三郎	君塚 皎
16	川口西		川口	1967年10月2日		松方 三郎	永瀬 七朗
17	鴻巣		上尾	1968年8月1日		廣澤 輝雄	小林 貞次
18	浦和東		浦和	1970年4月9日		森田 勝彦	長島 恭助
19	杉戸	杉戸 杉戸中央	春日部 杉戸	1971年5月3日	2014年9月6日	河野 秀夫 田中 作次	平野 壽 関口 博正
20	川口東		川口	1971年6月28日		河野 秀夫	榑 春壽
21	蓮田		岩槻	1971年7月28日		青山 幸高	岡田 喜一郎
22	桶川		上尾	1972年4月17日		青山 幸高	加藤 金作
23	上尾西		上尾	1973年5月7日		半田 利一	関口 博見
24	久喜		幸手	1973年6月25日		半田 利一	秋間 泰造
25	戸田西	戸田西 戸田イブニング	戸田	1974年10月20日	2024年7月1日	繁田 正一	岩崎 久二
26	越谷南		越谷	1974年6月28日		繁田 正一	畔上 計治
27	八潮		草加	1975年8月7日		山口 大	清水 啓三郎
28	さいたまシティ		浦和東	1975年10月22日		山口 大	石川 慎一郎
29	川口北		川口	1976年10月1日		山口 大	稲川 次郎
30	越谷北		越谷	1976年5月26日		山口 大	桃木 俊平
31	北本		鴻巣	1976年5月19日		山口 大	秋篠 善太郎
32	浦和南		浦和	1978年3月27日		相原 茂吉	逸見 正夫
33	大宮南		大宮	1978年7月19日		相原 茂吉	安原 芳太郎
34	大宮東		大宮北	1979年2月15日		平野 壽	河木 清
35	三郷		吉川	1979年5月24日		平野 壽	中村 孝
36	岩槻東		岩槻	1980年11月18日		赤塚 正一	星野 一夫
37	春日部西		春日部	1983年6月2日		秋山 博	長谷川 茂
38	川口/鳩ヶ谷武南		鳩ヶ谷	1985年5月15日		福島 良治	関口 登
39	川口モーニング		川口東	1985年12月26日		田中 徳兵衛	伊藤 愼六
40	川口中央		川口西	1986年5月12日		田中 徳兵衛	秋山 博
41	大宮中央		大宮	1987年3月3日		佐野 康博	久保田 耕司
42	越谷東		越谷	1987年5月18日		佐野 康博	坂巻 幸次
43	浦和北東		浦和	1987年6月26日		佐野 康博	落合 豊
44	八潮イブニング		八潮	1988年6月22日		阿部 完市	小沢 卓助
45	上尾北		上尾西	1989年4月16日		金子 雅英	中村 秀夫
46	さいたま新都心		さいたま中央	1990年2月6日		坂巻 幸次	仁科 一二
47	浦和中		浦和	1990年6月18日		坂巻 幸次	相川 曹司
48	三郷中央		三郷	1990年6月20日		坂巻 幸次	松井 廣司
49	川口むさし野		川口北東	1990年12月28日		石井 治	村田 和朗
50	鴻巣水曜		鴻巣	1992年6月12日		牧内 操	石田 俊男
51	大宮北東		大宮西	1992年6月17日		牧内 操	川村 平作
52	川口南		川口	1993年3月28日		半田 昭雄	大熊 不二
53	春日部南		春日部西	1993年6月2日		半田 昭雄	村田 睦幸
54	浦和ダイヤモンド		浦和東	1995年4月27日		田中 作次	久保 卓児
55	春日部イブニング		春日部	1995年5月30日		田中 作次	佐藤 勝夫
56	川口シティ鳩ヶ谷		鳩ヶ谷	1996年5月14日		仙崎 昭信	稲垣 禮二
57	桶川イブニング		桶川	1997年6月30日		高窪 昭雄	寺岡 孝
58	大宮シティ		大宮	1998年6月30日		久世 晴雅	八木 隆男
59	幸手中央		幸手	1998年10月28日		高浜 彰男	滝原 征一郎
60	松伏		吉川	2000年6月28日		吉田 豊治	金井 孝夫
61	さいたま樺		さいたま中央	2004年5月5日		田村 亮夫	大橋 軍治
62	八潮みらい	八潮中央 八潮シティ	八潮 八潮イブニング	1994年6月6日	2012年2月23日	田中 徳兵衛	木村 昭吉 成本 富夫
63	さいたま大空		—	2013年11月25日		渡邊 和良	恵川 一成
64	吉川中央		—	2017年9月14日		大貫 等	
65	草加シティ		—	2017年12月21日		大貫 等	
66	鴻巣イブニング		—	2024年3月25日		梨本 松男	

地区内クラブネット環境一覧

番号	クラブ名	email	ホームページ
1	浦和	urawarc@aqua.ocn.ne.jp	https://urawa-rc.org/
2	浦和東	urawaras@green.ocn.ne.jp	http://urawahigashi-rc.com
3	浦和南	urawa373rc@outlook.jp	
4	浦和中	urawanakaRC@outlook.jp	https://urawa-naka-rc.org/
5	浦和ダイヤモンド	urawa888drc@yahoo.co.jp	https://urawa-diamond.com/
6	浦和北	office@urawakita-rotary.jp	http://urawakita-rotary.jp/
7	さいたま中央	s-chuorc@poplar.ocn.ne.jp	http://www.s-chuorc.jp
8	さいたまシティ	urawawrc@tbd.t-com.ne.jp	https://urawawrc.wixsite.com/saitamacity-rc
9	浦和北東	urawa-ne@smile.ocn.ne.jp	http://www.urawa-northeast-rc.com/
10	さいたま新都心	jimu@shintoshin-rc.org	https://www.shintoshin-rc.org
11	大宮	info@omiya-rc.jp	https://omiya-rc.jp
12	大宮南	south-rc@khaki.plala.or.jp	jp.omiyaaminami-rc.org/
13	大宮中央	omiya.chuo.rotary@gmail.com	http://www.omiya-chuo.com
14	大宮シティ	info_ocr@clock.ocn.ne.jp	http://www.omiya-city-rotary.com
15	さいたま樺	saitama@keyaki-rc.jp	www.keyaki-rc.jp
16	さいたま大空	saitamaozorarc@gmail.com	https://www.facebook.com/saitamaozorarc/
17	大宮西	west@rc-omiya-west.com	https://rc-omiya-west.com/
18	岩槻	info@iwatsuki-rotaryclub.jp	http://iwatsuki-rotaryclub.jp/
19	大宮東	omiya.e.rc@nifty.com	https://www.omiya-east-rc.jp
20	岩槻東	ni01@iwatsuki-east-rc.org	www.iwatsuki-east-rc.org
21	大宮北東	ohmiya-hokuto-rc@ak.wakwak.com	
22	上尾	info@ageo-rc.org	https://ageo-rc.org/
23	鴻巣	info@konosu-rotary.com	https://konosu-rotary.com/
24	桶川	okegawarotary@shore.ocn.ne.jp	https://www.okegawa-rc.org
25	上尾西	awest@ceres.ocn.ne.jp	https://ageowest-rc.org/
26	北本	office@rotarykitamoto.org	rotarykitamoto.org
27	上尾北	ageokitarotary12@gmail.com	ageokita-rotaryclub.jp
28	鴻巣水曜	itiin@kounosu-suiyorc.org	http://www.kounosu-suiyorc.org/
29	桶川イブニング	okegawa-evening@aqua.plala.or.jp	https://okegawa-evrc.com
30	鴻巣イブニング	kerc0325@gmail.com	https://kounosuevening.com
31	春日部	kasukabe-rc@cc.wakwak.com	https://www.facebook.com/kasukaberc
32	杉戸	sugitorc@image.ocn.ne.jp	https://www.facebook.com/sugito.club/
33	春日部西	kasukabewestrc@crest.ocn.ne.jp	https://www.facebook.com/KasukabeWestRC
34	春日部南	kasukabe-s-rc@athena.ocn.ne.jp	
35	春日部イブニング	kasuerc@coast.ocn.ne.jp	http://www.net-shien.com/k-evening/

36	幸手	info@satterc.jp	http://www.satterc.jp/
37	蓮田	hasudarc@gmail.com	https://www.hasuda-rotaryclub.com/
38	久喜	ksrc-1@chive.ocn.ne.jp	http://kukishobu-rc.org
39	幸手中央	s-chuorc@townnavi.info	http://www.sattechuorc.com/
40	越谷	koshirc@gmail.com	http://www.koshigaya-rc.jp
41	越谷南	info@koshigayasouth-rc.jp	www.koshigayasouth-rc.jp
42	越谷北	kkrc@koshigayakita-rc.jp	https://koshigayakita-rc.jp/
43	越谷東	info@koshigayahigashi-rc.org	http://www.koshigayahigashi-rc.org
44	八潮	info@yashiorc.jp	http://www.yashiorc.ne.jp
45	八潮イブニング	yashioevening@gmail.com	www.yashio-eve.jp
46	八潮みらい	secretary@yashiomirai.jp	http://yashiomirai.jp/
47	草加松原	sokamaysubara@abelia.ocn.ne.jp	www.soka-rc.gr.jp/sokamatsubara/
48	草加シティ		http://www.soka-rc.gr.jp
49	三郷	suzuki.2010.11.03@gmail.com	
50	三郷中央	mchuohrc@maple.ocn.ne.jp	http://www.misatochuo-rc.com/
51	松伏	matsubushi.rotary.2022@gmail.com	
52	吉川中央		
53	川口	kawaguchirc2770@gmail.com	https://www.kawaguchi-rc.info
54	鳩ヶ谷	contact@hatogaya-rc.com	https://hatogaya-rc.com/
55	川口東	k-e.rc@ceres.ocn.ne.jp	http://k-erc.sakura.ne.jp/
56	川口/鳩ヶ谷武南	kh.bunan@gmail.com	https://www.kh-bunan.com
57	川口モーニング	morning_2770@h6.dion.ne.jp	https://kawaguchi-morning.jp/
58	川口南	south-rc@jcom.zaq.ne.jp	
59	川口シティ鳩ヶ谷	kawaguchicihtyhatogaya-rc@abauone-ne.jp	
60	戸田	info@toda-rc.com	http://www.toda-rc.com/
61	蕨	rotary@warabi.ne.jp	www.warabi.ne.jp/~rotary
62	川口西	kawaguchi-nishirc@lime.ocn.ne.jp	http://kawaguchiwest-rc.org/
63	戸田西	ZUM10055@nifty.ne.jp	https://toda-west-rc.org/
64	川口北	kawaguchi-nrc@bloom.ocn.ne.jp	https://kawaguchinrc.jp/
65	川口中央	office@kawaguchi-chuo-rc.jp	http://kawaguchi-chuo-rc.world.coocan.jp/rc/Welcome.html
66	川口むさし野	kawaguchimusashino@vega.ocn.ne.jp	

姉妹・友好クラブ締結状況

G	クラブ名	交流区分	国名	地区番号	クラブ名	締結年度
1	浦和					
	浦和東	姉妹	アメリカ合衆国	5280	トーランス デル アモRC	1972年3月
		友好	日本(石川)	2610	金沢西RC	2014年4月
	浦和南	姉妹	韓国	3750	南水原RC	1982年4月
		姉妹	日本(岩手)	2520	宮古RC	1989年5月
	浦和中	友好	日本(宮城)	2520	仙台青葉RC	2008年6月
		友好	タイ	3350	バンコク・スリウォンRC	2018年9月
2	浦和ダイヤモンド	友好	日本(群馬)	2840	藤岡南RC	2020年6月
		友好	台湾	3490	同徳RC	2016年6月
	浦和北	友好	フィリピン	3800	モンテニルパ北RC	2016年12月
		姉妹	フィリピン	3790	マバラカットクラークRC	2024年10月
	さいたま中央	友好	台湾	3490	鶯歌RC	2024年10月
	さいたまシティ	姉妹	台湾	3490	基隆東RC	1979年11月
		友好	日本(熊本)	2720	菊池RC	1984年11月
3	浦和北東	友好	アメリカ合衆国	2750	ノーザン・グアムRC	2004年5月
	さいたま新都心					
	大宮	友好	アメリカ合衆国	7475	トレントンRC	1969年5月
	大宮南	姉妹	台湾	3480	永和RC	2018年5月
	大宮中央	姉妹	韓国	3750	南安養RC	1988年10月
	大宮シティ	友好	日本(石川)	2610	小松シティRC	2002年5月
	さいたま櫛	姉妹	韓国	3720	蔚山第一RC	2008年6月
4	さいたま大空					
	大宮西	姉妹	台湾	3462	南投RC	1970年2月
	岩槻	姉妹	台湾	3502	桃園経国RC	2008年4月
		友好	日本(千葉)	2790	千倉RC	1981年11月
	大宮東	友好	日本(愛媛)	2670	松山北RC	1993年4月
	岩槻東					
	大宮北東					
5	上尾	姉妹	台湾	3470	台南東北RC	2023年3月
	鴻巣	姉妹	台湾	3470	台南府城RC	2007年11月
	桶川	友好	日本(福島)	2530	いわき平東RC	2017年4月
	上尾西	姉妹	台湾	3480	台北稲江RC	1988年3月
		姉妹	日本(岩手)	2520	大船渡RC	2019年10月
	北本	姉妹	台湾	3500	新竹東北區RC	1990年4月
	上尾北					
6	鴻巣水曜	友好	日本(鹿児島)	2730	奄美RC	2022年5月
	桶川イブニング					
	鴻巣イブニング					
	春日部	姉妹	台湾	3500	中歴RC	1969年11月
		友好	日本(秋田)	2540	横手南RC	1997年6月
	杉戸	姉妹	台湾	3501	中壢北区RC	2018年5月
		友好	福島	2530	富岡RC	2019年4月
7	春日部西	友好	日本(福島)	2530	三春RC	2013年6月
		姉妹	台湾	3502	桃園百齡RC	2018年6月
	春日部南	友好	日本(岩手)	2520	宮古RC	2005年7月
		友好	日本(新潟)	2560	糸魚川RC	2010年9月
		姉妹	タイ	3360	メイチャンRC	2013年2月
	春日部イブニング	友好	日本(山形)	2800	山形鶴岡南RC	2015年5月
	幸手	姉妹	台湾	3502	桃園RC	1970年1月
7	蓮田	姉妹	台湾	3482	台北古亭RC	2008年9月
		姉妹	日本(宮崎)	2730	宮崎南RC	2016年6月
	久喜	友好	日本(青森)	2830	野辺地RC	2006年6月
	幸手中央					

8	越谷	姉妹	オーストラリア	9750	キャンベルタウンRC	1992年3月
		友好	日本(熊本)	2720	熊本城東RC	2006年3月
	越谷南	姉妹	台湾	3460	台中南區RC	1994年4月
		友好	日本(岩手)	2520	宮古東RC	2016年5月
	越谷北	友好	日本(福島)	2530	浪江RC	1996年5月
		友好	日本(福島)	2530	二本松RC	2026年4月
		友好	台湾	3482	台北百城RC	2026年4月
越谷東						
9	八潮					
	八潮イブニング					
	八潮みらい	友好	日本(群馬)	2840	前橋中央RC	2022年5月
	草加松原	友好	フィリピン	3800	マリキーナ・イーストRC	2018年10月
		友好	フィリピン	3800	パッシング・サウスRC	2023年4月
	草加シティ	友好	タイ	3340	ウボンRC	2018年3月
		友好	タイ	3340	ロイエットRC	2018年3月
友好		タイ	3340	ヤソトーンRC	2019年3月	
友好		タイ	3340	ウドンRC		
10	吉川	友好	日本(熊本)	2720	宇土RC	2015年7月
	三郷	姉妹	韓国	3700	大邸東信RC	1991年5月
	三郷中央	姉妹	台湾	3520	台北博愛RC	1992年6月
	松伏	友好	オーストリア	1910	グライズドルフRC	2024年3月
	吉川中央					
11	川口	姉妹	台湾	3500	中歴RC	1971年11月
		友好	アメリカ合衆国	6600	フィンドレーRC	2018年10月
	鳩ヶ谷	姉妹	台湾	3462	草屯RC	1971年2月
	川口東	姉妹	台湾	3460	台中西北RC	1972年6月
		友好	日本(宮城)	2520	塩釜RC	2012年12月
	川口/鳩ヶ谷武南	姉妹	台湾	3460	大甲北区RC	1989年4月
	川口モーニング	姉妹	日本(北海道)	2510	札幌モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(北海道)	2500	旭川モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(青森)	2830	青森モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(京都)	2650	京都モーニングRC	2011年4月
		姉妹	日本(兵庫)	2680	神戸モーニングRC	2026年5月
川口南	姉妹	台湾	3490	新莊中央RC	1997年3月	
川口シティ鳩ヶ谷						
12	戸田	姉妹	韓国	3750	水原RC	2010年6月
		姉妹	台湾	3490	板橋RC	2010年6月
	蕨	姉妹	台湾	3490	基隆南RC	1966年10月
	川口西	姉妹	台湾	3460	東勢RC	1971年8月
	戸田西	姉妹	韓国	3750	安山広徳RC	2007年4月
	川口北	姉妹	韓国	3750	安山RC	1996年4月
	川口中央	姉妹	台湾	3481	台北金龍RC	1991年5月
	川口むさし野	姉妹	韓国	3750	安養萬安RC	1993年3月

ロータリーソング

奉仕の理想

元京都RC会員
作詩：前田和一郎
元東京 RC 会員
作曲：萩原 栄一

奉仕の理想に集いし友よ
御^{みくに}国に捧げん我等の^{なりわい}業
望むは世界の久遠^{くおん}の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久^{とわ}に栄えよ
我等のロータリー

我等の生業

作詩：高野 辰之
作曲：岡野 貞一

1. 我等の^{なりわい}生業さまざまなれど
集いて^{このみ}図る心は一つ
求^{もと}むるところは平和親睦^{やわらぎむつび}
力^{つと}むるところは向上奉仕
おゝロータリアン
我等の集い

2. 奉仕に集える我等は望む^{このみ}
正しき道に果をとるを
人の世^{こぞ}挙りて光^あを浴みつ
力を^い協せて争^い忌むを
おゝロータリアン
我等の集い

それでこそロータリー

元東京 RC 会員
作詩・作曲：矢野 一郎

1. どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時には おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー
2. 笑顔笑顔で 語り合おうよ
心心で 結び合おうよ
みんな世の為 働き合おうよ
それでこそ ローローロータリー
3. どこの国にも 友が居るよ
みんな一つの 輪になろうよ
同じ心で 親しみ合おうよ
それでこそ ローローロータリー

手に手つないで

元東京 RC 会員
作詩・作曲：矢野 一郎

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン おゝロータリアン
2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン



最初の4人のロータリアン：（左から）ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、
ハイラム・ショーレー、ポール P. ハリス（1905～1912年頃）。



Paul Harris Rotary Rap
日本語字幕版

越谷ロータリークラブ

例会場 越谷産業会館内
事務局 〒343-0818 埼玉県越谷市越ヶ谷本町8-7
TEL 048-965-0550
FAX 048-965-6000
URL <https://www.koshigaya-rc.jp>
Email koshirc@gmail.com